

米に関するマンスリーレポート

(平成28年3月号)



【本資料の目的】

本レポートは、米に関する価格動向や需給動向に係るデータを集約・整理し、毎月定期的に公表することによって、需給動向を適切に反映した米取引に資することを目的としています。

【利用上の注意】

1. 本レポートは、原則として公表2営業日前までの公表資料を反映しています。
2. 本レポートは、今後、必要に応じて項目の追加・削除などの内容を変更することがあります。

農林水産省

米穀周年供給・需要拡大支援事業の 申請を受け付けています！

【締め切り：平成28年4月8日】

公募内容についての詳しい情報は、以下のURLでご確認ください。

http://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/seisaku_tokatu/160222_1.html

「米穀周年供給・需要拡大支援事業」は、気象等の影響により必要な場合に、産地の判断により、自主的に行われる以下の取組に支援するものです。

支援対象となる取組 どの取組を行うかは選択できます。

- ① 周年安定供給のための長期計画的な販売の取組
主食用として作付・収穫された米穀を生産年の翌年11月から翌々年の3月まで長期計画的に販売する取組
- ② 輸出向けへの販売促進等の取組
主食用米を輸出に仕向ける際の商品開発、販売促進等の取組
- ③ 業務用向け等への販売促進等の取組
主食用米を外食・中食・給食向け等への販売を拡大するための商品開発、販売促進等の取組
- ④ 非主食用への販売の取組
主食用米を飼料用、加工用等の非主食用へ販売する取組

問合せ先

事業に関するお問い合わせは、各都道府県を管轄する地方農政局または以下にお問い合わせください。

(電話番号は本レポートの最終ページに掲載されています。)

農林水産省政策統括官付農産企画課
需給対策班：03-6738-8974

事業スキームや各都道府県での事業活用意向等の情報について、41ページ、42ページにも資料を掲載していますので、そちらもご覧ください。

目次

今月の特集

最近の日本酒（酒造好適米）をめぐる状況	P.1
ふるさと納税の返礼品として提供される米の状況について	P.3

I 米の需給・契約・販売

1 主食用米等の需給見通し

(1) 全国の平成27/28年及び平成28/29年の需要見通し（推計値）	1
(2) 平成27/28年及び平成28/29年の主食用米等の需給見通し	2
(3) 政府備蓄米の運営	3
(4) 民間流通における6月末在庫量の推移	3
(5) 平成28年産政府備蓄米の都道府県別優先枠及び買入札の結果	6

2 契約・販売情報

(1) 産地別契約・販売状況（速報）	7
(2) 産地別事前契約数量	11

II 米の在庫情報

(1) 全国段階の民間在庫の推移（うるち米、平成21年7月末～平成28年1月末）（速報）	13
(2) 産地別民間在庫の状況（前年同月比）	15
(3) 平成26・27年産の産地別民間在庫の推移（うるち米、平成27年7月末から平成28年1月末）（速報）	16

III 米の価格情報

1 相対取引価格・数量

(1) 相対取引価格（年産別）	24
(2) 価格帯別分析結果	25
(3) 相対取引価格・数量（平成27年産米、産地品種銘柄別、平成28年1月分）	26
(4) スポット価格の状況	29

2 米の先物取引価格の推移

IV 主食用以外（輸出を含む）

1 27年産米の作付状況

(1) 27年産米の用途別作付面積（生産量）	32
(2) 主食用以外の取組状況（作付面積及び作付面積比率）	32
(3) 新規需要米の用途別認定状況	33

2 加工米及び新規需要米の取組状況概要

26米穀年度における加工原材料用米穀の使用状況（推計）	33
-----------------------------	----

3 飼料用米の需要量

	34
--	----

4 コメ・コメ加工品の輸出量及び金額について

コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について	36
----------------------------	----

V 支援事業等

(1) 水田活用の直接支払交付金	37
(2) 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）	39
(3) 主食用米の需給安定の考え方、米穀周年供給・需要拡大支援事業	41

VI 消費動向

(1) 米の消費動向（米穀機構による調査）	43
(2) 購入数量の推移（家計調査）	44
(3) 小売店における精米販売	45
(4) 消費者物指数計の推移	46
(5) 小売物価統計の推移	47
(6) 小売価格の推移（POSデータ）	48

VII MA米（一般・SBS）の動向

(1) MA米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別）	49
(2) 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合わせ結果（平成27年度）	50
(3) SBS輸入米の見積合わせ結果（平成27年度）	50

VIII その他

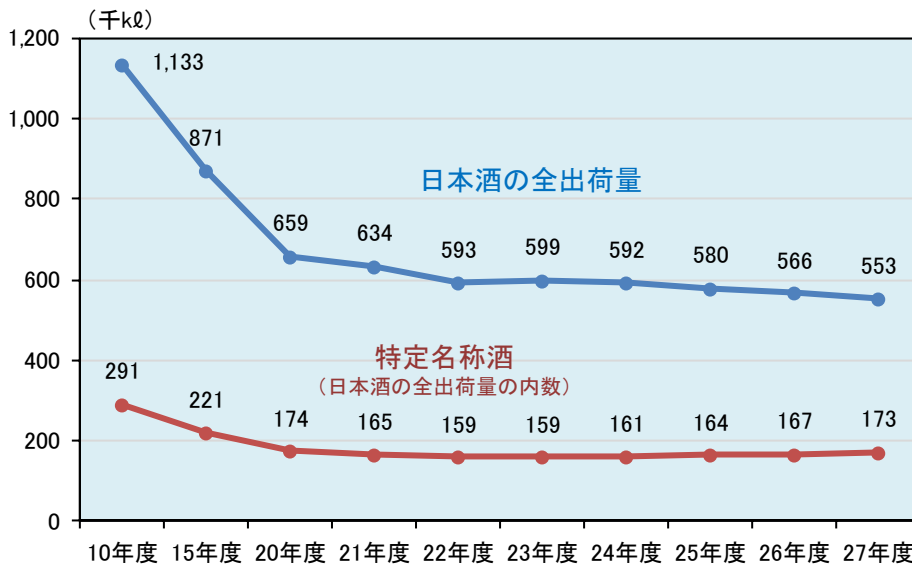
(1) 米取引関係者の判断（米穀機構による調査、平成28年2月分）	51
(2) 水稻うるち玄米の検査結果	53
(3) 平成27年産水稻の作付面積及び収穫量	54

今月の特集 ①

【最近の日本酒(酒造好適米)をめぐる状況】

- ・ 日本酒の国内出荷数量は、長期的に減少傾向にあったが、近年では、消費者の志向が量から質へと変化する中で、吟醸酒、純米酒等の特定名称酒の需要が堅調なことから、ほぼ横ばいで推移。
- ・ また、日本酒の輸出は、日本食ブーム等を背景に、近年、増加傾向にあり、平成27年度では、輸出量18,180k、輸出金額140億円と、共に過去最高を記録。

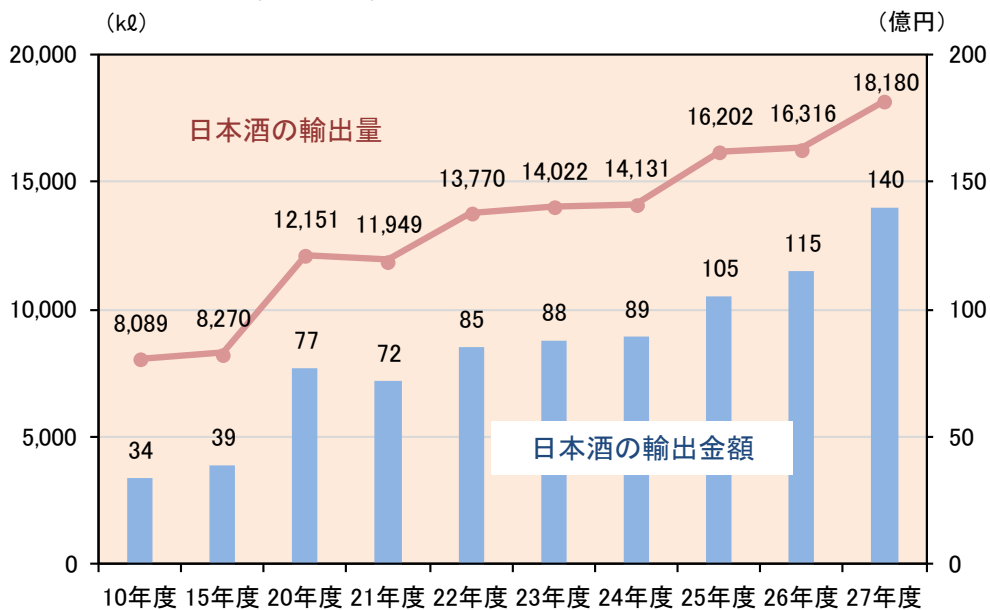
【日本酒の国内出荷数量の推移】



注：日本酒造組合中央会調べ。27年度は概数値。年度は暦年。



【日本酒の輸出量・輸出金額の推移】



資料：「貿易統計」(財務省)。年度は暦年。

～ 地理的表示 (G I : Geographical Indication) 「日本酒」の指定 ～

日本酒のブランド価値向上や輸出促進の観点から、平成27年12月25日から、清酒の原料の米に国産米のみを使い、かつ、日本国内で製造された清酒のみが、「日本酒」を独占的に名乗ることができるようになりました。

- ・ 農林水産省では、平成26年産米から酒造好適米の使用量の増加に対応できるよう、生産数量目標の枠外での生産を可能とする運用見直しを行った結果、平成26年産では、酒造好適米について、概ね酒造メーカーの希望に見合った供給が行われた。
- ・ 一方、平成27年産では、平成26年産主食用米（うるち米）の取引価格が大幅に低下したこともあって、主食用米より高値で取引されている酒造好適米の作付面積の増加及び作柄が良かったこと等から、供給過剰となり、酒造好適米の需給は緩和している状況。

【酒造好適米の生産状況】

(単位:千ト)

	21年産	22年産	23年産	24年産	25年産	26年産	27年産
酒造好適米	71	65	65	68	76	90 (4)	103 (7)
うち山田錦	21	19	20	21	23	30	38
うち五百万石	20	19	19	19	21	23	24

資料：「農産物検査結果」（農林水産省）

注1：27年産は平成27年12月31日現在。

注2：26年産、27年産の（ ）内は、枠外生産分で内数である。

【原料米の使用状況】

(単位:千ト)

	10年産	15年産	20年産	21年産	22年産	23年産	24年産	25年産	26年産
原料米	405	315	261	246	232	238	241	243	243
酒造好適米	99	75	77	71	65	65	68	76	90
主食用米	165	92	60	54	43	50	57	34	27
加工用米	86	89	74	72	77	71	79	95	105
その他	55	59	50	49	47	52	37	38	21

注1：25年産までの原料米全体の使用量は国税庁公表値。

注2：26年産の原料米全体の使用量及び各年産ごとの内訳は日本酒造組合中央会による推計値。

なお、26年産については今後修正される場合がある。



- ・ 現在、酒造好適米の需給は大幅に緩和していることから、需要に応じた生産を行うことが重要。
- ・ 一方で、今後、日本酒の輸出拡大等が見込まれることから、需要者のニーズに応じた酒造好適米の生産体制の確立が必要。
- ・ その一環として、酒造好適米の生産動向や日本酒の需要動向などの情報交換を行い、関係者相互の情報共有や連携強化を促進するため、本年3月22日（火）に「日本酒原料米の安定取引に向けた情報交換会（仮称）」を開催予定。

今の特集 ②

【ふるさと納税の返礼品として提供される米の状況について】

- ・ 主食用米の流通経路が多岐にわたる中で、近年、「ふるさと納税」の返礼品として提供される米の流通量が増えていることから、市町村等への聞き取り調査を実施。
- ・ その結果、全国の1,718市町村のうち、732の市町村において、「ふるさと納税」の返礼品に「米」を入れており、平成27年1月から12月までの1年間に提供された米の数量は約1.3万トン。

ふるさと納税の返礼品として提供されたお米（平成27年1月～12月）

（単位：玄米トン）

全国の市町村数 ※1	返礼品としてお米を提供している自治体 ※2・3	回答	返礼品としてお米を提供している量 (平成27年1月～12月)
1,718	732	724	13,100

（実施率：42.6%） （回答率：98.9%）

※1 全国の市町村数は総務省公表値（平成26年4月時点）。ただし、特別区は含まない。

※2 返礼品にお米を提供している自治体数は、ふるさと納税ポータルサイトから、お米（うるち米、もち米）を提供している県・市町村数を集計。

※3 返礼品にお米を提供している自治体数には、県として実施している山形県、山梨県、岐阜県を含む。

【参考】ふるさと納税の返礼品として提供された米の使用量（地域別）

（単位：玄米トン）

北海道	1,100トン	北海道
東北	5,000トン	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
関東	2,200トン	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野、静岡
北陸	300トン	新潟、富山、石川、福井
東海	100トン	岐阜、愛知、三重
近畿	300トン	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国	3,400トン	鳥取、島根、岡山、広島、山口
四国	200トン	徳島、香川、愛媛、高知
九州・沖縄	500トン	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

※100トン未満は四捨五入



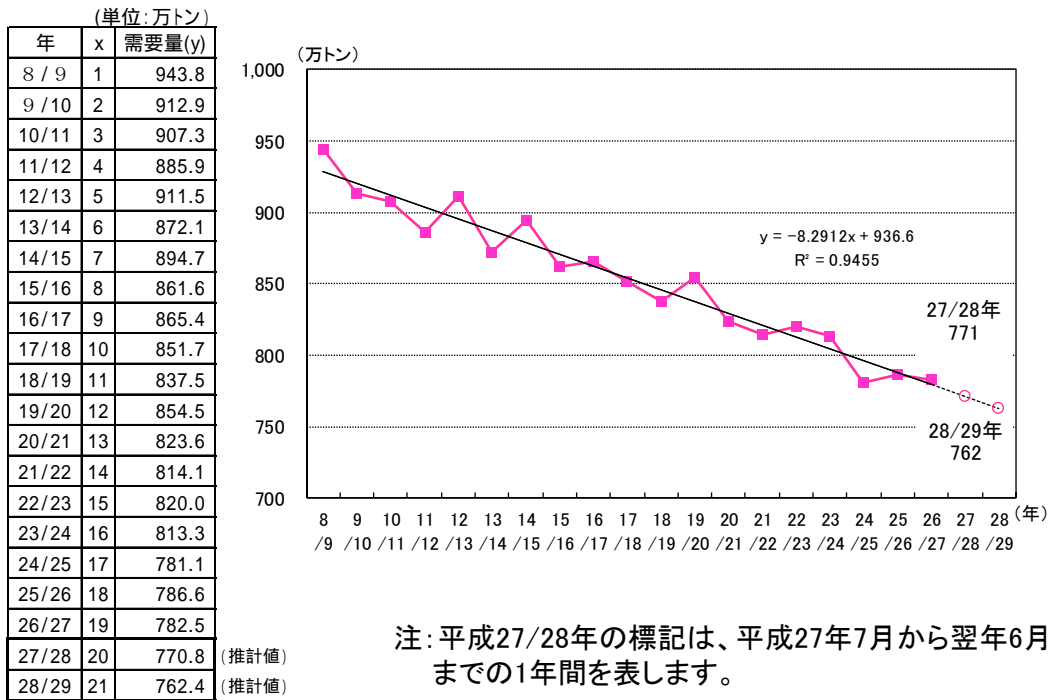
ふるさと納税に係る数量は、県・市町村等から聞き取った数値です。
本調査にご協力いただいた関係者の皆様に深く感謝し、厚く御礼申し上げます。

米の需給・契約・販売

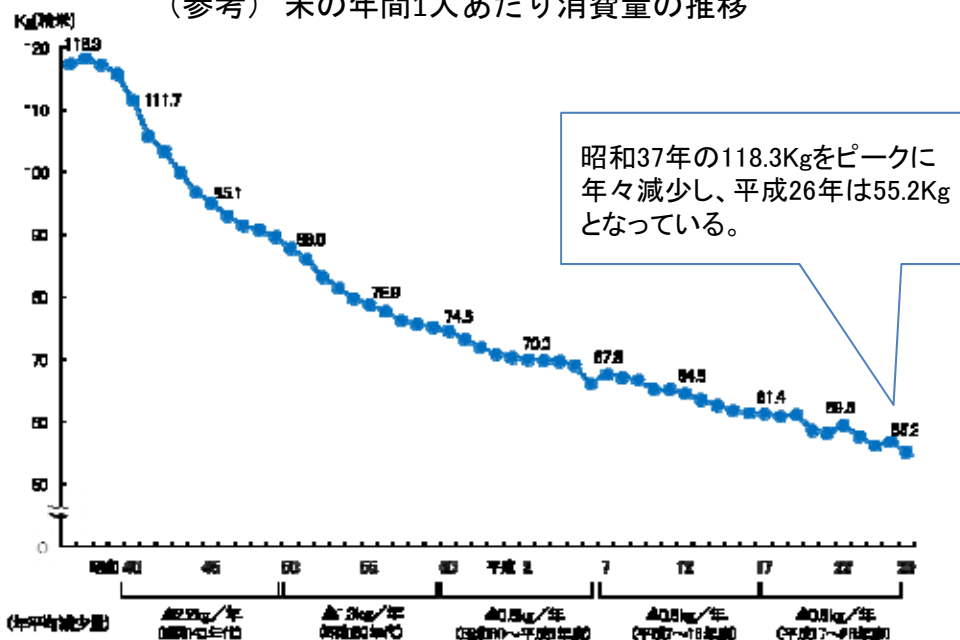
1 主食用米等の需給見通し (平成27年11月の米の基本指針(平成27年11月30日))

- 主食用米等の需要量は、近年のトレンドとして、毎年概ね8万トン減少。
- 平成27/28年及び平成28/29年の需要見通しについて、平成8/9年から平成26/27年までの需要実績を用いてトレンドで算出すると、平成27/28年は771万トン、平成28/29年は762万トンと見通す。

(1) 全国の平成27/28年及び平成28/29年の需要見通し (推計値)



(参考) 米の年間1人あたり消費量の推移



資料:農林水産省「食料需給表」

注:1人1年当たり供給純食料の値である。

(2) 平成27/28年及び平成28/29年の主食用米等の需給見通し

平成27/28年の主食用米等の需給見通し

「平成27/28年の主食用米等の需給見通し」については、以下のとおり。

- ・ 平成27年6月末民間在庫量（実績） 226万トン
- ・ 平成27年産主食用米等生産量（実績） 744万トン
- ・ 平成27/28年主食用米等需要量（見通し） 763万トン
- ・ 平成28年6月末民間在庫量（見通し） 207万トン = + -

平成27/28年については、相対取引価格が上昇傾向にあることから、需要量に及ぼす影響を踏まえ、トレンドにより算出した771万トンから8万トン低い763万トンと見通す。

平成28/29年の主食用米等の需給見通し

「平成28/29年の主食用米等の需給見通し」については、表のとおりです。

		(単位：万トン)	
平成28年6月末民間在庫量	A	207	207
平成28年産主食用米等生産量	B	743 ¹	735 ²
		(生産数量目標)	(自主的取組参考値)
平成28/29年主食用米等供給量計	C=A+B	950	942
平成28/29年主食用米等需要量	D	762	762
平成29年6月末民間在庫量	E=C-D	188	180

1 **生産数量目標**：主食用米の需要に応じた生産を推進する観点から、近年のトレンドとして需要が毎年概ね8万トン減少していることを勘案し、平成27年産米の生産数量目標751万トンから8万トンを控除した743万トンと設定。

【生産数量目標の推移】

(単位：万トン)

年産	21	22	23	24	25	26	27	28
生産数量目標	815	813	795	793	791	765	751	743
前年差	0	2	18	2	2	26	14	<u>8</u>

2 **自主的取組参考値**：仮にこれだけ生産すれば、平成29年6月末の民間在庫量が近年では低位の水準になるものとして、735万トンと設定。

【民間在庫量（6月末）の推移】

(単位：万トン)

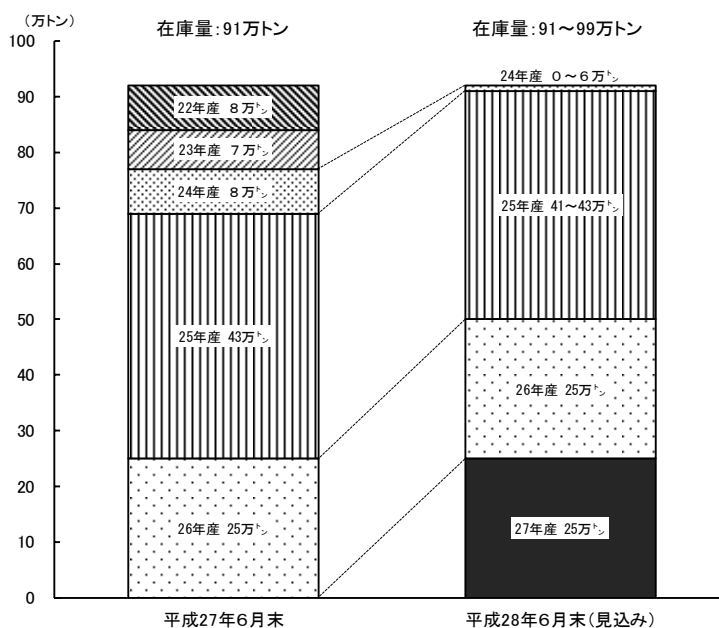
	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
民間在庫量	212	216	181	180	224	220	226

(3) 政府備蓄米の運営

平成27/28年の備蓄運営、政府備蓄米の在庫状況

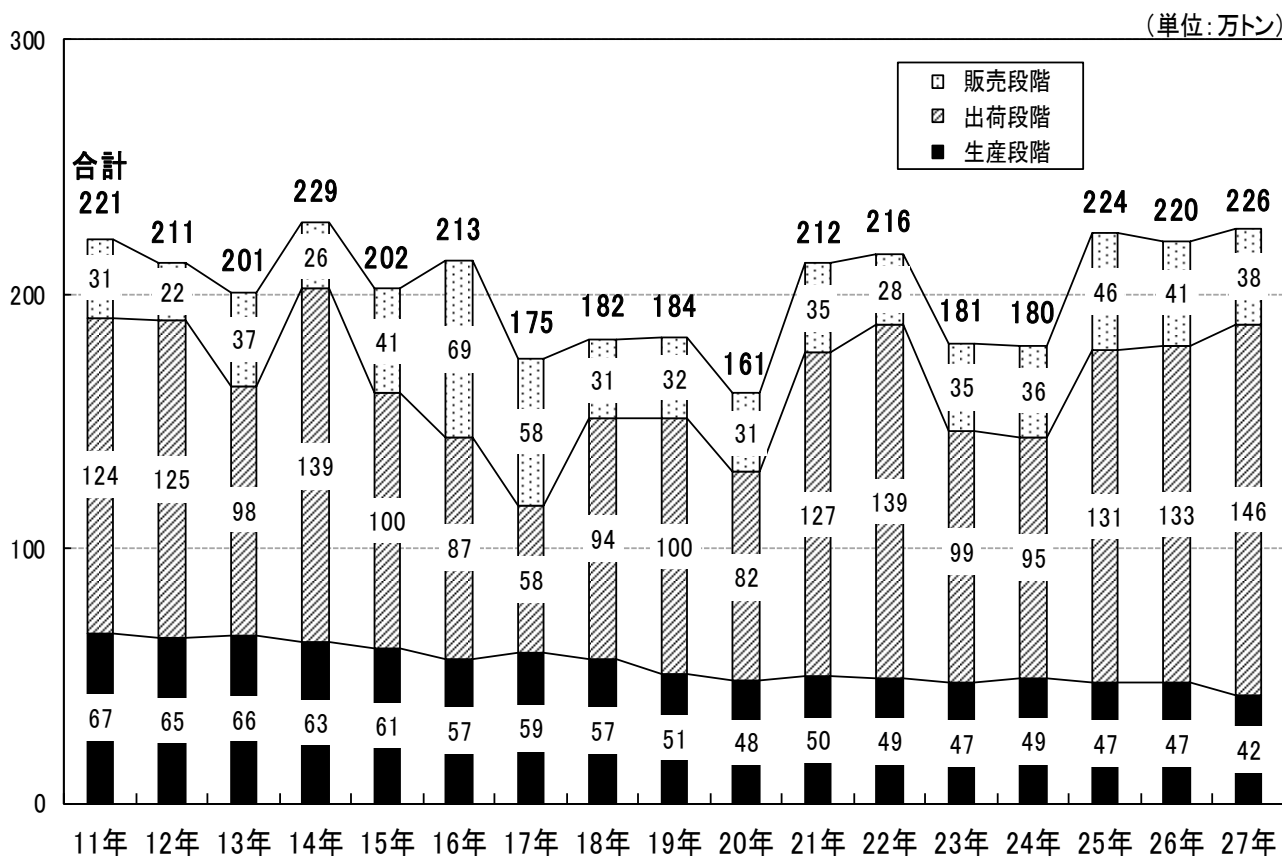
平成27/28年の備蓄運営

(単位:万トン)		
平成27年6月末備蓄量	A	91
平成27年産米買入契約数量	B	25
平成27/28年非主食用販売量	C	17~25
平成28年6月末備蓄量	D=A+B-C	91~99



注：国産うるち玄米の数量である。

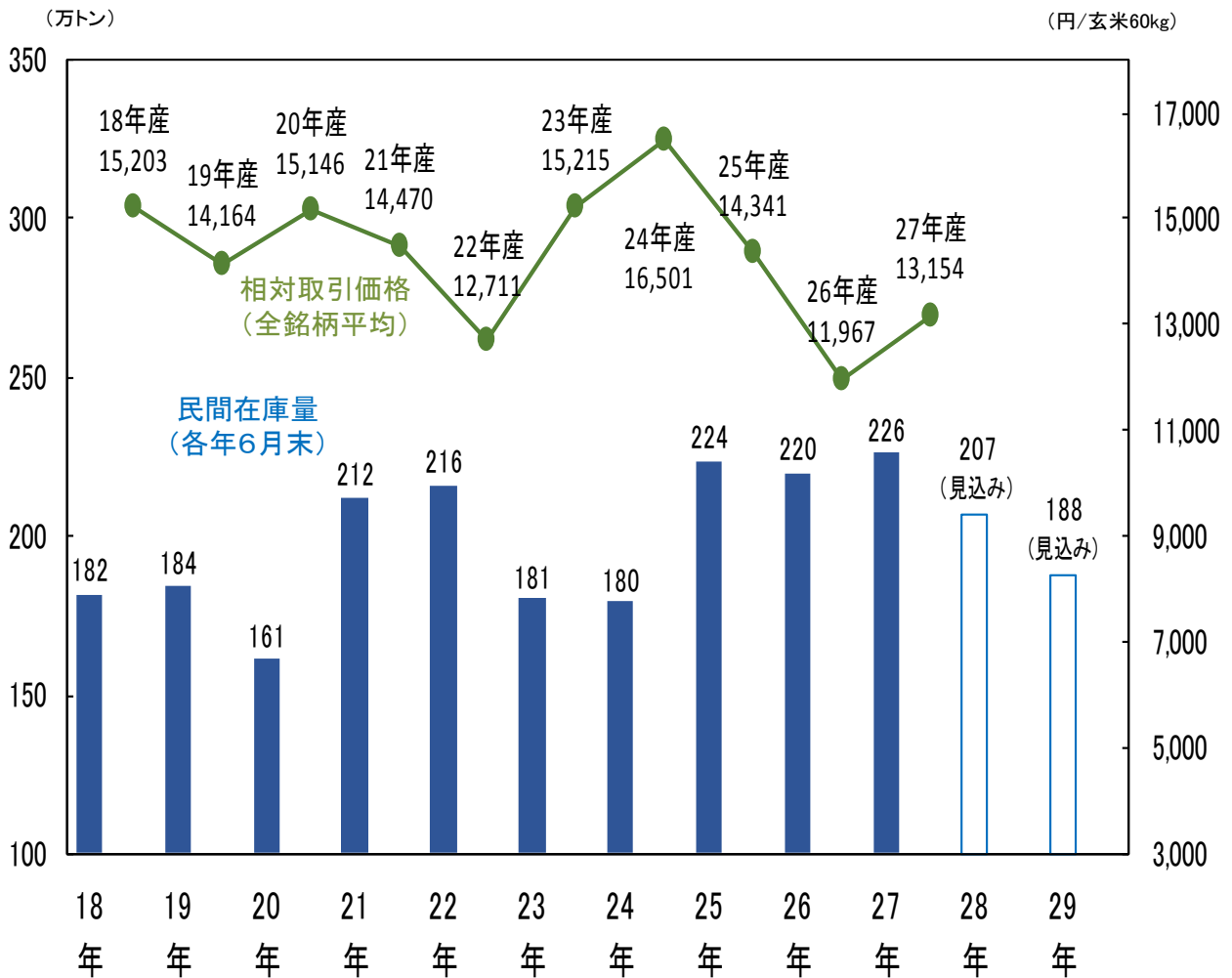
(4) 民間流通における6月末在庫量の推移



- 注：1 うるち玄米及びもち玄米の値である。
 2 各年の民間在庫量において、
 ① 平成16年以降については、年間玄米取扱数量500トン以上の業者（販売・出荷段階）の数量である。
 ② 平成15年については、販売段階の在庫量は、旧登録卸売業者の年間玄米取扱数量500トン以上、旧登録小売業者の1,000トン以上の業者の数量、出荷段階の在庫量は、年間玄米取扱数量500トン以上の業者の数量である。
 ③ 平成14年以前については推計値であり、販売段階の在庫量は、卸在庫量に小売在庫量（推計）を加えた数量、出荷段階の在庫量は、系統在庫量に非系統在庫量（推計）を加えた数量である。
 なお、生産段階の在庫量は、「生産者の米穀現在高等調査」（平成22年以降は「生産者の米穀在庫等調査」）を基に算出した在庫量から精米在庫量（推計）を控除した玄米在庫量である。
 3 平成26年の出荷段階の在庫量は、米穀機構の買入数量35万トンを含んでいない。
 4 ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

(参考) 相対取引価格と民間在庫量

- 相対取引価格は、その年々の需給状況により変動しているが、6月末における民間在庫量（生産、出荷、販売段階における在庫量）の水準もその要因の一つ。



注：相対取引価格は、当該年産の出回りから翌年10月（27年産は平成28年1月）までの通年平均価格であり、運賃、包装代、消費税相当額が含まれている。

表 平成28年産米の都道府県別の生産数量目標等

都道府県	27年産生産数量目標 のシェア(注1)	28年産生産数量目標		28年産自主的取組参考値	
			面積換算値		面積換算値
全国計	100%	743万トン	140万ha	735万トン	139万ha
北海道	547,330 / 7,510,000	541,500トン	100,464ha	535,669トン	99,382ha
青森	242,460 / 7,510,000	239,877トン	41,075ha	237,294トン	40,633ha
岩手	271,210 / 7,510,000	268,321トン	50,342ha	265,432トン	49,800ha
宮城	348,620 / 7,510,000	344,906トン	65,077ha	341,193トン	64,376ha
秋田	417,540 / 7,510,000	413,092トン	72,093ha	408,644トン	71,317ha
山形	344,500 / 7,510,000	340,830トン	57,282ha	337,160トン	56,666ha
福島	339,550 / 7,510,000	335,933トン	61,980ha	332,316トン	61,313ha
茨城	337,370 / 7,510,000	333,776トン	63,698ha	330,182トン	63,012ha
栃木	298,690 / 7,510,000	295,508トン	54,724ha	292,326トン	54,134ha
群馬	75,670 / 7,510,000	74,864トン	15,155ha	74,058トン	14,991ha
埼玉	151,270 / 7,510,000	149,659トン	30,543ha	148,047トン	30,214ha
千葉	246,490 / 7,510,000	243,864トン	45,582ha	241,239トン	45,091ha
東京	770 / 7,510,000	762トン	185ha	754トン	183ha
神奈川	14,400 / 7,510,000	14,247トン	2,890ha	14,093トン	2,859ha
新潟	521,290 / 7,510,000	515,737トン	95,507ha	510,184トン	94,479ha
富山	185,650 / 7,510,000	183,672トン	34,203ha	181,695トン	33,835ha
石川	123,630 / 7,510,000	122,313トン	23,567ha	120,996トン	23,313ha
福井	125,460 / 7,510,000	124,124トン	23,916ha	122,787トン	23,658ha
山梨	27,430 / 7,510,000	27,138トン	4,961ha	26,846トン	4,908ha
長野	194,000 / 7,510,000	191,933トン	30,907ha	189,867トン	30,574ha
岐阜	111,270 / 7,510,000	110,085トン	22,558ha	108,899トン	22,315ha
静岡	82,920 / 7,510,000	82,037トン	15,746ha	81,153トン	15,576ha
愛知	134,970 / 7,510,000	133,532トン	26,338ha	132,094トン	26,054ha
三重	143,510 / 7,510,000	141,981トン	28,396ha	140,453トン	28,091ha
滋賀	160,450 / 7,510,000	158,741トン	30,645ha	157,032トン	30,315ha
京都	75,930 / 7,510,000	75,121トン	14,701ha	74,312トン	14,542ha
大阪	26,220 / 7,510,000	25,941トン	5,241ha	25,661トン	5,184ha
兵庫	180,440 / 7,510,000	178,518トン	35,420ha	176,596トン	35,039ha
奈良	41,690 / 7,510,000	41,246トン	8,040ha	40,802トン	7,954ha
和歌山	34,850 / 7,510,000	34,479トン	6,965ha	34,108トン	6,891ha
鳥取	66,110 / 7,510,000	65,406トン	12,725ha	64,702トン	12,588ha
島根	90,000 / 7,510,000	89,041トン	17,493ha	88,083トン	17,305ha
岡山	158,550 / 7,510,000	156,861トン	29,821ha	155,172トン	29,500ha
広島	129,970 / 7,510,000	128,585トン	24,586ha	127,201トン	24,321ha
山口	108,760 / 7,510,000	107,601トン	21,349ha	106,443トン	21,120ha
徳島	58,540 / 7,510,000	57,916トン	12,219ha	57,293トン	12,087ha
香川	70,240 / 7,510,000	69,492トン	13,926ha	68,744トン	13,776ha
愛媛	73,920 / 7,510,000	73,133トン	14,685ha	72,345トン	14,527ha
高知	50,070 / 7,510,000	49,537トン	10,769ha	49,003トン	10,653ha
福岡	182,470 / 7,510,000	180,526トン	36,178ha	178,582トン	35,788ha
佐賀	138,420 / 7,510,000	136,945トン	26,386ha	135,471トン	26,102ha
長崎	62,850 / 7,510,000	62,180トン	12,981ha	61,511トン	12,842ha
熊本	189,310 / 7,510,000	187,293トン	36,368ha	185,277トン	35,976ha
大分	117,690 / 7,510,000	116,436トン	23,148ha	115,183トン	22,899ha
宮崎	93,600 / 7,510,000	92,603トン	18,632ha	91,606トン	18,432ha
鹿児島	111,070 / 7,510,000	109,887トン	22,751ha	108,704トン	22,506ha
沖縄	2,860 / 7,510,000	2,830トン	916ha	2,799トン	906ha

注1：米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針（平成26年11月）において、平成27年産米の都道府県別のシェアを固定し、当該シェアで按分して平成28年産米の都道府県別の生産数量目標及び自主的取組参考値とする旨を公表済み。

注2：端数処理の結果、合計値は一致しない。

(5) 平成28年産政府備蓄米の都道府県別優先枠及び買入札の結果

(単位:トン)

買入対象米穀 の産地	都道府県別 優先枠	買入札の結果 落札数量			28年産 落札合計数量
		第1回 平成28年 1月29日実施	第2回 2月10日実施	第3回 2月23日実施	
北海道	11,757	0	11,757	0	11,757
青森	17,177	17,177	0	0	17,177
岩手	7,200	7,200	0	0	7,200
宮城	9,900	368	9,532	0	9,900
秋田	21,343	21,343	0	0	21,343
山形	12,707	12,707	0	0	12,707
福島	20,000	19,459	541	0	20,000
茨城	990	229	761	0	990
栃木	7,470	2,817	3,954	0	6,771
群馬	10	10	0	0	10
埼玉	432	432	0	0	432
千葉	1,100	1,100	0	0	1,100
東京					
神奈川					
新潟	22,133	22,133	0	0	22,133
富山	9,822	9,822	0	0	9,822
石川	3,970	30	3,940	0	3,970
福井	1,985	160	1,825	0	1,985
山梨					
長野	655	655	0	0	655
岐阜	495	10	485	0	495
静岡	33	0	33	0	33
愛知	724	0	723	0	723
三重	542	542	0	0	542
滋賀	1,099	123	976	0	1,099
京都					
大阪					
兵庫	217	30	0	0	30
奈良					
和歌山					
鳥取	883	10	873	0	883
島根	71	71	0	0	71
岡山	2,133	2,133	0	0	2,133
広島	201	0	0	0	0
山口	227	0	0	0	0
徳島	555	10	488	57	555
香川					
愛媛	241	10	57	12	79
高知	15	0	0	15	15
福岡	219	10	209	0	219
佐賀	539	0	539	0	539
長崎	30	0	30	0	30
熊本	408	0	61	347	408
大分	220	220	0	0	220
宮崎					
鹿児島					
沖縄					
都道府県別枠計	157,500	118,811	36,784	431	156,026
指定無し	67,500	67,500	0	0	67,500
合計	225,000	186,311	36,784	431	223,526

2 契約・販売情報

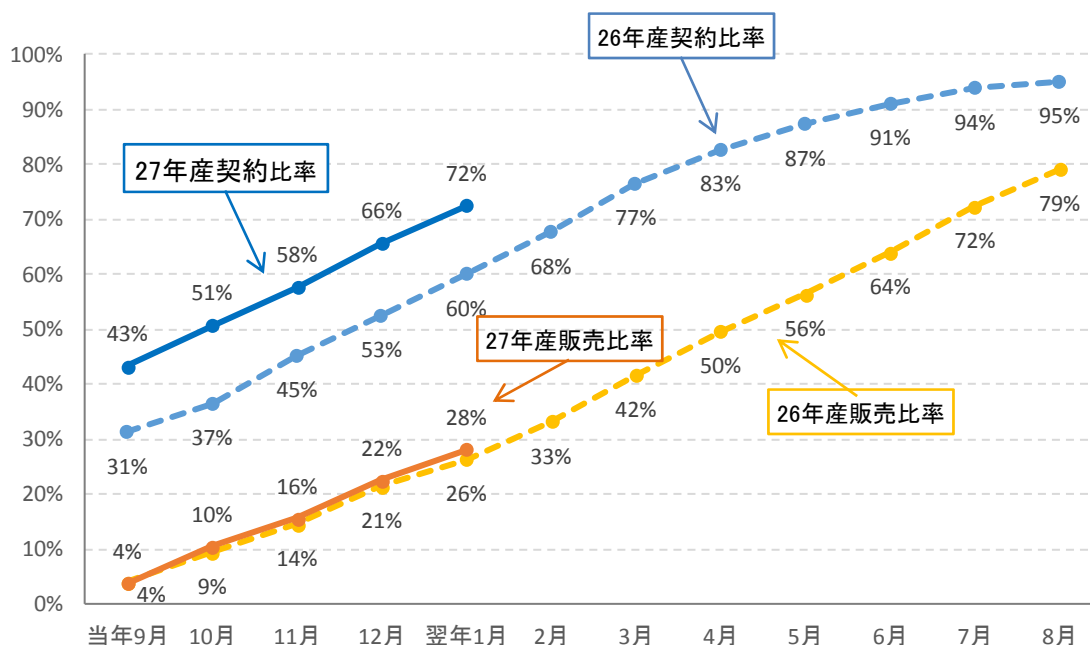
(1) 産地別契約・販売状況(速報)

- 平成27年産米の平成28年1月末現在の集荷状況は、主食用米の生産量が前年産より44万トン減少したこと等から、前年産の同時期より34万トンの296万トン。
- 契約数量は、事前契約が前年より多く結ばれたこと及び27年産米の需給状況を反映し、前年産の同時期の契約比率に比べ+12%の215万トン。
- 販売数量は、前年産の同時期の販売比率に比べ+2%の83万トン。

【参考】

生産数量	788万トン	(前年産比)	: 44万トン)
集荷数量	296万トン	(前年同期比)	: 34万トン)
契約数量	215万トン	(")	: + 7万トン)
販売数量	83万トン	(")	: 7万トン)

図: 契約・販売比率の推移(平成26・27年産)



注: 平成26年産は、各月末時点の契約・販売数量を平成27年10月末の集荷量で除して算出した最終実績ベース。

平成27年産は、各月末時点の契約・販売数量を平成28年1月末の集荷量で除して算出した直近ベースのため、今後、集荷数量の増加に伴い契約・販売比率に変動が生じる可能性がある。

平成27年産米の産地別契約・販売状況（累計、うるち米、平成28年1月末現在）

集荷・契約・販売数量①(北海道から千葉まで)

	集荷数量 ①	契約数量 ②	契約比率 ②/①	販売数量 ③	販売比率 ③/①	参考：前年同月比 (26年産の同時期との比較)		
						集荷数量	契約数量	販売数量
	(玄米千トン)	(玄米千トン)		(玄米千トン)				
北海道	386.4	282.2	+ 73%	113.5	+ 29%	+ 2%	▲ 7%	+ 2%
(ななつぼし)	177.0	133.9	+ 76%	49.6	+ 28%	+ 11%	▲ 5%	▲ 4%
(きらら397)	58.9	46.1	+ 78%	12.8	+ 22%	▲ 36%	▲ 30%	▲ 27%
(ゆめぴりか)	81.2	55.7	+ 69%	23.2	+ 29%	+ 23%	+ 9%	+ 10%
青森	140.1	118.3	+ 84%	27.0	+ 19%	▲ 13%	+ 44%	▲ 6%
(まっしぐら)	93.3	76.0	+ 81%	13.5	+ 14%	▲ 11%	+ 31%	▲ 23%
(つがろマン)	42.1	38.4	+ 91%	10.4	+ 25%	▲ 22%	+ 69%	+ 4%
岩手	155.0	113.9	+ 74%	26.1	+ 17%	+ 3%	+ 20%	+ 1%
(ひとめぼれ)	122.9	89.5	+ 73%	19.5	+ 16%	+ 5%	+ 17%	▲ 3%
(あきたこまち)	21.2	17.8	+ 84%	3.4	+ 16%	+ 4%	+ 58%	▲ 6%
(いわてっこ)	3.9	2.6	+ 65%	0.4	+ 10%	▲ 28%	▲ 34%	▲ 51%
宮城	163.9	131.7	+ 80%	30.5	+ 19%	▲ 12%	+ 1%	▲ 5%
(ひとめぼれ)	134.6	108.5	+ 81%	22.2	+ 17%	▲ 11%	▲ 2%	▲ 12%
(ササニシキ)	10.6	6.7	+ 64%	2.5	+ 23%	▲ 9%	▲ 5%	▲ 8%
(つや姫)	10.8	8.6	+ 80%	3.7	+ 35%
秋田	252.5	154.7	+ 61%	67.3	+ 27%	▲ 17%	+ 4%	▲ 7%
(あきたこまち)	204.5	119.9	+ 59%	58.8	+ 29%	▲ 8%	▲ 5%	▲ 5%
(めんこいな)	10.0	5.9	+ 59%	1.3	+ 12%	▲ 29%	+ 145%	▲ 24%
(ひとめぼれ)	23.9	19.5	+ 82%	3.8	+ 16%	▲ 13%	+ 38%	▲ 10%
山形	204.9	108.5	+ 53%	38.7	+ 19%	▲ 9%	+ 17%	+ 5%
(はえぬぎ)	128.7	63.6	+ 49%	18.4	+ 14%	▲ 13%	+ 28%	+ 26%
(つや姫)	30.1	17.4	+ 58%	9.7	+ 32%	+ 6%	+ 7%	▲ 11%
(ひとめぼれ)	19.8	14.4	+ 73%	4.7	+ 24%	▲ 13%	▲ 5%	+ 8%
福島	135.7	78.9	+ 58%	23.9	+ 18%	▲ 7%	+ 2%	+ 11%
(コシヒカリ中通り)	41.7	14.2	+ 34%	7.4	+ 18%	▲ 8%	▲ 45%	▲ 7%
(コシヒカリ会津)	41.9	33.0	+ 79%	5.3	+ 13%	+ 4%	+ 32%	+ 91%
(コシヒカリ浜通り)	5.3	2.8	+ 54%	0.7	+ 13%	▲ 25%	+ 45%	+ 81%
(ひとめぼれ)	29.1	19.9	+ 69%	5.9	+ 20%	▲ 14%	+ 21%	+ 3%
(天のつぶ)	8.9	5.2	+ 58%	1.8	+ 20%
茨城	77.2	76.6	+ 99%	23.9	+ 31%	▲ 24%	▲ 15%	▲ 24%
(コシヒカリ)	60.7	60.9	+ 100%	16.2	+ 27%	▲ 22%	▲ 11%	▲ 22%
(あきたこまち)	10.4	10.9	+ 105%	5.9	+ 57%	▲ 22%	▲ 14%	▲ 21%
(ゆめひたち)	0.8	0.4	+ 48%	0.2	+ 22%	▲ 55%	▲ 74%	▲ 56%
栃木	141.0	99.8	+ 71%	17.7	+ 13%	▲ 23%	▲ 14%	▲ 55%
(コシヒカリ)	120.1	85.8	+ 71%	14.9	+ 12%	▲ 16%	▲ 15%	▲ 55%
(あさひの夢)	9.2	6.4	+ 70%	0.7	+ 7%	▲ 61%	▲ 25%	▲ 59%
(なすひかり)	6.7	3.7	+ 56%	1.2	+ 18%	▲ 35%	▲ 19%	▲ 62%
群馬	18.4	2.4	+ 13%	1.4	+ 8%	▲ 29%	▲ 88%	▲ 67%
(あさひの夢)	11.1	0.7	+ 6%	0.4	+ 4%	▲ 36%	▲ 95%	▲ 77%
(ゆめまつり)	4.6	1.2	+ 25%	0.6	+ 13%
(ゴロピカリ)	0.2	0.0	+ 11%	0.0	+ 4%	▲ 85%	▲ 76%	▲ 88%
埼玉	21.5	14.9	+ 69%	5.0	+ 23%	▲ 23%	+ 0%	+ 9%
(彩のかがやき)	10.3	7.3	+ 71%	3.1	+ 30%	▲ 27%	▲ 22%	+ 9%
(コシヒカリ)	7.0	5.3	+ 75%	1.3	+ 18%	▲ 1%	+ 70%	+ 20%
(キヌヒカリ)	1.4	0.4	+ 31%	0.3	+ 21%	▲ 24%	+ 21%	+ 27%
千葉	91.6	78.6	+ 86%	38.7	+ 42%	▲ 23%	▲ 19%	▲ 18%
(コシヒカリ)	50.0	40.8	+ 82%	16.7	+ 33%	▲ 16%	▲ 22%	▲ 26%
(ふさこがね)	16.4	13.4	+ 82%	6.8	+ 42%	▲ 42%	▲ 33%	▲ 29%
(ふさおとめ)	20.6	20.3	+ 99%	12.5	+ 61%	▲ 15%	+ 13%	+ 28%

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。
- 2 報告対象米穀は、水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）である。
- 3 集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。
- 4 契約数量は、報告対象業者が自ら販売するために契約を締結（確認書等により数量のみが決定した契約を含む。）した数量である。
- 5 販売数量は、集荷数量のうち契約のあと実際に卸売業者等に引き取られた数量である。
- 6 銘柄ごとの集荷数量、契約数量、販売数量は、当該産地の内数として掲載している。
- 7 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。
- 8 「-」は、集荷数量、契約数量、販売数量に該当がないもの。
- 9 「参考：前年同月比」の「…」は、26年産では調査の対象銘柄でなかったこと等から、27年産米との比較が出来ないもの。

集荷・契約・販売数量②(東京から鳥取まで)

	集荷数量	契約数量	契約比率	販売数量	販売比率	参考: 前年同月比 (26年産の同時期との比較)		
	①	②	②/①	③	③/①	集荷数量	契約数量	販売数量
	(玄米千ト)	(玄米千ト)		(玄米千ト)				
東京	-	-	-	-	-
神奈川	2.7	1.0	+ 38%	1.0	+ 38%	+ 9%	▲ 4%	▲ 4%
山梨	5.9	1.4	+ 24%	1.4	+ 24%	+ 2%	▲ 9%	▲ 9%
	(コシヒカリ)	5.2	1.3	+ 24%	1.3	+ 4%	▲ 2%	▲ 2%
	(あさひの夢)	0.2	0.0	+ 17%	0.0	▲ 19%	+ 6%	+ 6%
長野	68.0	44.0	+ 65%	18.6	+ 27%	▲ 1%	+ 5%	+ 8%
	(コシヒカリ)	52.7	34.0	+ 64%	12.7	+ 1%	+ 6%	+ 13%
	(あきたこまち)	8.7	4.6	+ 53%	2.6	+ 7%	▲ 5%	+ 12%
静岡	9.6	4.9	+ 51%	4.9	+ 51%	▲ 5%	▲ 10%	▲ 10%
	(コシヒカリ)	6.3	3.4	+ 54%	3.4	▲ 5%	▲ 19%	▲ 19%
	(きぬむすめ)	1.1	0.6	+ 53%	0.6
	(あいちのかおり)	1.1	0.3	+ 28%	0.3	▲ 7%	▲ 19%	▲ 19%
新潟	253.1	231.2	+ 91%	92.5	+ 37%	▲ 13%	+ 32%	▲ 4%
	(コシヒカリ一般)	139.7	128.2	+ 92%	44.4	▲ 9%	+ 35%	▲ 7%
	(コシヒカリ魚沼)	21.9	17.2	+ 79%	10.9	▲ 30%	+ 6%	▲ 14%
	(コシヒカリ岩船)	12.0	11.7	+ 97%	4.2	▲ 11%	+ 21%	▲ 3%
	(コシヒカリ佐渡)	15.1	14.3	+ 94%	5.8	▲ 5%	+ 8%	▲ 2%
	(こしいぶき)	42.4	39.8	+ 94%	16.0	▲ 24%	+ 47%	+ 5%
富山	104.8	72.5	+ 69%	36.9	+ 35%	▲ 5%	+ 17%	▲ 2%
	(コシヒカリ)	87.3	59.4	+ 68%	29.9	▲ 6%	+ 14%	▲ 7%
	(てんたかく)	9.1	6.9	+ 75%	4.1	▲ 9%	+ 30%	+ 23%
石川	33.9	23.2	+ 69%	3.1	+ 9%	▲ 3%	+ 37%	▲ 14%
	(コシヒカリ)	23.1	16.9	+ 73%	2.1	▲ 4%	+ 63%	▲ 24%
	(ゆめみづほ)	7.8	5.2	+ 67%	0.4	+ 0%	+ 6%	+ 287%
福井	63.7	41.5	+ 65%	25.8	+ 41%	▲ 1%	+ 0%	▲ 4%
	(コシヒカリ)	30.4	19.1	+ 63%	10.7	+ 2%	▲ 9%	▲ 18%
	(ハナエチゼン)	18.9	11.7	+ 62%	9.9	▲ 9%	▲ 19%	▲ 12%
岐阜	28.7	14.4	+ 50%	8.7	+ 30%	▲ 16%	▲ 28%	▲ 6%
	(ハツシモ)	13.3	5.6	+ 42%	2.4	▲ 21%	▲ 30%	▲ 8%
	(コシヒカリ)	7.9	4.3	+ 54%	3.0	▲ 2%	▲ 35%	+ 3%
	(あきたこまち)	2.4	2.0	+ 81%	1.7	▲ 17%	▲ 18%	▲ 21%
愛知	35.1	26.5	+ 75%	11.5	+ 33%	▲ 15%	+ 140%	+ 4%
	(あいちのかおり)	17.2	12.2	+ 71%	4.2	▲ 17%	+ 316%	+ 42%
	(コシヒカリ)	11.4	9.8	+ 86%	4.6	▲ 14%	+ 83%	▲ 14%
	(大地の風)	1.5	1.2	+ 80%	0.8	▲ 15%	+ 101%	+ 34%
三重	31.0	19.5	+ 63%	10.0	+ 32%	▲ 3%	+ 16%	+ 3%
	(コシヒカリ一般)	16.8	10.8	+ 64%	5.4	+ 1%	+ 24%	▲ 4%
	(コシヒカリ伊賀)	7.3	4.2	+ 58%	2.0	+ 3%	+ 8%	+ 12%
	(キヌヒカリ)	2.8	1.4	+ 48%	0.7	▲ 1%	+ 43%	+ 92%
滋賀	58.1	60.9	+ 105%	23.8	+ 41%	▲ 4%	+ 28%	▲ 10%
	(コシヒカリ)	22.1	23.0	+ 104%	9.5	▲ 3%	+ 27%	▲ 15%
	(キヌヒカリ)	12.3	12.4	+ 101%	4.9	▲ 16%	+ 9%	▲ 26%
	(日本晴)	6.2	6.9	+ 110%	1.5	▲ 6%	+ 76%	+ 33%
京都	13.3	9.9	+ 75%	5.0	+ 37%	▲ 5%	▲ 27%	▲ 8%
	(コシヒカリ)	7.6	5.0	+ 67%	2.6	▲ 14%	▲ 43%	▲ 22%
	(キヌヒカリ)	3.3	2.9	+ 85%	1.4	+ 13%	▲ 2%	+ 19%
大阪	-	-	-	-	-
兵庫	42.9	25.1	+ 59%	19.3	+ 45%	+ 2%	+ 2%	▲ 1%
	(コシヒカリ)	12.1	5.0	+ 42%	4.6	▲ 4%	▲ 17%	▲ 20%
	(ヒノヒカリ)	4.7	1.4	+ 29%	1.2	▲ 6%	+ 2%	+ 2%
	(キヌヒカリ)	4.5	2.0	+ 46%	1.8	▲ 10%	+ 22%	+ 17%
奈良	10.0	10.0	+ 100%	2.5	+ 24%	+ 3%	+ 3%	+ 12%
	(ヒノヒカリ)	8.0	8.0	+ 100%	1.7	+ 7%	+ 7%	+ 12%
	(コシヒカリ)	0.5	0.5	+ 100%	0.2	▲ 16%	▲ 16%	▲ 23%
和歌山	1.8	1.8	+ 100%	0.3	+ 19%	+ 24%	+ 24%	▲ 7%
鳥取	21.9	12.7	+ 58%	6.6	+ 30%	▲ 17%	▲ 9%	▲ 19%
	(ひとめぼれ)	7.8	5.2	+ 67%	2.4	▲ 23%	▲ 11%	▲ 29%
	(コシヒカリ)	6.8	3.8	+ 57%	2.6	▲ 16%	▲ 25%	▲ 20%
	(きぬむすめ)	6.8	3.3	+ 48%	1.3

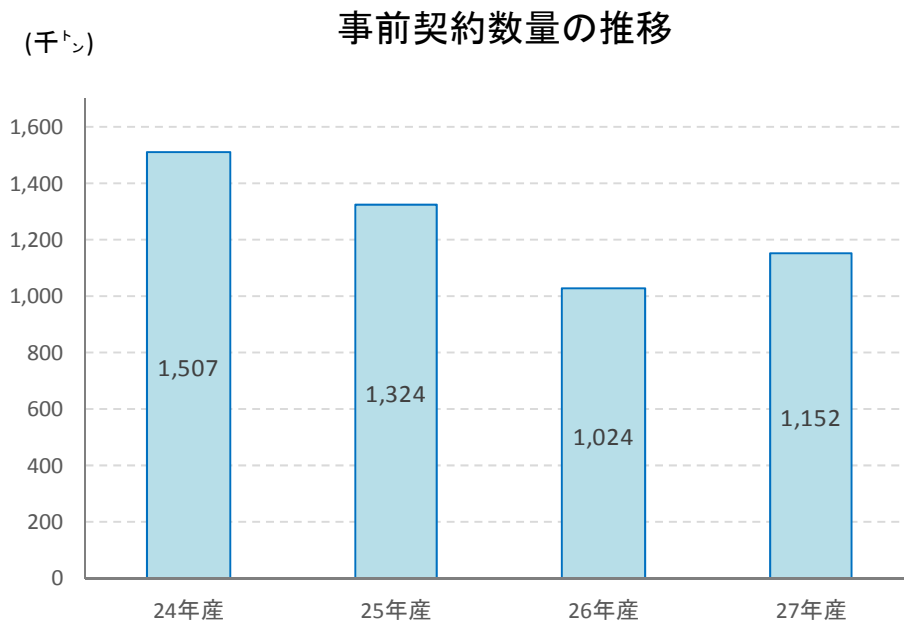
集荷・契約・販売数量③(島根から沖縄まで、全国計)

	集荷数量 ① (玄米千トン)	契約数量 ② (玄米千トン)	契約比率 ②/①	販売数量 ③ (玄米千トン)	販売比率 ③/①	参考: 前年同月比 (26年産の同時期との比較)		
						集荷数量	契約数量	販売数量
島 根	29.8	24.1	+ 81%	9.9	+ 33%	▲ 21%	+ 36%	▲ 6%
(コシヒカリ)	14.1	10.5	+ 75%	4.8	+ 34%	▲ 28%	+ 10%	▲ 28%
(きぬむすめ)	10.4	8.4	+ 81%	2.0	+ 19%	▲ 16%	+ 90%	+ 19%
(ハナエチゼン)	1.4	1.3	+ 94%	0.9	+ 65%	▲ 22%	+ 23%	+ 9%
岡 山	16.6	12.2	+ 74%	5.9	+ 35%	▲ 44%	▲ 40%	▲ 12%
(アケボノ)	3.4	1.8	+ 54%	0.8	+ 22%	▲ 61%	▲ 63%	▲ 15%
(あきたこまち)	1.7	1.8	+ 102%	0.9	+ 54%	▲ 44%	+ 1%	+ 16%
(ヒノヒカリ)	1.9	1.4	+ 74%	0.4	+ 20%	▲ 48%	▲ 45%	▲ 43%
広 島	33.5	31.6	+ 94%	11.6	+ 35%	▲ 8%	+ 7%	▲ 9%
(コシヒカリ)	14.8	14.2	+ 96%	5.1	+ 35%	▲ 6%	+ 6%	▲ 9%
(あきろまん)	3.8	4.5	+ 119%	1.1	+ 29%	▲ 26%	+ 11%	▲ 11%
(ヒノヒカリ)	2.7	2.6	+ 99%	0.6	+ 21%	▲ 17%	+ 2%	▲ 30%
山 口	34.4	25.2	+ 73%	9.3	+ 27%	▲ 4%	▲ 6%	+ 11%
(コシヒカリ)	10.5	8.1	+ 77%	3.4	+ 33%	+ 1%	+ 7%	▲ 15%
(ひとめぼれ)	8.0	5.7	+ 71%	2.4	+ 30%	▲ 13%	+ 3%	+ 49%
(ヒノヒカリ)	7.2	5.5	+ 77%	1.6	+ 23%	▲ 7%	+ 19%	+ 24%
徳 島	5.3	2.6	+ 48%	2.1	+ 40%	▲ 49%	▲ 59%	▲ 64%
(コシヒカリ)	3.4	1.6	+ 49%	1.5	+ 44%	▲ 53%	▲ 66%	▲ 69%
(キヌヒカリ)	1.4	0.6	+ 45%	0.4	+ 27%	▲ 31%	▲ 2%	▲ 19%
香 川	24.3	12.5	+ 51%	6.3	+ 26%	▲ 11%	▲ 5%	▲ 9%
(ヒノヒカリ)	10.7	5.9	+ 56%	2.5	+ 23%	▲ 23%	▲ 11%	▲ 10%
(コシヒカリ)	7.5	3.9	+ 52%	2.4	+ 32%	▲ 5%	▲ 12%	▲ 10%
愛 媛	13.4	5.2	+ 39%	4.6	+ 34%	▲ 6%	▲ 10%	▲ 10%
(コシヒカリ)	4.5	2.1	+ 47%	1.9	+ 43%	▲ 1%	▲ 13%	▲ 14%
(ヒノヒカリ)	2.5	1.0	+ 41%	0.8	+ 34%	▲ 22%	+ 19%	+ 36%
(あきたこまち)	1.9	0.7	+ 36%	0.7	+ 35%	▲ 12%	▲ 29%	▲ 26%
高 知	6.0	3.2	+ 54%	3.1	+ 52%	▲ 21%	▲ 39%	▲ 30%
(コシヒカリ)	4.7	2.2	+ 47%	2.1	+ 45%	▲ 22%	▲ 49%	▲ 38%
(ヒノヒカリ)	0.1	0.0	+ 35%	0.0	+ 35%	+ 13%	+ 48%	+ 48%
福 岡	52.9	35.2	+ 67%	13.4	+ 25%	+ 0%	+ 8%	+ 4%
(夢つくし)	15.4	11.9	+ 77%	5.5	+ 35%	▲ 4%	+ 29%	+ 11%
(ヒノヒカリ)	17.8	9.0	+ 50%	2.7	+ 15%	▲ 4%	▲ 9%	+ 3%
(元気つくし)	16.1	12.1	+ 75%	4.2	+ 26%
佐 賀	41.6	29.6	+ 71%	10.0	+ 24%	+ 3%	+ 3%	▲ 11%
(夢しずく)	12.1	9.0	+ 74%	3.2	+ 27%	▲ 5%	+ 9%	▲ 8%
(さがびより)	11.4	8.5	+ 75%	2.3	+ 21%	+ 4%	▲ 1%	▲ 18%
(ヒノヒカリ)	11.2	7.4	+ 66%	1.7	+ 15%	+ 15%	+ 4%	▲ 6%
長 崎	10.3	3.0	+ 29%	2.8	+ 27%	+ 12%	▲ 2%	▲ 1%
(にこまる)	3.8	0.9	+ 25%	0.9	+ 23%	+ 12%	▲ 20%	▲ 17%
(ヒノヒカリ)	3.4	0.8	+ 24%	0.8	+ 23%	+ 18%	+ 25%	+ 30%
(コシヒカリ)	1.7	0.7	+ 40%	0.6	+ 39%	▲ 2%	▲ 20%	▲ 19%
熊 本	36.8	29.6	+ 80%	13.2	+ 36%	▲ 17%	+ 2%	+ 0%
(ヒノヒカリ)	16.1	10.6	+ 66%	4.4	+ 28%	▲ 15%	▲ 4%	+ 2%
(森のくまさん)	7.2	5.4	+ 75%	1.8	+ 24%	+ 0%	▲ 7%	▲ 15%
(コシヒカリ)	6.0	7.7	+ 129%	4.1	+ 69%	▲ 21%	+ 19%	▲ 5%
大 分	14.9	7.3	+ 49%	3.2	+ 22%	▲ 14%	▲ 26%	+ 0%
(ヒノヒカリ)	10.9	4.8	+ 44%	1.7	+ 16%	▲ 11%	▲ 23%	+ 10%
(ひとめぼれ)	0.8	0.6	+ 78%	0.2	+ 28%	▲ 28%	▲ 30%	▲ 28%
宮 崎	15.1	15.1	+ 100%	11.1	+ 73%	▲ 27%	▲ 27%	▲ 27%
(コシヒカリ)	8.8	8.8	+ 100%	8.8	+ 100%	▲ 34%	▲ 34%	▲ 30%
(ヒノヒカリ)	5.2	5.2	+ 100%	1.8	+ 35%	▲ 10%	▲ 10%	▲ 3%
鹿児島	14.5	14.5	+ 100%	7.0	+ 48%	▲ 24%	▲ 24%	▲ 35%
(ヒノヒカリ)	6.8	6.8	+ 100%	1.6	+ 24%	▲ 15%	▲ 15%	▲ 36%
(コシヒカリ)	3.2	3.2	+ 100%	3.2	+ 100%	▲ 34%	▲ 34%	▲ 34%
(あきほなみ)	2.7	2.7	+ 100%	0.5	+ 18%	▲ 13%	▲ 13%	▲ 2%
沖 縄	1.6	1.6	+ 100%	1.5	+ 95%	▲ 7%	▲ 7%	▲ 9%
全 国 ①	2,959	2,145	+ 73%	832	+ 28%	▲ 10%	+ 3%	▲ 8%
参 考	前年同月(26年産)②	3,302	2,074	+ 63%	904	+ 27%		
	前年同月差(①-②)	▲ 343	71	+ 10ポイント	▲ 72	+ 1ポイント		

(2) 産地別事前契約数量

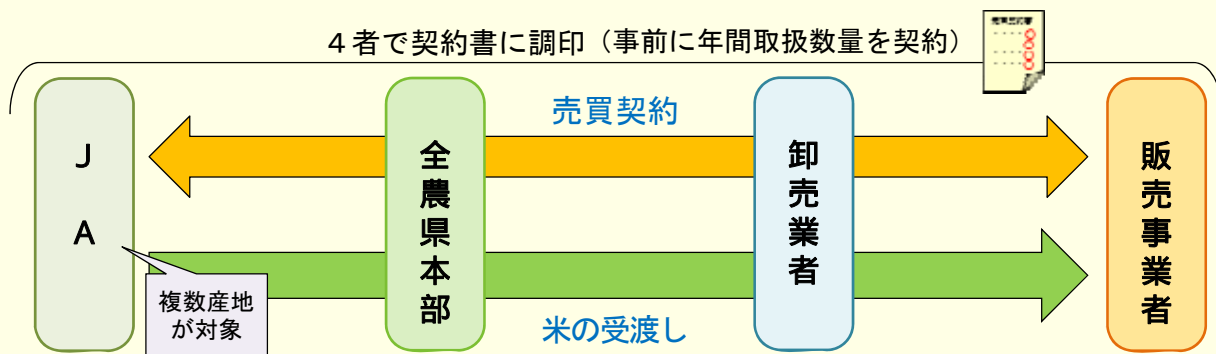
- 事前契約数量は、2年続けて減少していたが、平成27年産米の事前契約数量は、前年産に比べ13万トン多い115万トンという水準であり、集荷数量に対する事前契約の比率は39%。

〔 事前契約数量とは、複数年契約、は種前契約、収穫前契約といった米の収穫時期の前にあらかじめ契約されたもの。 〕



大手量販店におけるPBブランドの安定的な原料確保に向けた取組事例

- 年間7万トンのプライベートブランド商品（PB商品）の米を販売するA販売事業者においては、必要な銘柄を安定的に確保するため、16道府県のJA、全農県本部及び卸売業者等と播種前の2～3月頃に4者契約を結び、年間取扱数量を事前に契約。
- なお、取引価格については、出来秋の全農相対取引価格を基準に決定。



産地別事前契約数量 (累計、うるち米、平成28年1月末現在) (速報)

単位: 玄米千トン

	24年産			25年産			26年産			27年産(平成28年1月末現在)		
	集荷数量 ①	うち事前契約分 ②	事前契約比率 ②/①	集荷数量 ③	うち事前契約分 ④	事前契約比率 ④/③	集荷数量 ⑤	うち事前契約分 ⑥	事前契約比率 ⑥/⑤	集荷数量 ⑦	うち事前契約分 ⑧	事前契約比率 ⑧/⑦
北海道	407.4	226.1	56%	389.9	167.0	43%	398.0	161.0	40%	386.4	146.5	38%
青森	123.6	43.3	35%	165.1	46.9	28%	169.6	26.1	15%	140.1	45.8	33%
岩手	163.3	85.3	52%	148.8	82.3	55%	150.2	47.7	32%	155.0	70.9	46%
宮城	203.8	105.6	52%	196.2	141.7	72%	216.3	111.3	51%	163.9	108.6	66%
秋田	297.7	148.7	50%	319.5	102.6	32%	303.9	68.5	23%	252.5	80.1	32%
山形	235.0	75.5	32%	259.0	56.9	22%	242.7	52.8	22%	204.9	34.2	17%
福島	157.4	50.4	32%	173.9	27.9	16%	153.3	20.0	13%	135.7	35.1	26%
茨城	98.0	60.1	61%	107.8	39.0	36%	109.8	46.0	42%	77.2	53.2	69%
栃木	164.7	59.0	36%	191.8	43.1	22%	184.0	36.8	20%	141.0	61.2	43%
群馬	27.9	-	-	26.9	-	-	26.3	-	-	18.4	-	-
埼玉	19.7	6.7	34%	23.1	5.9	25%	28.5	3.2	11%	21.5	5.8	27%
千葉	104.9	33.6	32%	111.0	20.0	18%	123.8	31.3	25%	91.6	37.6	41%
東京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川	2.2	-	-	2.1	-	-	2.4	-	-	2.7	-	-
山梨	6.1	-	-	6.3	-	-	5.9	-	-	5.9	-	-
長野	74.8	39.1	52%	77.8	42.0	54%	69.9	22.0	31%	68.0	21.4	32%
静岡	9.6	-	-	7.9	-	-	10.2	-	-	9.6	-	-
新潟	345.0	190.8	55%	306.0	144.4	47%	292.4	122.3	42%	253.1	144.6	57%
富山	103.0	48.3	47%	111.6	53.8	48%	111.6	36.2	32%	104.8	29.5	28%
石川	38.2	31.1	82%	38.2	29.4	77%	36.6	14.2	39%	33.9	11.9	35%
福井	71.7	41.9	58%	72.0	56.3	78%	65.2	7.8	12%	63.7	7.3	11%
岐阜	38.9	18.8	48%	39.6	17.0	43%	34.4	15.3	44%	28.7	9.6	33%
愛知	40.3	7.9	20%	43.5	7.8	18%	41.1	-	-	35.1	10.6	30%
三重	31.0	19.1	62%	39.0	20.0	51%	31.3	15.9	51%	31.0	17.4	56%
滋賀	73.2	41.7	57%	77.2	40.6	53%	67.2	25.7	38%	58.1	38.6	67%
京都	17.7	10.6	60%	17.3	8.0	46%	15.5	7.2	47%	13.3	6.1	46%
大阪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫	42.4	-	-	42.6	-	-	41.1	-	-	42.9	-	-
奈良	8.4	-	-	8.6	-	-	9.7	-	-	10.0	-	-
和歌山	1.4	1.4	98%	1.3	1.3	98%	1.4	1.4	99%	1.8	1.5	86%
鳥取	29.3	7.5	25%	29.0	10.6	37%	27.0	6.9	25%	21.9	5.7	26%
島根	48.2	19.9	41%	39.3	21.8	56%	43.5	11.3	26%	29.8	18.8	63%
岡山	31.5	-	-	31.9	-	-	30.1	10.0	33%	16.6	-	-
広島	45.3	-	-	41.6	1.9	5%	36.9	1.9	5%	33.5	24.5	73%
山口	47.1	22.1	47%	42.9	22.9	53%	37.0	20.5	55%	34.4	22.9	67%
徳島	15.0	-	-	14.3	-	-	10.3	-	-	5.3	-	-
香川	32.1	19.3	60%	31.7	19.1	60%	28.3	13.2	46%	24.3	12.2	50%
愛媛	15.6	-	-	15.2	-	-	14.6	-	-	13.4	-	-
高知	9.2	-	-	8.8	-	-	7.6	-	-	6.0	1.2	20%
福岡	54.1	23.7	44%	54.2	25.7	47%	56.9	25.0	44%	52.9	27.8	52%
佐賀	42.4	20.4	48%	40.8	23.8	58%	42.7	23.8	56%	41.6	24.3	58%
長崎	11.2	-	-	11.6	-	-	10.9	-	-	10.3	-	-
熊本	49.1	25.7	52%	49.3	23.9	48%	45.1	22.9	51%	36.8	23.3	63%
大分	18.0	1.1	6%	18.6	1.6	9%	17.9	1.0	5%	14.9	1.1	7%
宮崎	23.0	19.8	86%	23.0	18.7	81%	20.8	14.7	71%	15.1	13.2	87%
鹿児島	19.8	-	-	21.9	-	-	19.0	-	-	14.5	-	-
沖縄	1.7	-	-	1.7	-	-	1.7	-	-	1.6	-	-
全国	3,400	1,507	44%	3,520	1,324	38%	3,436	1,024	30%	2,959	1,152	39%

資料: 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注: 1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体(年間の玄米仕入数量が5,000トン以上)、出荷業者(年間の直接販売数量が5,000トン以上)である。

2 報告対象米穀は、水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米(醸造用玄米を含む。)である。

3 24年産は、25年産の報告対象業者から26年2月末時点で聞き取った数量、25年産及び26年産は生産年の翌年10月末時点、27年産は28年1月末時点の数量である。

4 集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。

5 事前契約分とは、3の集荷数量のうち、は種前・収穫前契約及び複数年の契約による数量(確認書等により数量のみが決定した契約を含む。)である。

6 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

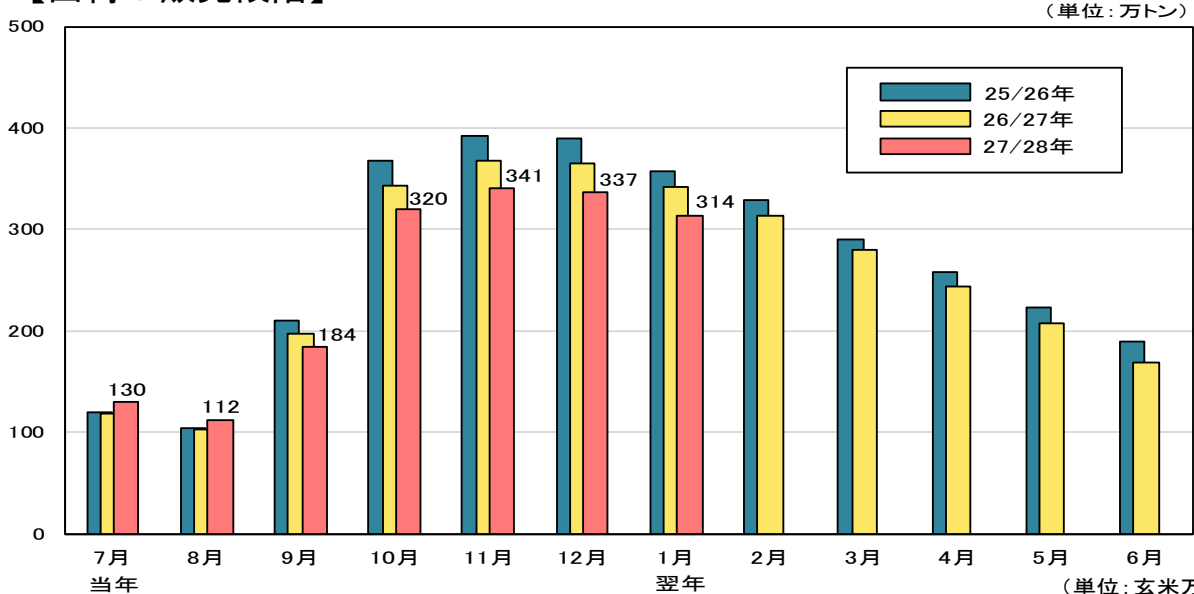
7 「-」は、集荷数量や事前契約に該当がないもの。

米の在庫情報

(1) 全国段階の民間在庫の推移（うるち米、平成21年7月末～平成28年1月末）（速報）

- 平成28年1月末の出荷及び販売段階における在庫は、前年同月より 29万トンの314万トンと減少。
- 平成21年以降では、平成23年に次ぐ低い水準。
都道府県別在庫量は、16頁以降参照。

【出荷＋販売段階】



	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
21/22年	113	93	164	349	380	372	347	320	267	228	191	154
対前年差	+47	+44	+30	+24	+29	+26	+25	+26	+10	+7	▲4	+6
21年産米	2	14	107	297	333	335	316	293	246	213	180	146
1年古米(20年産)	106	76	52	42	35	27	22	18	12	8	6	4
22/23年	118	102	212	351	372	363	339	304	238	200	156	118
対前年差	+5	+9	+48	+1	▲8	▲8	▲8	▲15	▲29	▲29	▲34	▲36
22年産米	0	16	145	290	314	315	297	268	208	174	135	99
1年古米(21年産)	112	81	60	52	49	41	35	29	24	20	16	13
23/24年	83	55	134	298	327	320	291	259	224	185	147	113
対前年差	▲36	▲47	▲78	▲53	▲46	▲43	▲48	▲46	▲14	▲14	▲9	▲5
23年産米	0	8	106	273	304	300	275	246	214	177	141	108
1年古米(22年産)	69	37	19	13	11	8	6	5	2	2	1	1
24/25年	78	62	167	337	357	351	324	293	264	229	190	157
対前年差	▲5	+8	+33	+39	+30	+30	+33	+34	+40	+43	+43	+44
24年産米	0	16	135	306	331	331	307	279	252	219	182	150
1年古米(23年産)	73	41	26	20	15	9	7	5	4	3	2	2
25/26年	120	104	210	368	393	389	358	330	291	258	223	190
対前年差	+42	+42	+43	+32	+36	+39	+34	+36	+27	+29	+33	+33
25年産米	1	19	145	310	337	345	320	297	264	236	205	175
1年古米(24年産)	114	82	59	47	43	32	25	22	17	13	10	8
26/27年	(注7) 119	103	198	344	368	365	343	314	280	243	208	168
対前年差	▲1	▲2	▲12	▲24	▲25	▲24	▲15	▲16	▲11	▲15	▲15	▲21
26年産米	0	14	131	285	316	323	306	283	255	220	188	155
1年古米(25年産)	106	78	55	45	37	28	23	19	15	13	11	9
27/28年	130	112	184	320	341	337	314					
対前年差	+11	+9	▲13	▲24	▲27	▲29	▲29					
27年産米	0	13	112	260	289	296	282					
1年古米(26年産)	119	90	66	52	43	32	25					

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上若しくは年間の玄米仕入量が500トン以上）である。
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。
 4 期間については、27/28年であれば、27年7月～28年6月である。
 5 年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、当該年産米と1年古米の計と一致しない。
 6 26年産米は、政府備蓄米を含まない。それ以前の年産は、政府による買入までの間の政府備蓄米を含む。
 7 米穀機構の25年産買入数量（35万トン）は、26/27年7月以降の在庫に含まれていない。

【出荷段階】

(単位: 玄米万トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
21/22年	91	73	133	299	328	321	303	279	232	197	165	132
対前年差	+44	+41	+22	+14	+20	+25	+26	+28	+18	+15	+2	+11
21年産米	1	11	96	275	309	308	291	271	225	191	162	130
1年古米(20年産)	90	61	36	21	15	11	9	7	5	3	2	2
22/23年	100	85	187	311	329	321	301	268	201	164	128	92
対前年差	+9	+12	+54	+12	+1	±0	▲1	▲11	▲31	▲32	▲37	▲40
22年産米	0	13	134	271	294	291	276	247	184	151	117	82
1年古米(21年産)	99	70	51	37	34	28	23	20	16	13	11	8
23/24年	62	39	112	260	286	275	252	222	185	150	117	86
対前年差	▲38	▲46	▲75	▲50	▲43	▲45	▲49	▲46	▲16	▲15	▲11	▲6
23年産米	0	5	94	249	276	266	245	217	182	148	116	85
1年古米(22年産)	55	29	14	7	6	4	3	2	1	1	0	0
24/25年	56	41	136	287	305	295	275	247	213	183	151	121
対前年差	▲6	+2	+24	+26	+19	+20	+23	+25	+28	+33	+34	+35
24年産米	0	12	118	274	296	290	271	243	210	181	150	120
1年古米(23年産)	55	29	17	10	7	3	2	2	1	1	1	1
25/26年	90	77	173	309	332	331	306	282	244	217	188	159
対前年差	+34	+35	+37	+23	+27	+36	+31	+35	+31	+34	+37	+38
25年産米	1	16	132	285	310	316	294	271	236	210	183	155
1年古米(24年産)	89	61	40	21	19	13	10	8	6	5	4	3
26/27年	93	78	165	293	316	313	295	270	234	199	170	139
対前年差	+2	+2	▲8	▲16	▲17	▲18	▲11	▲12	▲10	▲18	▲18	▲20
26年産米	0	12	119	261	289	293	280	257	225	192	165	134
1年古米(25年産)	89	64	44	29	22	16	13	10	7	5	4	4
27/28年	105	89	157	277	296	292	273					
対前年差	+12	+11	▲8	▲16	▲20	▲21	▲22					
27年産米	0	11	100	236	262	267	254					
1年古米(26年産)	101	76	55	39	32	23	18					

※本表の注意点は前頁の出荷+販売段階の脚注を参照

【販売段階】

(単位: 玄米万トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
21/22年	22	20	31	51	52	51	45	40	35	32	26	22
対前年差	▲3	+4	+8	+10	+9	+1	±0	▲2	▲8	▲7	▲6	▲5
21年産米	0	3	11	22	24	27	24	23	22	22	18	16
1年古米(20年産)	17	14	16	21	20	15	13	11	7	5	4	3
22/23年	18	17	25	40	43	43	38	36	37	35	28	26
対前年差	▲3	▲3	▲6	▲11	▲9	▲8	-▲7	▲4	+2	+3	+3	+4
22年産米	0	3	12	19	21	23	21	22	24	23	19	17
1年古米(21年産)	14	11	9	15	16	13	11	9	8	8	6	5
23/24年	21	16	22	37	40	45	40	37	39	35	30	27
対前年差	+2	▲1	▲3	▲3	▲3	+2	+2	+1	+2	±0	+2	+1
23年産米	0	3	13	24	28	34	30	29	32	30	25	23
1年古米(22年産)	14	9	5	6	5	4	3	2	2	1	1	1
24/25年	22	21	30	50	52	56	49	46	51	46	39	36
対前年差	+1	+5	+8	+13	+11	+11	+9	+9	+12	+10	+8	+9
24年産米	0	4	17	32	35	41	37	36	42	38	32	31
1年古米(23年産)	18	13	8	10	8	6	5	3	3	2	2	1
25/26年	30	28	37	59	60	58	51	47	47	41	35	31
対前年差	+8	+7	+6	+9	+9	+3	+2	+1	▲4	▲4	▲4	▲5
25年産米	0	3	13	25	27	29	27	25	28	26	21	20
1年古米(24年産)	25	21	19	26	24	19	16	13	10	8	6	5
26/27年	27	24	32	51	52	52	47	44	46	44	37	30
対前年差	▲3	▲3	▲4	▲8	▲8	▲6	▲4	▲4	▲1	+3	+3	▲1
26年産米	0	3	13	24	26	30	27	26	29	29	24	21
1年古米(25年産)	17	14	11	16	15	12	10	8	8	8	7	5
27/28年	25	23	27	43	45	45	41					
対前年差	▲2	▲2	▲5	▲8	▲7	▲7	▲7					
27年産米	0	2	11	24	27	29	27					
1年古米(26年産)	17	14	10	13	12	9	7					

※本表の注意点は前頁の出荷+販売段階の脚注を参照

(2) 産地別民間在庫の状況 (前年同月比)

27年産(28年1月末)

【出荷＋販売段階】

(単位:千トン)

産地	27年産 (H28.1末)	26年産 (H27.1末)	前年 同月比
北海道	338.0	334.9	101%
青森	138.3	152.4	91%
岩手	140.5	139.5	101%
宮城	159.1	191.6	83%
秋田	216.4	241.6	90%
山形	203.0	225.5	90%
福島	162.6	172.1	94%
茨城	106.9	128.0	84%
栃木	145.0	168.3	86%
群馬	24.3	32.8	74%
埼玉	23.6	33.0	72%
千葉	99.4	125.8	79%
東京	0.0	0.0	
神奈川	2.2	2.0	115%
新潟	207.9	237.4	88%
富山	82.7	81.3	102%
石川	55.3	51.4	108%
福井	47.7	45.6	105%
山梨	4.9	4.8	103%
長野	60.7	63.0	96%
岐阜	23.0	28.2	82%
静岡	11.8	12.0	99%
愛知	30.5	36.4	84%
三重	33.0	38.3	86%

産地	27年産 (H28.1末)	26年産 (H27.1末)	前年 同月比
滋賀	50.2	50.6	99%
京都	17.4	11.1	156%
大阪	2.3	1.9	120%
兵庫	35.0	32.1	109%
奈良	8.4	8.1	103%
和歌山	2.0	1.6	123%
鳥取	27.3	29.5	93%
島根	21.8	31.8	69%
岡山	39.0	44.8	87%
広島	29.4	29.6	99%
山口	28.2	31.8	89%
徳島	6.8	10.0	68%
香川	18.6	21.3	87%
愛媛	11.9	11.9	100%
高知	7.0	5.9	118%
福岡	58.4	56.2	104%
佐賀	34.5	31.4	110%
長崎	9.2	10.4	89%
熊本	42.6	46.6	92%
大分	18.4	20.1	92%
宮崎	11.8	11.2	105%
鹿児島	18.4	18.8	98%
沖縄	0.2	0.1	203%
全国計	2,816	3,063	92%

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米(醸造用玄米含む。)の月末在庫量(玄米換算)の値である。

注2：出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体(年間の玄米仕入数量が5,000トン以上)、出荷業者(年間の直接販売数量が5,000トン以上若しくは年間の玄米仕入量が500トン以上)である。

注3：販売段階は、米穀の販売の事業を行う者(年間の玄米仕入量が4,000トン以上)である。

(3) 平成26・27年産の産地別民間在庫の推移
(うるち米、平成27年7月末から平成28年1月末) (速報)

産地別民間在庫の推移① (北海道から秋田)

(単位: 玄米千トン)

		27年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	
北海道	出荷+販売段階	124.8	91.8	119.3	326.2	373.9	384.0	358.1						
	27年産米	0.0	0.0	58.7	276.9	335.2	355.2	338.0						
	1年古米(26年産)	122.8	90.4	59.6	48.5	38.0	28.2	19.8						
	出荷段階	96.2	67.8	94.9	269.0	316.1	323.5	305.1						
	27年産米	0.0	0.0	51.1	239.2	293.6	307.9	293.7						
	1年古米(26年産)	95.6	67.5	43.5	29.6	22.4	15.5	11.4						
	販売段階	28.6	24.0	24.5	57.3	57.8	60.4	53.0						
	27年産米	0.0	0.0	7.5	37.7	41.6	47.3	44.3						
	1年古米(26年産)	27.2	22.9	16.1	18.9	15.6	12.7	8.4						
	青森	出荷+販売段階	71.6	54.7	64.5	143.9	151.1	161.7	150.7					
		27年産米	0.0	0.0	25.4	116.1	129.5	145.6	138.3					
		1年古米(26年産)	69.5	53.1	38.0	26.8	20.9	15.5	11.9					
出荷段階		56.6	43.4	55.4	129.5	137.4	147.8	139.1						
27年産米		0.0	0.0	24.9	110.1	122.3	136.7	130.3						
1年古米(26年産)		56.6	43.3	30.5	19.4	15.1	11.1	8.8						
販売段階		14.9	11.3	9.1	14.4	13.7	13.9	11.6						
27年産米		0.0	0.0	0.5	6.0	7.2	8.9	8.0						
1年古米(26年産)		12.9	9.8	7.5	7.4	5.8	4.4	3.1						
岩手		出荷+販売段階	57.6	44.3	42.7	133.2	149.2	164.2	154.2					
		27年産米	0.0	0.0	9.9	105.7	126.2	146.6	140.5					
		1年古米(26年産)	56.2	43.4	32.4	27.0	22.7	17.3	13.4					
	出荷段階	51.7	39.6	39.0	122.8	137.6	152.4	143.9						
	27年産米	0.0	0.0	9.4	99.7	118.4	138.4	132.8						
	1年古米(26年産)	51.4	39.4	29.4	22.9	19.1	13.9	10.9						
	販売段階	5.9	4.7	3.7	10.4	11.6	11.7	10.3						
	27年産米	0.0	0.0	0.4	6.1	7.7	8.1	7.7						
	1年古米(26年産)	4.8	4.0	3.0	4.1	3.6	3.4	2.5						
	宮城	出荷+販売段階	113.9	95.8	123.2	214.5	208.1	193.6	183.2					
		27年産米	0.0	0.0	46.3	146.8	151.6	156.1	159.1					
		1年古米(26年産)	110.2	93.4	75.3	66.3	55.3	36.5	23.1					
出荷段階		99.9	85.2	113.9	198.1	191.1	175.5	168.8						
27年産米		0.0	0.0	44.8	140.3	143.9	145.7	149.8						
1年古米(26年産)		99.4	84.8	68.8	57.6	47.0	29.8	19.0						
販売段階		14.0	10.7	9.3	16.4	17.1	18.1	14.5						
27年産米		0.0	0.0	1.5	6.5	7.7	10.4	9.4						
1年古米(26年産)		10.8	8.6	6.5	8.8	8.3	6.7	4.1						
秋田		出荷+販売段階	129.8	99.6	144.7	284.1	281.4	271.7	251.3					
		27年産米	0.0	0.0	70.1	221.6	228.5	228.1	216.4					
		1年古米(26年産)	104.8	81.1	60.5	51.9	45.1	37.4	30.9					
	出荷段階	110.7	83.8	130.3	264.1	260.9	250.0	233.7						
	27年産米	0.0	0.0	68.3	212.4	217.6	215.1	204.4						
	1年古米(26年産)	93.6	72.1	53.7	46.0	39.7	32.7	27.6						
	販売段階	19.2	15.7	14.5	19.9	20.5	21.7	17.6						
	27年産米	0.0	0.0	1.8	9.2	10.8	13.0	12.0						
	1年古米(26年産)	11.2	9.0	6.9	5.9	5.5	4.6	3.3						

資料： 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注： 1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上若しくは年間の玄米仕入量が500トン以上）である。
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。
 4 年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、26年産米と1年古米（26年産）の合計と一致しない場合がある。

(お知らせ)

平成26年2月から平成27年6月までの産地別民間在庫の推移については、農林水産省ホームページに掲載しています。
 (ホーム > 組織・政策 > 政策統括官 > 米(稲)・麦・大豆 > 米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等)
 [http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html]

産地別民間在庫の推移②（山形から埼玉）

（単位：玄米千トン）

		27年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
山形	出荷+販売段階	109.3	87.7	102.4	228.2	244.2	242.9	230.4					
	27年産米	0.0	0.0	32.7	172.7	197.4	206.6	203.0					
	1年古米(26年産)	104.9	84.2	66.6	53.0	44.7	34.6	25.9					
	出荷段階	96.9	77.9	93.1	212.9	227.3	224.9	215.4					
	27年産米	0.0	0.0	31.8	164.9	188.4	196.1	193.5					
	1年古米(26年産)	95.8	77.1	60.6	47.6	38.7	28.7	21.9					
	販売段階	12.4	9.9	9.3	15.3	16.9	18.0	15.0					
	27年産米	0.0	0.0	0.8	7.7	9.0	10.5	9.5					
	1年古米(26年産)	9.1	7.1	6.0	5.4	6.0	5.9	4.0					
福島	出荷+販売段階	60.5	42.3	42.9	175.2	193.7	191.2	177.6					
	27年産米	0.0	0.1	13.8	145.9	169.4	172.2	162.6					
	1年古米(26年産)	58.4	40.7	28.1	28.6	23.8	18.6	14.7					
	出荷段階	47.9	32.2	33.7	148.2	164.1	161.8	150.6					
	27年産米	0.0	0.0	12.6	134.2	152.5	152.9	143.6					
	1年古米(26年産)	47.1	31.6	21.0	13.9	11.5	8.8	7.0					
	販売段階	12.6	10.1	9.2	27.1	29.7	29.4	27.0					
	27年産米	0.0	0.0	1.3	11.7	16.9	19.3	19.0					
	1年古米(26年産)	11.2	9.1	7.2	14.8	12.3	9.8	7.7					
茨城	出荷+販売段階	51.4	53.4	128.0	137.3	135.7	126.2	119.1					
	27年産米	0.0	16.2	99.1	120.2	118.3	112.0	106.9					
	1年古米(26年産)	46.0	32.6	24.8	13.6	14.9	12.7	11.3					
	出荷段階	33.3	33.9	91.6	99.4	96.1	90.2	84.0					
	27年産米	0.0	9.9	75.1	92.4	90.2	84.7	78.6					
	1年古米(26年産)	33.2	23.9	16.4	6.9	5.8	5.6	5.4					
	販売段階	18.1	19.5	36.4	37.9	39.7	36.0	35.1					
	27年産米	0.0	6.4	23.9	27.8	28.1	27.4	28.4					
	1年古米(26年産)	12.8	8.7	8.4	6.7	9.1	7.2	5.9					
栃木	出荷+販売段階	94.4	77.6	135.8	168.7	175.4	178.5	166.0					
	27年産米	0.0	0.0	76.2	123.4	141.5	152.0	145.0					
	1年古米(26年産)	87.6	72.7	56.8	43.8	32.9	25.9	20.5					
	出荷段階	81.3	67.3	123.0	150.6	157.4	160.1	150.9					
	27年産米	0.0	0.0	70.8	112.7	129.7	138.6	133.3					
	1年古米(26年産)	78.4	65.2	51.3	37.4	27.5	21.3	17.5					
	販売段階	13.1	10.2	12.8	18.1	18.0	18.5	15.1					
	27年産米	0.0	0.0	5.4	10.7	11.8	13.4	11.8					
	1年古米(26年産)	9.3	7.5	5.6	6.3	5.4	4.6	3.0					
群馬	出荷+販売段階	12.4	10.1	8.4	10.5	15.1	26.7	27.0					
	27年産米	0.0	0.0	0.5	4.7	10.3	23.4	24.3					
	1年古米(26年産)	11.0	9.0	7.0	5.1	4.3	3.0	2.4					
	出荷段階	9.8	6.6	5.4	7.6	12.1	23.9	24.5					
	27年産米	0.0	0.0	0.4	4.4	9.5	22.1	23.1					
	1年古米(26年産)	9.0	6.6	5.0	3.2	2.7	1.8	1.4					
	販売段階	2.6	3.5	3.0	2.9	3.0	2.8	2.5					
	27年産米	0.0	0.0	0.1	0.3	0.9	1.3	1.3					
	1年古米(26年産)	2.0	2.4	2.0	1.9	1.6	1.2	1.0					
埼玉	出荷+販売段階	15.6	12.6	16.3	28.4	33.9	32.6	29.4					
	27年産米	0.0	0.4	7.0	19.4	26.3	25.8	23.6					
	1年古米(26年産)	15.5	12.2	9.3	9.0	7.5	6.7	5.7					
	出荷段階	14.1	11.1	14.4	23.4	29.3	27.6	25.3					
	27年産米	0.0	0.1	6.2	16.8	23.5	22.9	21.2					
	1年古米(26年産)	14.1	11.0	8.2	6.6	5.7	4.7	4.1					
	販売段階	1.5	1.5	1.9	5.0	4.6	4.9	4.1					
	27年産米	0.0	0.3	0.8	2.6	2.8	2.9	2.5					
	1年古米(26年産)	1.4	1.2	1.1	2.4	1.8	2.0	1.6					

注：本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

産地別民間在庫の推移③（千葉から静岡）

(単位: 玄米千トン)

		27年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
千葉	出荷+販売段階	36.3	89.8	150.9	143.9	136.1	122.2	113.5					
	27年産米	0.0	61.9	127.9	124.9	116.6	108.0	99.4					
	1年古米(26年産)	35.1	27.5	22.6	18.6	19.2	14.0	13.9					
	出荷段階	30.6	82.1	139.7	132.1	121.5	107.7	97.5					
	27年産米	0.0	58.5	119.8	116.7	109.0	99.1	90.8					
	1年古米(26年産)	30.2	23.4	19.8	15.3	12.4	8.5	6.7					
	販売段階	5.7	7.8	11.1	11.8	14.7	14.5	16.0					
	27年産米	0.0	3.4	8.1	8.2	7.6	8.8	8.6					
	1年古米(26年産)	4.8	4.0	2.7	3.3	6.9	5.4	7.2					
東京	出荷+販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
	27年産米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
	1年古米(26年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
	出荷段階	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
	27年産米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
	1年古米(26年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
	販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
	27年産米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
	1年古米(26年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
神奈川	出荷+販売段階	0.4	0.3	0.4	2.9	2.8	2.6	2.3					
	27年産米	0.0	0.0	0.3	2.9	2.8	2.6	2.2					
	1年古米(26年産)	0.4	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
	出荷段階	0.4	0.3	0.4	2.9	2.8	2.6	2.2					
	27年産米	0.0	0.0	0.3	2.9	2.8	2.6	2.2					
	1年古米(26年産)	0.4	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
	販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
	27年産米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
	1年古米(26年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
山梨	出荷+販売段階	2.2	1.7	1.6	4.7	5.1	5.4	5.0					
	27年産米	0.0	0.0	0.4	3.7	4.3	5.3	4.9					
	1年古米(26年産)	2.1	1.6	1.2	0.9	0.8	0.1	0.0					
	出荷段階	1.9	1.5	1.4	4.3	4.6	4.9	4.5					
	27年産米	0.0	0.0	0.4	3.5	3.8	4.8	4.5					
	1年古米(26年産)	1.9	1.4	1.0	0.8	0.7	0.1	0.0					
	販売段階	0.3	0.3	0.2	0.3	0.5	0.5	0.5					
	27年産米	0.0	0.0	0.0	0.2	0.5	0.5	0.4					
	1年古米(26年産)	0.3	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0					
長野	出荷+販売段階	21.5	14.9	23.1	58.3	73.7	69.5	62.3					
	27年産米	0.0	0.0	14.2	52.2	69.1	66.7	60.7					
	1年古米(26年産)	21.0	14.5	8.6	5.9	4.5	2.8	1.5					
	出荷段階	18.0	11.8	20.4	53.5	67.7	62.5	55.8					
	27年産米	0.0	0.0	13.6	49.1	64.4	60.7	55.5					
	1年古米(26年産)	17.8	11.7	6.8	4.3	3.2	1.8	0.2					
	販売段階	3.6	3.1	2.7	4.8	6.0	7.0	6.5					
	27年産米	0.0	0.0	0.7	3.1	4.7	6.0	5.2					
	1年古米(26年産)	3.2	2.8	1.8	1.6	1.2	1.0	1.3					
静岡	出荷+販売段階	2.7	4.0	13.2	17.8	17.4	15.9	12.1					
	27年産米	0.0	2.3	12.2	17.2	17.0	15.5	11.8					
	1年古米(26年産)	2.5	1.6	0.8	0.4	0.3	0.2	0.2					
	出荷段階	1.9	2.6	9.1	13.0	13.1	12.2	9.1					
	27年産米	0.0	1.4	8.5	12.9	13.1	12.1	9.1					
	1年古米(26年産)	1.9	1.2	0.6	0.1	0.0	0.0	0.0					
	販売段階	0.8	1.4	4.1	4.8	4.3	3.7	3.1					
	27年産米	0.0	0.9	3.7	4.3	3.9	3.4	2.8					
	1年古米(26年産)	0.6	0.4	0.2	0.3	0.3	0.2	0.2					

注：本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

産地別民間在庫の推移④（新潟から愛知）

（単位：玄米千トン）

		27年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
新潟	出荷＋販売段階	67.5	43.7	188.0	288.0	277.0	247.5	223.7					
	27年産米	0.0	0.4	161.7	265.1	255.2	229.1	207.9					
	1年古米(26年産)	66.0	42.1	25.5	22.2	21.1	17.8	15.3					
	出荷段階	57.8	34.7	175.0	266.1	251.1	218.5	198.0					
	27年産米	0.0	0.3	153.2	249.4	236.7	206.5	187.7					
	1年古米(26年産)	56.8	33.5	21.2	16.3	14.0	11.6	10.0					
	販売段階	9.7	9.0	13.0	21.9	25.9	29.1	25.7					
	27年産米	0.0	0.0	8.4	15.7	18.5	22.6	20.2					
	1年古米(26年産)	9.2	8.6	4.2	5.9	7.1	6.2	5.3					
富山	出荷＋販売段階	22.6	16.4	72.2	104.6	102.3	94.0	85.2					
	27年産米	0.0	0.6	61.2	96.1	96.9	89.8	82.7					
	1年古米(26年産)	21.8	15.1	10.6	8.2	5.1	3.9	2.3					
	出荷段階	18.6	12.2	66.8	96.9	95.2	86.8	79.3					
	27年産米	0.0	0.4	58.1	91.6	92.4	84.5	78.0					
	1年古米(26年産)	18.5	11.8	8.7	5.3	2.8	2.3	1.2					
	販売段階	4.1	4.2	5.4	7.7	7.1	7.2	5.9					
	27年産米	0.0	0.3	3.1	4.5	4.5	5.3	4.6					
	1年古米(26年産)	3.2	3.3	1.9	2.9	2.4	1.6	1.1					
石川	出荷＋販売段階	19.9	18.1	61.7	71.9	69.4	62.7	57.8					
	27年産米	0.0	3.6	50.4	63.2	62.3	58.8	55.3					
	1年古米(26年産)	19.3	14.1	11.0	8.5	6.9	3.6	2.4					
	出荷段階	17.0	15.2	44.6	52.3	51.0	47.5	45.0					
	27年産米	0.0	2.5	34.8	45.2	45.7	44.7	43.0					
	1年古米(26年産)	16.8	12.5	9.7	7.0	5.2	2.7	1.9					
	販売段階	2.8	2.9	17.1	19.6	18.4	15.2	12.9					
	27年産米	0.0	1.1	15.6	18.0	16.5	14.2	12.3					
	1年古米(26年産)	2.5	1.6	1.3	1.5	1.7	0.9	0.5					
福井	出荷＋販売段階	15.4	14.1	42.1	63.4	59.4	56.1	51.4					
	27年産米	0.0	2.3	33.0	56.1	53.1	51.4	47.7					
	1年古米(26年産)	14.5	11.1	8.7	7.0	6.2	4.5	3.6					
	出荷段階	11.6	10.4	36.9	56.0	52.8	50.2	46.4					
	27年産米	0.0	1.4	29.4	50.4	47.9	46.5	43.4					
	1年古米(26年産)	11.6	8.9	7.5	5.6	5.0	3.6	3.1					
	販売段階	3.7	3.7	5.3	7.4	6.6	5.9	5.0					
	27年産米	0.0	0.9	3.6	5.7	5.2	4.9	4.4					
	1年古米(26年産)	2.9	2.2	1.2	1.4	1.2	0.9	0.6					
岐阜	出荷＋販売段階	16.4	15.4	15.3	20.4	24.0	30.0	27.4					
	27年産米	0.0	1.8	4.4	11.8	16.8	24.5	23.0					
	1年古米(26年産)	14.6	12.1	9.5	7.4	6.1	4.7	3.7					
	出荷段階	13.4	12.7	12.3	16.5	20.5	25.6	23.4					
	27年産米	0.0	1.6	3.8	10.0	15.1	21.6	20.3					
	1年古米(26年産)	13.0	10.9	8.5	6.5	5.5	4.1	3.2					
	販売段階	3.0	2.7	3.0	3.9	3.4	4.4	4.0					
	27年産米	0.0	0.2	0.6	1.8	1.8	2.9	2.8					
	1年古米(26年産)	1.6	1.2	1.0	0.9	0.7	0.6	0.5					
愛知	出荷＋販売段階	15.5	13.4	16.4	26.7	34.2	36.3	34.1					
	27年産米	0.0	1.9	8.4	20.8	29.1	32.1	30.5					
	1年古米(26年産)	14.3	10.8	7.6	5.5	4.8	4.0	3.4					
	出荷段階	13.3	11.3	14.3	23.6	30.0	31.8	30.1					
	27年産米	0.0	1.5	7.3	18.5	25.9	28.3	27.1					
	1年古米(26年産)	13.0	9.6	6.8	5.0	4.0	3.3	2.8					
	販売段階	2.2	2.1	2.1	3.1	4.2	4.5	4.0					
	27年産米	0.0	0.4	1.1	2.3	3.2	3.8	3.4					
	1年古米(26年産)	1.3	1.2	0.7	0.6	0.8	0.6	0.6					

注：本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

産地別民間在庫の推移⑤（三重から奈良）

（単位：玄米千トン）

		27年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
三重	出荷＋販売段階	7.7	14.7	38.3	44.0	41.4	37.9	34.2					
	27年産米	0.0	9.3	34.1	40.1	38.8	36.3	33.0					
	1年古米(26年産)	7.6	5.3	4.1	3.7	2.5	1.5	1.1					
	出荷段階	6.2	12.2	35.3	40.5	38.1	34.8	31.3					
	27年産米	0.0	7.9	31.8	37.9	36.3	33.6	30.4					
	1年古米(26年産)	6.2	4.4	3.5	2.6	1.8	1.2	0.9					
	販売段階	1.5	2.5	3.1	3.5	3.3	3.1	3.0					
	27年産米	0.0	1.4	2.3	2.2	2.5	2.6	2.6					
	1年古米(26年産)	1.4	0.9	0.6	1.1	0.7	0.4	0.3					
滋賀	出荷＋販売段階	18.5	15.2	53.9	59.6	57.7	57.5	53.3					
	27年産米	0.0	2.1	45.0	54.1	52.3	53.6	50.2					
	1年古米(26年産)	16.8	12.0	8.1	4.9	4.8	3.7	3.0					
	出荷段階	15.3	12.1	50.4	55.0	52.9	52.3	48.9					
	27年産米	0.0	1.9	43.5	51.3	49.1	49.6	46.8					
	1年古米(26年産)	14.7	9.7	6.6	3.5	3.6	2.7	2.1					
	販売段階	3.2	3.2	3.5	4.6	4.8	5.2	4.4					
	27年産米	0.0	0.1	1.5	2.8	3.2	4.0	3.4					
	1年古米(26年産)	2.2	2.2	1.4	1.3	1.2	1.0	0.9					
京都	出荷＋販売段階	4.6	3.5	8.0	12.1	13.1	12.6	18.1					
	27年産米	0.0	0.0	5.6	10.7	11.9	11.7	17.4					
	1年古米(26年産)	4.6	3.4	2.3	1.4	1.1	0.9	0.7					
	出荷段階	4.0	3.0	7.2	9.8	10.9	10.8	16.5					
	27年産米	0.0	0.0	5.2	9.7	10.9	10.7	16.4					
	1年古米(26年産)	4.0	3.0	2.0	0.1	0.1	0.1	0.0					
	販売段階	0.7	0.5	0.8	2.4	2.1	1.9	1.6					
	27年産米	0.0	0.0	0.4	1.0	1.1	1.0	1.0					
	1年古米(26年産)	0.6	0.4	0.3	1.3	1.0	0.8	0.6					
大阪	出荷＋販売段階	0.6	0.5	0.6	1.0	1.2	2.4	2.4					
	27年産米	0.0	0.0	0.3	0.8	1.1	2.3	2.3					
	1年古米(26年産)	0.6	0.5	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1					
	出荷段階	0.5	0.3	0.4	0.9	1.1	2.2	2.0					
	27年産米	0.0	0.0	0.3	0.7	1.1	2.1	1.9					
	1年古米(26年産)	0.5	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1					
	販売段階	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.2	0.4					
	27年産米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.4					
	1年古米(26年産)	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0					
兵庫	出荷＋販売段階	10.6	7.6	20.6	33.3	44.4	42.6	35.9					
	27年産米	0.0	0.0	15.7	31.9	43.2	41.6	35.0					
	1年古米(26年産)	10.4	7.4	4.7	1.3	1.1	0.9	0.7					
	出荷段階	8.9	5.9	18.4	29.8	40.1	38.3	31.7					
	27年産米	0.0	0.0	14.8	29.8	40.1	38.3	31.7					
	1年古米(26年産)	8.9	5.9	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0					
	販売段階	1.7	1.7	2.3	3.5	4.2	4.3	4.2					
	27年産米	0.0	0.0	1.0	2.2	3.1	3.3	3.3					
	1年古米(26年産)	1.5	1.5	1.1	1.2	1.0	0.8	0.7					
奈良	出荷＋販売段階	2.5	1.7	1.7	6.5	10.3	9.5	9.5					
	27年産米	0.0	0.0	0.8	6.1	9.9	9.1	8.4					
	1年古米(26年産)	2.3	1.5	0.8	0.4	0.3	0.3	0.2					
	出荷段階	2.1	1.3	1.3	5.4	8.9	8.2	7.6					
	27年産米	0.0	0.0	0.8	5.2	8.9	8.2	7.6					
	1年古米(26年産)	2.1	1.3	0.5	0.2	0.0	0.0	0.0					
	販売段階	0.4	0.4	0.4	1.2	1.4	1.3	1.9					
	27年産米	0.0	0.0	0.1	0.9	1.0	1.0	0.8					
	1年古米(26年産)	0.3	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	0.2					

注：本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

産地別民間在庫の推移⑥（和歌山から山口）

（単位：玄米千トン）

		27年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
和歌山	出荷+販売段階	1.0	0.8	1.4	2.1	2.3	2.5	2.4					
	27年産米	0.0	0.0	0.8	1.6	1.8	2.1	2.0					
	1年古米(26年産)	0.8	0.6	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3					
	出荷段階	0.5	0.4	1.0	1.7	1.7	1.6	1.4					
	27年産米	0.0	0.0	0.8	1.4	1.5	1.4	1.4					
	1年古米(26年産)	0.5	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.0					
	販売段階	0.5	0.4	0.4	0.5	0.6	0.9	1.0					
	27年産米	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	0.7	0.5					
	1年古米(26年産)	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.3					
鳥取	出荷+販売段階	10.2	7.3	8.8	20.8	23.8	28.6	27.8					
	27年産米	0.0	0.0	4.7	17.8	21.9	27.5	27.3					
	1年古米(26年産)	9.5	6.8	3.7	2.6	1.7	0.9	0.5					
	出荷段階	7.8	5.2	6.9	17.9	21.3	26.0	24.3					
	27年産米	0.0	0.0	4.2	16.4	20.5	25.7	24.2					
	1年古米(26年産)	7.5	5.0	2.5	1.4	0.8	0.3	0.1					
	販売段階	2.4	2.1	1.9	2.8	2.4	2.5	3.6					
	27年産米	0.0	0.0	0.5	1.4	1.4	1.8	3.1					
	1年古米(26年産)	2.0	1.8	1.2	1.2	0.9	0.6	0.4					
島根	出荷+販売段階	16.9	14.7	20.6	26.6	25.8	27.1	25.1					
	27年産米	0.0	0.4	10.9	20.7	20.7	23.1	21.8					
	1年古米(26年産)	15.8	13.5	9.0	5.3	4.5	3.5	2.8					
	出荷段階	14.7	12.9	18.4	23.6	22.7	23.8	22.3					
	27年産米	0.0	0.4	10.0	19.0	18.8	20.7	19.9					
	1年古米(26年産)	14.7	12.5	8.4	4.5	3.9	3.1	2.4					
	販売段階	2.1	1.9	2.3	3.0	3.1	3.3	2.8					
	27年産米	0.0	0.1	0.9	1.7	1.9	2.3	1.9					
	1年古米(26年産)	1.1	1.0	0.7	0.8	0.6	0.5	0.4					
岡山	出荷+販売段階	19.4	14.4	16.6	31.0	42.0	44.3	40.7					
	27年産米	0.0	0.0	6.4	23.8	37.0	41.3	39.0					
	1年古米(26年産)	18.5	14.0	10.0	7.1	4.9	2.9	1.7					
	出荷段階	15.8	11.3	12.8	24.9	35.5	37.2	33.9					
	27年産米	0.0	0.0	5.1	20.5	32.2	35.2	32.9					
	1年古米(26年産)	15.4	11.2	7.6	4.4	3.4	2.0	1.0					
	販売段階	3.5	3.1	3.9	6.1	6.4	7.1	6.8					
	27年産米	0.0	0.0	1.3	3.4	4.9	6.2	6.0					
	1年古米(26年産)	3.1	2.9	2.4	2.7	1.5	0.9	0.7					
広島	出荷+販売段階	10.7	7.7	17.5	37.5	37.9	34.3	30.9					
	27年産米	0.0	0.1	12.6	34.3	35.5	32.5	29.4					
	1年古米(26年産)	10.1	7.2	4.5	3.0	2.3	1.8	1.4					
	出荷段階	7.3	4.9	14.0	31.7	32.2	28.9	26.3					
	27年産米	0.0	0.1	11.6	31.7	32.1	28.8	26.3					
	1年古米(26年産)	7.3	4.7	2.4	0.1	0.1	0.0	0.0					
	販売段階	3.4	2.9	3.4	5.7	5.7	5.4	4.5					
	27年産米	0.0	0.0	1.0	2.7	3.4	3.6	3.1					
	1年古米(26年産)	2.9	2.4	2.1	2.9	2.2	1.7	1.4					
山口	出荷+販売段階	11.4	10.7	16.4	34.2	35.6	32.5	30.1					
	27年産米	0.0	0.4	9.4	28.3	31.0	30.0	28.2					
	1年古米(26年産)	10.1	9.3	6.2	5.3	4.4	2.5	1.9					
	出荷段階	9.6	9.2	14.9	31.0	33.1	30.0	28.1					
	27年産米	0.0	0.3	9.1	27.4	30.1	28.6	27.0					
	1年古米(26年産)	8.9	8.3	5.4	3.3	2.8	1.4	1.1					
	販売段階	1.7	1.5	1.5	3.1	2.6	2.5	2.0					
	27年産米	0.0	0.1	0.3	0.9	0.9	1.4	1.1					
	1年古米(26年産)	1.1	1.0	0.8	2.0	1.6	1.1	0.8					

注：本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

産地別民間在庫の推移⑦（徳島から佐賀）

（単位：玄米千トン）

		27年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
徳島	出荷＋販売段階	1.9	8.3	12.2	11.1	10.0	8.9	6.9					
	27年産米	0.0	7.2	11.5	10.6	9.6	8.7	6.8					
	1年古米(26年産)	1.9	1.0	0.6	0.4	0.4	0.2	0.1					
	出荷段階	0.9	6.5	9.0	7.9	6.9	6.0	4.9					
	27年産米	0.0	6.3	8.9	7.9	6.9	6.0	4.9					
	1年古米(26年産)	0.9	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
	販売段階	1.1	1.7	3.2	3.2	3.1	2.8	2.0					
	27年産米	0.0	0.9	2.6	2.7	2.7	2.6	1.8					
	1年古米(26年産)	1.0	0.8	0.5	0.4	0.4	0.2	0.1					
香川	出荷＋販売段階	8.5	6.1	7.2	14.3	22.4	20.9	19.3					
	27年産米	0.0	0.4	3.6	12.4	21.2	20.0	18.6					
	1年古米(26年産)	7.6	5.3	3.4	1.8	1.1	0.8	0.6					
	出荷段階	6.7	4.9	6.1	12.5	20.7	19.4	18.1					
	27年産米	0.0	0.4	3.4	11.9	20.5	19.4	18.1					
	1年古米(26年産)	6.7	4.5	2.7	0.5	0.1	0.0	0.0					
	販売段階	1.8	1.2	1.2	1.9	1.7	1.4	1.2					
	27年産米	0.0	0.0	0.2	0.5	0.7	0.5	0.5					
	1年古米(26年産)	0.9	0.8	0.7	1.3	1.0	0.8	0.6					
愛媛	出荷＋販売段階	5.6	6.7	8.4	13.4	16.1	14.8	13.6					
	27年産米	0.0	2.3	5.0	10.6	13.9	12.9	11.9					
	1年古米(26年産)	4.8	3.8	3.0	2.6	2.2	1.9	1.7					
	出荷段階	4.5	5.8	7.7	12.6	15.6	14.3	13.2					
	27年産米	0.0	2.2	4.9	10.3	13.6	12.5	11.6					
	1年古米(26年産)	4.5	3.6	2.8	2.3	2.0	1.8	1.6					
	販売段階	1.1	0.9	0.7	0.8	0.6	0.5	0.4					
	27年産米	0.0	0.1	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3					
	1年古米(26年産)	0.3	0.2	0.1	0.3	0.2	0.1	0.1					
高知	出荷＋販売段階	2.1	8.6	8.0	9.7	9.2	8.2	7.3					
	27年産米	0.5	7.3	7.0	9.0	8.6	7.8	7.0					
	1年古米(26年産)	1.0	0.8	0.6	0.4	0.3	0.2	0.1					
	出荷段階	0.8	5.0	4.9	6.0	5.9	5.4	5.0					
	27年産米	0.3	4.6	4.7	5.8	5.7	5.3	4.8					
	1年古米(26年産)	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1					
	販売段階	1.3	3.6	3.1	3.7	3.3	2.8	2.4					
	27年産米	0.1	2.7	2.3	3.1	2.9	2.5	2.2					
	1年古米(26年産)	0.7	0.6	0.5	0.3	0.2	0.1	0.1					
福岡	出荷＋販売段階	21.0	14.6	21.2	41.3	53.3	60.5	62.2					
	27年産米	0.0	0.3	11.7	33.4	47.0	56.2	58.4					
	1年古米(26年産)	19.2	12.8	8.2	6.8	5.5	3.7	3.3					
	出荷段階	17.9	12.0	16.8	32.7	45.3	53.8	55.6					
	27年産米	0.0	0.2	8.9	28.0	41.6	51.4	54.3					
	1年古米(26年産)	17.2	11.2	7.4	4.5	3.4	2.2	1.2					
	販売段階	3.2	2.6	4.4	8.5	8.0	6.7	6.5					
	27年産米	0.0	0.1	2.8	5.4	5.4	4.8	4.2					
	1年古米(26年産)	2.0	1.5	0.8	2.4	2.1	1.5	2.1					
佐賀	出荷＋販売段階	13.6	11.2	10.1	26.6	34.2	37.5	36.1					
	27年産米	0.0	0.9	3.1	22.2	30.7	35.3	34.5					
	1年古米(26年産)	13.4	10.2	6.9	4.4	3.4	2.1	1.6					
	出荷段階	12.2	10.1	9.0	23.8	31.7	35.3	34.1					
	27年産米	0.0	0.8	2.9	21.4	29.7	33.9	33.0					
	1年古米(26年産)	12.2	9.3	6.2	2.4	2.0	1.4	1.0					
	販売段階	1.4	1.1	1.0	2.9	2.5	2.2	2.1					
	27年産米	0.0	0.1	0.2	0.8	1.1	1.4	1.5					
	1年古米(26年産)	1.2	0.9	0.7	2.0	1.4	0.7	0.6					

注：本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

産地別民間在庫の推移⑧（長崎から沖縄）

（単位：玄米千トン）

		27年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
長崎	出荷＋販売段階	3.3	2.8	3.1	7.3	9.9	10.2	9.7					
	27年産米	0.0	0.4	1.6	6.0	8.9	9.4	9.2					
	1年古米(26年産)	3.3	2.4	1.4	1.3	1.0	0.8	0.5					
	出荷段階	3.0	2.6	2.8	6.3	8.9	9.4	9.1					
	27年産米	0.0	0.4	1.5	5.6	8.4	9.1	8.9					
	1年古米(26年産)	3.0	2.2	1.3	0.6	0.5	0.4	0.2					
	販売段階	0.3	0.2	0.3	1.0	1.0	0.8	0.6					
	27年産米	0.0	0.0	0.2	0.3	0.5	0.3	0.3					
	1年古米(26年産)	0.2	0.2	0.1	0.7	0.6	0.4	0.3					
熊本	出荷＋販売段階	13.3	10.9	9.6	28.3	39.7	46.7	43.3					
	27年産米	0.0	2.3	4.8	26.1	38.4	46.0	42.6					
	1年古米(26年産)	12.9	8.3	4.6	2.1	1.2	0.6	0.6					
	出荷段階	10.0	7.5	6.4	20.7	30.9	37.7	34.6					
	27年産米	0.0	1.6	3.2	19.7	30.3	37.4	34.3					
	1年古米(26年産)	10.0	5.9	3.1	1.0	0.6	0.3	0.3					
	販売段階	3.3	3.4	3.3	7.6	8.8	9.0	8.7					
	27年産米	0.0	0.8	1.6	6.4	8.1	8.6	8.3					
	1年古米(26年産)	2.9	2.5	1.5	1.1	0.6	0.3	0.3					
大分	出荷＋販売段階	7.8	6.1	5.2	12.0	21.4	20.8	19.8					
	27年産米	0.0	0.4	1.5	9.6	19.6	19.4	18.4					
	1年古米(26年産)	7.0	5.1	3.2	2.0	1.5	1.1	1.1					
	出荷段階	6.0	4.6	3.7	8.8	16.5	16.0	15.1					
	27年産米	0.0	0.3	1.0	7.2	15.3	15.0	14.4					
	1年古米(26年産)	5.7	4.1	2.5	1.4	1.1	0.9	0.6					
	販売段階	1.7	1.5	1.5	3.3	4.9	4.8	4.6					
	27年産米	0.0	0.1	0.5	2.4	4.3	4.4	4.0					
	1年古米(26年産)	1.3	1.1	0.7	0.6	0.4	0.2	0.5					
宮崎	出荷＋販売段階	5.1	5.0	2.9	9.3	11.8	11.9	12.1					
	27年産米	2.5	3.3	2.2	8.9	11.5	11.5	11.8					
	1年古米(26年産)	2.4	1.5	0.6	0.3	0.2	0.2	0.2					
	出荷段階	3.2	2.4	0.4	6.4	8.9	9.2	9.6					
	27年産米	1.8	1.7	0.2	6.4	8.8	9.1	9.5					
	1年古米(26年産)	1.4	0.8	0.2	0.0	0.1	0.1	0.1					
	販売段階	1.9	2.6	2.6	2.9	3.0	2.6	2.5					
	27年産米	0.8	1.6	2.0	2.5	2.7	2.4	2.2					
	1年古米(26年産)	1.0	0.8	0.4	0.2	0.1	0.1	0.1					
鹿児島	出荷＋販売段階	8.9	9.8	7.6	15.6	19.7	19.3	20.0					
	27年産米	0.8	3.4	2.8	12.6	17.3	17.3	18.4					
	1年古米(26年産)	6.7	5.2	3.7	2.1	1.6	1.2	0.8					
	出荷段階	5.8	5.1	3.6	11.2	15.2	15.0	16.3					
	27年産米	0.4	1.0	0.6	9.6	13.8	13.8	15.5					
	1年古米(26年産)	5.1	3.9	2.7	1.4	1.2	0.9	0.6					
	販売段階	3.1	4.6	4.0	4.4	4.5	4.3	3.7					
	27年産米	0.3	2.4	2.1	3.0	3.5	3.4	2.9					
	1年古米(26年産)	1.6	1.3	1.0	0.7	0.5	0.3	0.2					
沖縄	出荷＋販売段階	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2					
	27年産米	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2					
	1年古米(26年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
	出荷段階	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1					
	27年産米	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1					
	1年古米(26年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
	販売段階	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1					
	27年産米	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1					
	1年古米(26年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

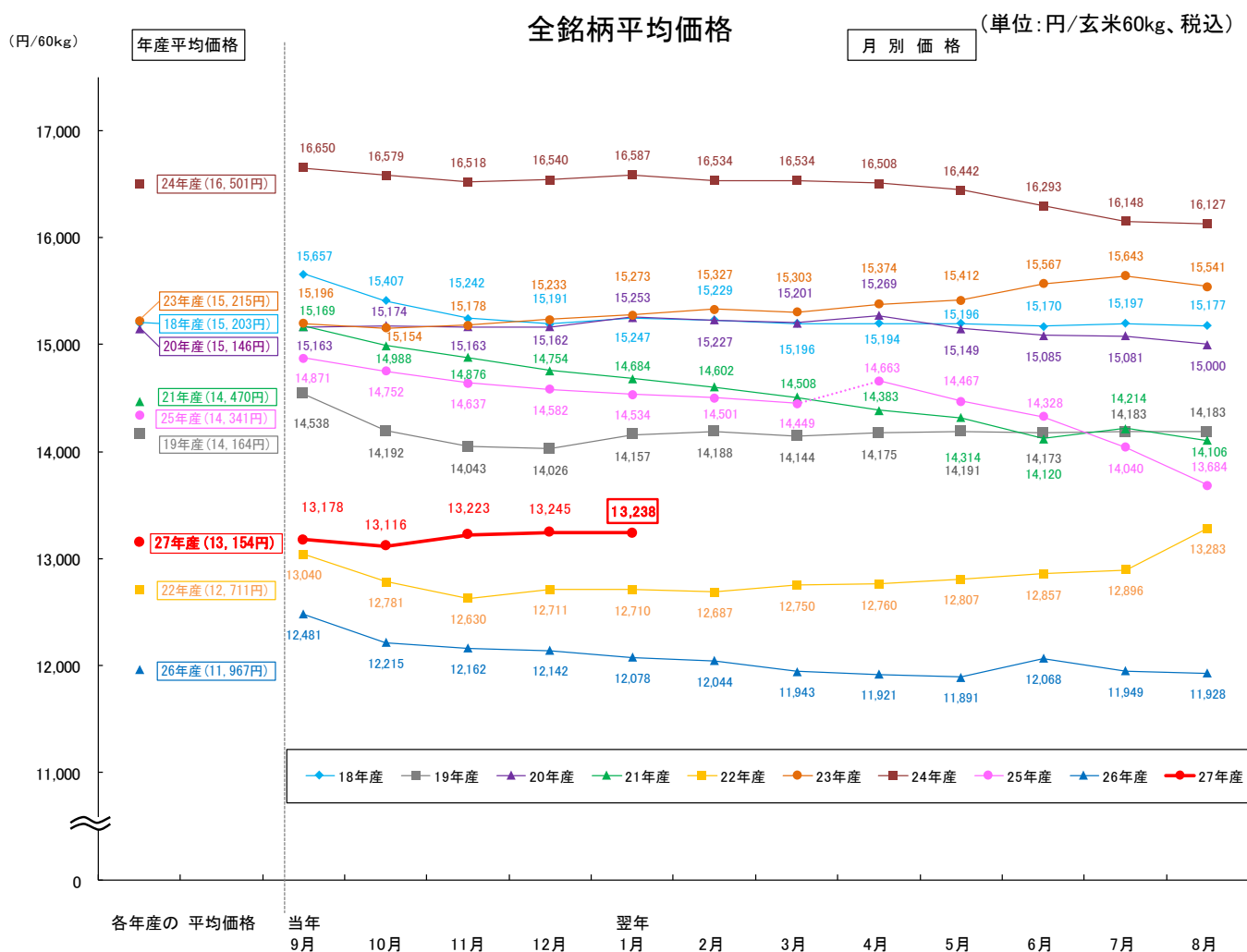
注：本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

米の価格情報

1 相対取引価格・数量

(1) 相対取引価格(年産別)

- 平成27年産米の平成28年1月の全銘柄平均価格は、前月とほぼ変わらず13,238円/60kg。
- 前年産の同時期と比べ+1,160円/60kg。
産地銘柄ごとの価格は、26頁以降を参照。



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2 価格には、運賃、包装代、消費税（5%。ただし、25年産の26年4月分以降は8%）が含まれている。

3 グラフの左側は各年産の平均価格（注4）、それ以降は月ごとの価格の推移。

4 平均価格とは、当該年産の出回りから翌年10月（27年産は翌年1月）までの通年平均価格。

(2) 価格帯別分析結果（平成28年1月分）

- 平成26年産米と平成27年産米の価格帯別平均価格を比較したところ、平成26年産の価格が13,000円以上の銘柄は、+822円、11,000円未満の銘柄では+1,828円となっており、平成26年産米の価格が低いほど平成27年産米の価格は上昇している状況。
- 産地銘柄ごとでは、「群馬あさひの夢」が前年同月より最も上昇しており、次いで、「山形ひとめぼれ」、「岩手いわてっこ」という状況。

価格帯別相対取引価格

単位：円/玄米60kg(税込)

	26年産の相対取引価格			
	13,000円以上の銘柄の平均	13,000円～12,000円の銘柄の平均	12,000円～11,000円の銘柄の平均	11,000円未満の銘柄の平均
26年産(27年1月) ①	14,504	12,456	11,513	9,935
27年産(28年1月) (26年産価格帯ベース) ②	15,326	13,290	12,747	11,763
価格差 ②-①	+ 822	+ 834	+ 1,234	+ 1,828

平成26年産と平成27年産の価格差（相対取引価格上昇上位10銘柄）

単位：円/玄米60kg(税込)

			平成26年産 (平成27年1月) ①	平成27年産 (平成28年1月) ②	価格差 ②-①
群馬	あさひの夢		9,057	12,105	+ 3,048
山形	ひとめぼれ		11,757	14,713	+ 2,956
岩手	いわてっこ		9,290	12,049	+ 2,759
栃木	あさひの夢		9,023	11,603	+ 2,580
埼玉	彩のかがやき		9,396	11,903	+ 2,507
徳島	コシヒカリ		11,225	13,519	+ 2,294
福島	コシヒカリ	中通り	9,899	12,048	+ 2,149
北海道	ゆめぴりか		14,011	16,146	+ 2,135
栃木	コシヒカリ		11,068	13,151	+ 2,083
岐阜	コシヒカリ		12,341	14,411	+ 2,070

(3) 相対取引価格・数量（平成27年産米、産地品種銘柄別、平成28年1月分）

相対取引価格・数量（北海道から栃木まで）

（単位：円／玄米60kg税込、玄米トン）

産地	品種銘柄	価格 27年産米 (28年1月) ①	数量 27年産米 (28年1月) ②	参考							
				価格				数量			
				27年産米 (27年12月)	対前月比	26年産米 (27年1月)	対前年比	27年産米 (27年12月)	対前月比	26年産米 (27年1月)	対前年比
	/	/	/		/		/				
北海道	ななつぼし	13,181	33,485	13,017	101%	12,443	106%	28,397	118%	12,192	275%
北海道	きらら397	12,605	7,615	12,505	101%	11,249	112%	8,883	86%	18,583	41%
北海道	ゆめぴりか	16,146	10,377	15,073	107%	14,011	115%	17,420	60%	14,059	74%
青森	まっしぐら	11,823	6,134	11,510	103%	9,908	119%	26,670	23%	3,843	160%
青森	つがるロマン	11,919	5,655	11,595	103%	9,946	120%	12,019	47%	4,359	130%
岩手	ひとめぼれ	12,895	18,860	12,841	100%	11,616	111%	17,753	106%	5,637	335%
岩手	あきたこまち	12,403	6,642	12,556	99%	10,974	113%	3,104	214%	4,433	150%
岩手	いわてっこ	12,049	782	11,797	102%	9,290	130%	770	102%	986	79%
宮城	ひとめぼれ	12,929	43,713	13,207	98%	11,858	109%	18,236	240%	20,756	211%
宮城	ササニシキ	11,217	789	13,179	85%	12,760	88%	1,999	39%	444	178%
宮城	つや姫	-	-	13,490	-	-	-	3,862	-	-	-
秋田	あきたこまち	12,821	22,160	13,027	98%	11,712	109%	16,604	133%	10,459	212%
秋田	めんこいな	11,952	982	12,126	99%	10,134	118%	613	160%	352	279%
秋田	ひとめぼれ	11,906	6,008	12,346	96%	10,463	114%	1,734	346%	981	612%
山形	はえぬき	12,352	19,792	12,409	100%	11,180	110%	5,223	379%	8,629	229%
山形	つや姫	17,636	3,297	17,972	98%	16,806	105%	2,266	145%	1,381	239%
山形	ひとめぼれ	14,713	1,659	12,646	116%	11,757	125%	2,318	72%	4,876	34%
福島	コシヒカリ(中通り)	12,048	2,629	12,093	100%	9,899	122%	3,243	81%	10,362	25%
福島	コシヒカリ(会津)	13,501	23,179	13,549	100%	13,439	100%	1,969	1177%	3,578	648%
福島	コシヒカリ(浜通り)	11,382	483	11,575	98%	10,367	110%	509	95%	1,398	35%
福島	ひとめぼれ	10,842	5,503	11,627	93%	9,931	109%	3,018	182%	5,662	97%
福島	天のつぶ	10,839	687	11,069	98%	-	-	954	72%	-	-
茨城	コシヒカリ	12,830	2,983	12,566	102%	11,607	111%	3,726	80%	4,416	68%
茨城	あきたこまち	12,175	388	11,599	105%	11,022	110%	517	75%	458	85%
茨城	ゆめひたち	10,674	228	-	-	9,408	113%	-	-	365	62%
栃木	コシヒカリ	13,151	15,556	13,254	99%	11,068	119%	6,224	250%	30,273	51%
栃木	あさひの夢	11,603	298	11,915	97%	9,023	129%	159	187%	4,350	7%
栃木	なすひかり	-	-	12,122	-	9,935	-	599	-	113	-

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2 産地品種銘柄ごとの価格（①）は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格（運賃、包装代、消費税を含む1等米の価格）を加重平均したものであり、数量（②）は、同契約の数量の合計である。

ただし、全農が締結する「福島、茨城、鳥取、岡山、高知」の契約では、27年産から契約方法を見直し、これまでの運賃（東京、大阪着基準）を含めた契約方法から、産地在産での契約方法に変更したため、当該産地の相対取引価格には全農契約分の運賃が含まれていない。

3 価格に含む消費税は、平成26年4月分から8%で算定している。

4 加重平均に際しては、新潟、長野、静岡以東（東日本）の産地品種銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西（西日本）の産地品種銘柄については受渡地を西日本としているものを対象としている。

5 相対取引価格は、個々の契約内容に応じて設定される大口割引等の割引などが適用された価格であり、実際の取引状況に応じて価格調整（等級及び付加価値等（栽培方法等））が行われることがある。

6 全銘柄平均価格（次々頁）は、報告対象産地品種銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均により算定。

7 ④及び⑥は前年産の価格、数量である。

8 次々頁にある「全銘柄平均価格（出回りから翌年1月まで）」は、平成27年産米の出回りから翌年1月までの平均価格。「26年産米の全銘柄平均価格（年産平均）」は、26年産米の出回りから平成27年10月までの平均価格。

9 「-」は、当該月の相対取引契約がなかったもの又は当該月の相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表を行わないもの。

10 斜線は、当該年産米において産地品種銘柄の報告対象でなかったもの。

相対取引価格・数量（群馬から兵庫まで）

（単位：円／玄米60kg税込、玄米トン）

産地	品種銘柄	価格 27年産米 (28年1月) ①	数量 27年産米 (28年1月) ②	参 考							
				価格				数量			
				27年産米 (27年12月)	対前月比	26年産米 (27年1月)	対前年比	27年産米 (27年12月)	対前月比	26年産米 (27年1月)	対前年比
	/		/		/		/				
群馬	あさひの夢	12,105	300	11,636	104%	9,057	134%	147	204%	4,061	7%
群馬	ゆめまつり	-	-	11,633	-	-	-	854	-	-	-
群馬	ゴロピカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉	彩のかがやき	11,903	308	11,695	102%	9,396	127%	2,611	12%	2,710	11%
埼玉	コシヒカリ	12,796	241	12,878	99%	10,768	119%	3,372	7%	232	104%
埼玉	キヌヒカリ	11,997	196	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉	コシヒカリ	12,634	4,522	12,488	101%	11,583	109%	3,427	132%	6,662	68%
千葉	ふさこがね	11,455	727	11,626	99%	9,645	119%	557	131%	1,031	71%
千葉	ふさおとめ	11,024	415	11,165	99%	9,896	111%	1,125	37%	475	87%
山梨	コシヒカリ	16,598	241	16,660	100%	15,679	106%	345	70%	265	91%
山梨	あさひの夢	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野	コシヒカリ	13,701	8,635	13,783	99%	13,003	105%	9,939	87%	6,412	135%
長野	あきたこまち	12,715	313	12,395	103%	11,485	111%	2,164	14%	802	39%
静岡	コシヒカリ	14,216	185	14,135	101%	13,253	107%	276	67%	397	47%
静岡	きぬむすめ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡	あいちのかおり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟	コシヒカリ(一般)	16,365	8,875	16,389	100%	15,546	105%	16,123	55%	11,441	78%
新潟	コシヒカリ(魚沼)	20,686	855	20,290	102%	19,467	106%	4,134	21%	2,564	33%
新潟	コシヒカリ(岩船)	16,906	441	16,691	101%	15,851	107%	2,813	16%	3,279	13%
新潟	コシヒカリ(佐渡)	16,566	1,873	16,845	98%	15,880	104%	2,912	64%	667	281%
新潟	こしいぶき	12,614	3,277	12,552	100%	12,034	105%	10,135	32%	2,183	150%
富山	コシヒカリ	13,745	5,833	14,549	94%	13,172	104%	12,393	47%	6,320	92%
富山	てんたかく	12,287	787	12,771	96%	11,960	103%	2,141	37%	557	141%
石川	コシヒカリ	13,891	6,307	14,192	98%	13,101	106%	443	1424%	446	1414%
石川	ゆめみづほ	12,096	198	12,123	100%	-	-	227	87%	-	-
福井	コシヒカリ	14,208	766	14,210	100%	12,836	111%	967	79%	4,088	19%
福井	ハナエチゼン	12,179	644	12,350	99%	11,389	107%	848	76%	2,192	29%
岐阜	ハツシモ	13,356	638	13,486	99%	14,254	94%	676	94%	394	162%
岐阜	コシヒカリ	14,411	427	14,343	100%	12,341	117%	287	149%	609	70%
岐阜	あきたこまち	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知	あいちのかおり	-	-	-	-	13,376	-	-	-	846	-
愛知	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知	大地の風	-	-	-	-	11,704	-	-	-	182	-
三重	コシヒカリ(一般)	13,569	1,200	13,599	100%	12,791	106%	1,408	85%	493	243%
三重	コシヒカリ(伊賀)	14,104	443	14,011	101%	-	-	464	95%	-	-
三重	キヌヒカリ	12,578	438	12,554	100%	-	-	127	345%	-	-
滋賀	コシヒカリ	13,970	1,224	13,628	103%	12,968	108%	2,447	50%	1,964	62%
滋賀	キヌヒカリ	12,361	375	12,895	96%	11,428	108%	1,177	32%	1,277	29%
滋賀	日本晴	12,093	121	11,814	102%	10,821	112%	1,827	7%	610	20%
京都	コシヒカリ	13,674	489	14,162	97%	13,101	104%	502	97%	726	67%
京都	キヌヒカリ	13,019	308	12,406	105%	11,960	109%	945	33%	274	112%
兵庫	コシヒカリ	14,494	695	14,409	101%	13,487	107%	1,015	68%	953	73%
兵庫	ヒノヒカリ	11,836	403	11,885	100%	11,513	103%	211	191%	266	152%
兵庫	キヌヒカリ	11,971	480	11,818	101%	11,620	103%	279	172%	414	116%

注：本表の注意点は前頁の脚注を参照

相対取引価格・数量（奈良から鹿児島まで）

（単位：円／玄米60kg税込、玄米トン）

産地	品種銘柄	価格 27年産米 (28年1月) ①	数量 27年産米 (28年1月) ②	参 考							
				価 格				数 量			
				27年産米 (27年12月)	対前月比	26年産米 (27年1月)	対前年比	27年産米 (27年12月)	対前月比	26年産米 (27年1月)	対前年比
				/	/	/	/	/	/	/	/
奈良	ヒノヒカリ	12,392	440	12,252	101%	11,402	109%	444	99%	447	98%
奈良	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取	ひとめぼれ	11,839	1,591	12,228	97%	11,014	107%	290	549%	1,446	110%
鳥取	コシヒカリ	13,065	784	-	-	12,146	108%	-	-	756	104%
鳥取	きぬむすめ	12,004	986	12,715	94%	-	-	300	329%	-	-
島根	コシヒカリ	13,568	1,019	13,592	100%	12,511	108%	576	177%	813	125%
島根	きぬむすめ	12,576	929	12,681	99%	11,788	107%	426	218%	130	715%
島根	ハナエチゼン	11,992	109	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山	アケボノ	-	-	11,506	-	10,254	-	440	-	637	-
岡山	あきたこまち	11,917	176	11,757	101%	11,517	103%	409	43%	211	83%
岡山	ヒノヒカリ	11,936	851	-	-	11,003	108%	-	-	474	180%
広島	コシヒカリ	12,886	938	12,878	100%	12,499	103%	1,435	65%	187	502%
広島	あきろまん	11,909	246	11,710	102%	-	-	304	81%	-	-
広島	ヒノヒカリ	12,174	123	11,708	104%	-	-	248	50%	-	-
山口	コシヒカリ	13,721	492	13,747	100%	12,181	113%	451	109%	828	59%
山口	ひとめぼれ	12,630	469	12,606	100%	11,786	107%	728	64%	328	143%
山口	ヒノヒカリ	12,710	419	12,688	100%	11,890	107%	628	67%	382	110%
徳島	コシヒカリ	13,519	180	-	-	11,225	120%	-	-	141	128%
徳島	キヌヒカリ	-	-	11,880	-	-	-	120	-	-	-
香川	ヒノヒカリ	12,395	725	12,343	100%	10,994	113%	616	118%	897	81%
香川	コシヒカリ	13,390	407	13,367	100%	11,847	113%	533	76%	687	59%
愛媛	コシヒカリ	12,386	310	12,365	100%	11,313	109%	321	97%	267	116%
愛媛	ヒノヒカリ	11,761	175	11,713	100%	10,863	108%	193	91%	158	111%
愛媛	あきたこまち	-	-	11,613	-	10,581	-	142	-	121	-
高知	コシヒカリ	13,278	264	13,278	100%	11,276	118%	216	122%	372	71%
高知	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡	夢つくし	15,062	1,264	15,070	100%	14,939	101%	1,247	101%	1,285	98%
福岡	ヒノヒカリ	13,602	424	13,410	101%	12,773	106%	1,968	22%	2,606	16%
福岡	元気つくし	14,852	1,204	14,680	101%	-	-	2,863	42%	-	-
佐賀	夢しずく	12,868	429	12,871	100%	12,119	106%	329	130%	562	76%
佐賀	さがびより	14,185	515	14,272	99%	12,655	112%	588	88%	641	80%
佐賀	ヒノヒカリ	12,712	302	12,581	101%	11,869	107%	394	77%	105	288%
長崎	にこまる	14,175	295	14,176	100%	13,114	108%	270	109%	367	80%
長崎	ヒノヒカリ	13,849	267	13,830	100%	12,982	107%	205	130%	194	138%
長崎	コシヒカリ	-	-	-	-	13,915	-	-	-	100	-
熊本	ヒノヒカリ	13,392	527	13,466	99%	12,420	108%	779	68%	752	70%
熊本	森のくまさん	14,408	149	14,151	102%	13,036	111%	130	115%	352	42%
熊本	コシヒカリ	14,593	111	14,557	100%	13,469	108%	389	29%	311	36%
大分	ヒノヒカリ	13,385	537	13,212	101%	12,139	110%	529	102%	2,609	21%
大分	ひとめぼれ	13,222	135	-	-	12,124	109%	-	-	272	50%
宮崎	コシヒカリ	-	-	-	-	13,135	-	-	-	384	-
宮崎	ヒノヒカリ	13,753	221	13,542	102%	11,967	115%	336	66%	182	121%
鹿児島	ヒノヒカリ	14,659	167	14,602	100%	12,825	114%	170	98%	203	82%
鹿児島	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島	あきほなみ	-	-	14,579	-	-	-	110	-	-	-
全銘柄平均価格、合計数量		13,238	312,074	13,245	99.9%	12,078	109.6%	297,749	104.8%	260,939	119.6%
全銘柄平均価格(出回りから翌年1月まで)		13,154	26年産米の全銘柄平均価格(年産平均)		11,967	109.9%					

注：本表の注意点は前々頁の脚注を参照

(4) スポット価格の状況

〔○ スポット取引は、相当期間にわたり安定的に行う相対取引等と性格を異にするので利用に当たっては注意が必要。〕

スポット価格 株式会社日本農産情報、日本コメ市場株式会社、株式会社クリスタルライス、株式会社加工用米取引センター

税抜価格

【平成27年産】

(1等、包装代込、税抜、円/60kg)

産地、銘柄		平成27年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成28年 1月	2月
北海道ななつぼし	日本農産情報			12,400	12,100	12,100	12,100	12,500	12,500
	クリスタルライス				12,406				
北海道ゆめぴりか	日本農産情報			13,900	13,800	13,800	13,600	13,900	14,000
青森まっしぐら	日本農産情報				11,300	11,200	11,000	11,400	11,600
青森つがるロマン	日本農産情報				11,400	11,400	11,200	11,600	12,000
	日本コメ市場						11,400	1,638	11,623
岩手ひとめぼれ	日本農産情報				11,300	11,600	11,600	12,000	12,000
岩手あきたこまち	日本農産情報				11,200	11,400	11,400	11,700	11,900
宮城ひとめぼれ	日本農産情報				11,700	11,900	11,900	12,300	12,300
	日本コメ市場					12,196			
秋田あきたこまち	日本農産情報			11,600	11,700	11,700	11,700	12,100	12,100
	日本コメ市場			11,724	11,722		12,000	12,046	12,202
	クリスタルライス				11,732			12,048	
山形はえぬき	日本農産情報			11,000	11,300	11,500	11,800	12,000	12,300
福島中通コシヒカリ	日本農産情報				11,600	11,600	11,700	11,800	12,000
	日本コメ市場				11,429			12,053	12,073
福島中通ひとめぼれ	日本農産情報			10,600	11,000	11,300	11,300	11,600	11,800
	クリスタルライス					11,503			
茨城コシヒカリ	日本農産情報		11,000	11,400	11,600	11,600	11,600	12,000	12,100
	日本コメ市場			11,463	11,661	11,800	11,938		12,299
	クリスタルライス		10,861		11,766	11,650		11,917	
茨城あきたこまち	日本農産情報		10,400	10,800	11,100	11,100	11,100	11,700	11,700
	クリスタルライス		10,500						
栃木コシヒカリ	日本コメ市場					11,700	11,700		12,253
栃木あさひの夢	日本農産情報			10,300	10,800	10,900	10,800	11,200	11,600
	クリスタルライス					11,200		11,214	
埼玉彩のかがやき	日本農産情報				11,000	11,000	11,000	11,500	11,800
千葉コシヒカリ	日本農産情報		11,300						
千葉ふさこがね	日本農産情報		9,800						
千葉ふさおとめ	日本農産情報		9,900	10,500	10,900	11,100	11,100	11,400	11,700
	クリスタルライス		10,134		10,851				
千葉あきたこまち	日本農産情報		10,300						
	クリスタルライス					11,500		11,581	
新潟コシヒカリ(一般)	日本農産情報			14,600	14,700	15,100	15,100	15,400	15,400
	日本コメ市場					15,371	15,551		15,548
	クリスタルライス				14,971	15,363		15,479	
新潟コシヒカリ(魚沼)	日本農産情報				19,600	20,300	21,800	23,500	23,500
新潟こしいぶき	日本農産情報			11,300	11,800	11,800	11,800	12,200	12,700
富山コシヒカリ(近畿着)	日本農産情報			13,300	13,400	13,400	13,400	13,400	13,400
福井ハナエチゼン	日本農産情報		11,100						
三重コシヒカリ(近畿着)	日本農産情報		11,900						
三重あきたこまち(近畿着)	日本農産情報		11,400						
	加工用米取引C		11,500						
島根ハナエチゼン(近畿着)	日本農産情報		11,200						
徳島コシヒカリ(近畿着)	日本農産情報		12,500						
宮崎コシヒカリ(近畿着)	日本農産情報	13,500	13,300						
鹿児島コシヒカリ(近畿着)	日本農産情報		12,800						
山形ヒメノモチ	日本農産情報			15,000	15,000	15,200	15,200	15,200	15,100
千葉ヒメノモチ	日本農産情報			14,700	14,700	14,700	14,500	14,500	13,700

出典：株式会社日本農産HP、日本コメ市場株式会社HP、加工用米取引センターHP

注：1 日本農産情報の価格は、特にことわりがない場合は1口10㍓以上の取引で、東京着値基準、1等、中卸価格。

2 日本コメ市場の価格は、随時取引(取引日を限定せずに、ファックス、電話、IT等によって行う取引)の下期(16日～月末分。ただし、下期が公表されていない場合は上期)の価格で、関東到着基準、1等、包装代込の価格。

3 クリスタルライスの価格は、原則毎月、東京、大阪及び福岡において開催される取引会での成約価格(取引数量により加重平均)であり、関東到着基準、1等、包装代込みの価格。

4 加工用米取引センターの価格は、着地持込価格であり、包装代を含む価格。特に記載のない場合は、1等。

スポット価格（米穀市況速報）

単位：円/玄米60kg、包装代込み、税込み

産地品種銘柄	26年産	27年産	価格差 (②-①)
	(27年3月3日時点) ①	(28年3月1日時点) ②	
北海道ゆめぴりか	14,472	15,120	+ 648
北海道ななつぼし	12,420	13,608	+ 1,188
青森つがるロマン	9,720	12,636	+ 2,916
青森まっしぐら	9,504	12,420	+ 2,916
岩手ひとめぼれ	11,232	13,176	+ 1,944
宮城ひとめぼれ	11,340	13,392	+ 2,052
秋田あきたこまち	11,340	13,176	+ 1,836
山形はえぬき	10,800	13,284	+ 2,484
福島会津コシヒカリ	11,664	13,392	+ 1,728
福島中通りコシヒカリ	10,476	12,960	+ 2,484
福島会津ひとめぼれ	10,476	12,636	+ 2,160
福島中通りひとめぼれ	10,152	12,528	+ 2,376
茨城コシヒカリ	11,124	13,068	+ 1,944
茨城あきたこまち	10,692	12,636	+ 1,944
栃木コシヒカリ	11,232	13,068	+ 1,836
栃木あさひの夢	9,180	12,420	+ 3,240
千葉コシヒカリ	11,232	13,068	+ 1,836
千葉ふさおとめ	9,828	12,528	+ 2,700
千葉ふさこがね	9,504	12,420	+ 2,916
新潟魚沼コシヒカリ	19,440	25,380	+ 5,940
新潟一般コシヒカリ	15,444	16,524	+ 1,080
新潟こしいぶき	11,016	13,824	+ 2,808
富山コシヒカリ	13,176	14,364	+ 1,188
石川コシヒカリ	12,204	13,932	+ 1,728

出典：「米穀市況速報」（関東相場、東京着値基準、下限値）。

注：27年産は、資料作成時の直近価格として、平成28年3月1日時点の価格を掲載。

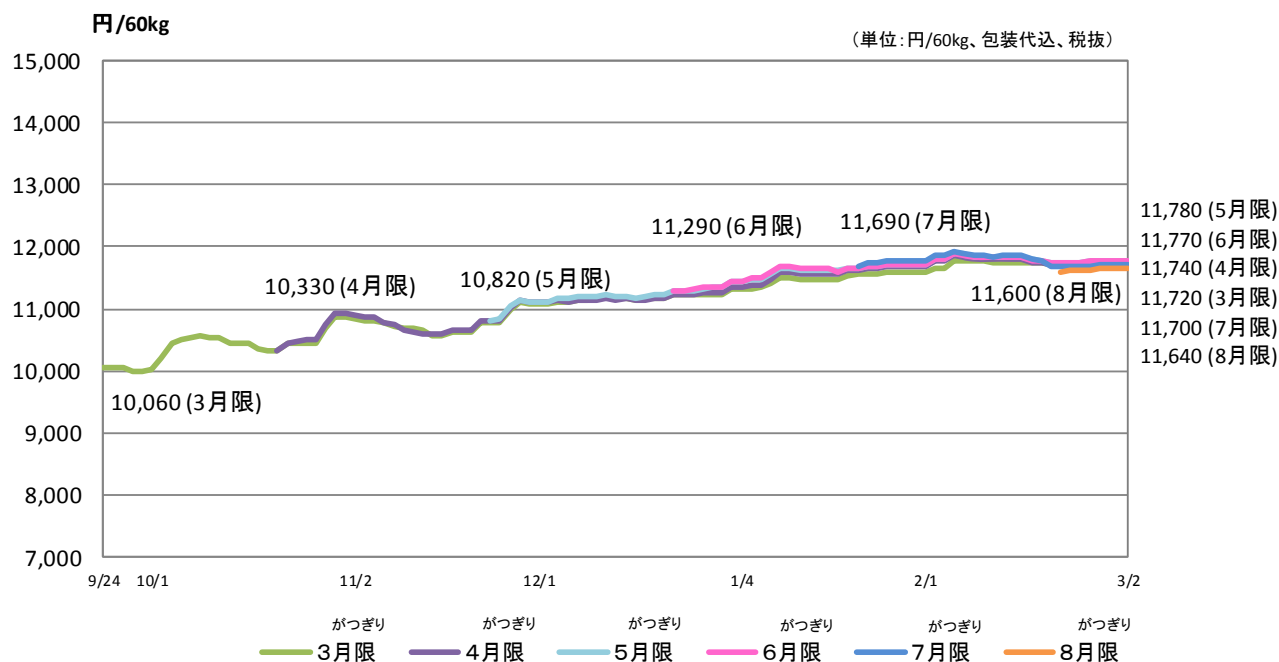
26年産は、27年産の比較対象として、同時期（1年前時点）の価格を掲載。

2 米の先物取引価格の推移

- 米の先物取引価格(3月2日)は、先月(2月2日)に比べ終値で、東京コメが 160円/60kg(7月限)~ +60円/60kg(3月限)、大阪コメが 460円/60kg(7月限)~ 30円/60kg(3月限)。

税抜価格

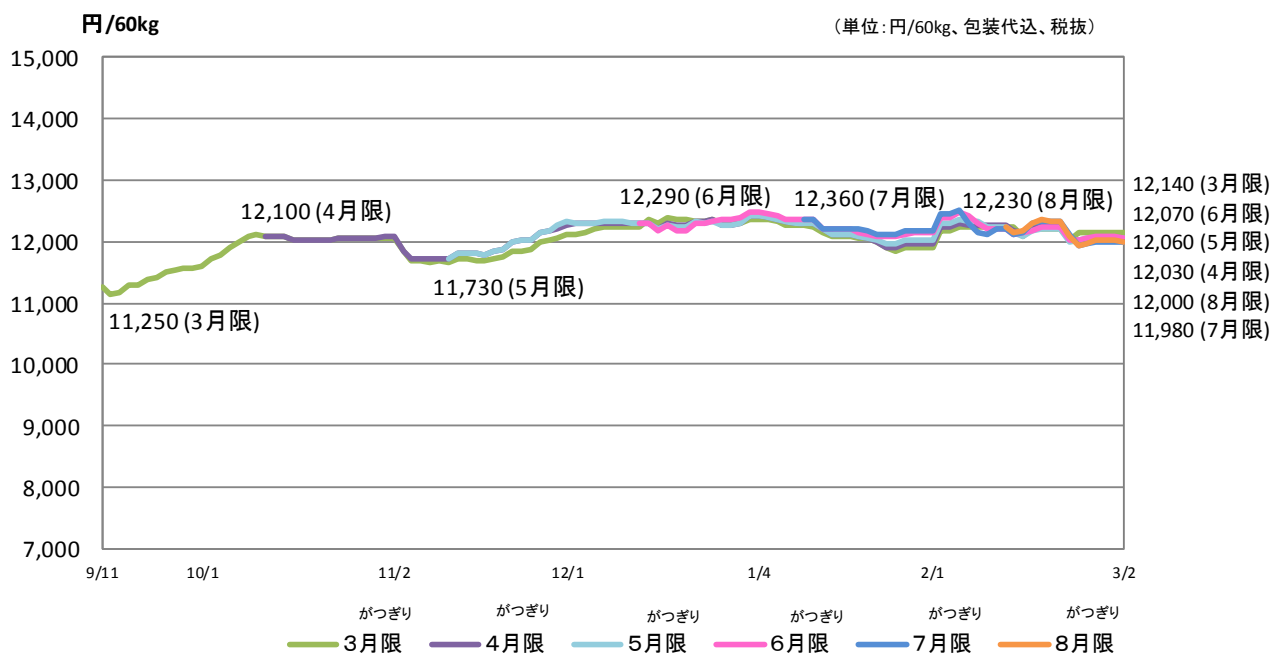
①東京コメ



出典: 大阪堂島商品取引所

注: 取引開始から本レポート公表日の2日前の後場第3節までの価格の推移である。

②大阪コメ



出典: 大阪堂島商品取引所

注: 取引開始から本レポート公表日の2日前の後場第3節までの価格の推移である。

主食用以外（輸出を含む）

1 27年産米の作付状況

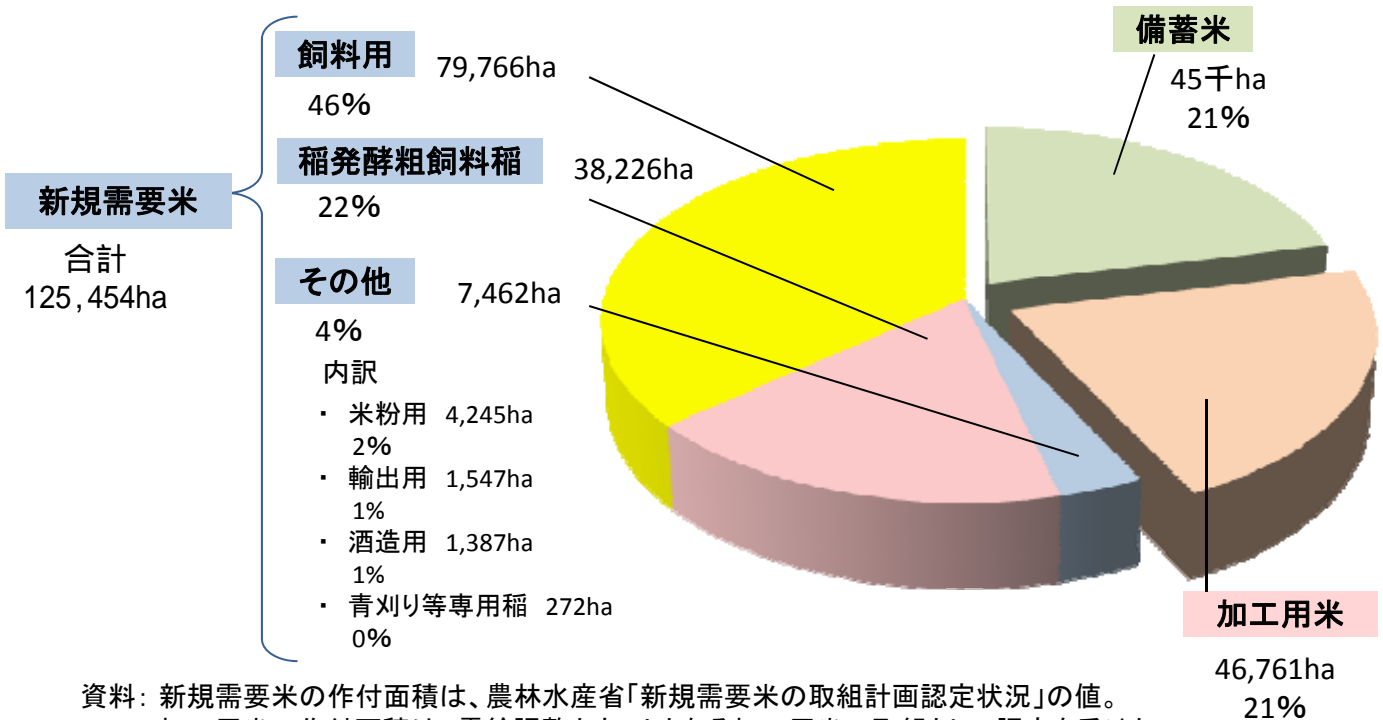
- 平成27年産米の作付面積は、主食用が141万ha、主食用以外が約22万ha。
- 主食用米以外の取組は、新規需要米12.5万ha、加工用米4.7万ha、備蓄米4.5万ha。

(1) 27年産米の用途別作付面積及び生産量

	計	主食用米	新規需要米	加工用米	備蓄米
作付面積（万ha）	162.7	141	12.5	4.7	4.5
生産量（万トン）		744	46	26	25

※WCS、青刈り等専用稲は生産量に計上していない

(2) 主食用米以外の取組状況（作付面積及び作付面積比率）



資料：新規需要米の作付面積は、農林水産省「新規需要米の取組計画認定状況」の値。

加工用米の作付面積は、需給調整カウントとなる加工用米の取組として認定を受けた平成27年10月15日現在の値。

備蓄米作付面積は、都道府県農業再生協議会からの27年度報告値。

注1：需給調整カウントとなる新規需要米の取組として認定を受けた平成27年9月15日現在の値。

注2：「酒造用」は「需要に応じた米生産の推進に関する要領」に基づき生産数量目標の枠外で生産された玄米を指す。

(3) 新規需要米の用途別認定状況

	新規需要米(27年産)							
	合計	飼料用	米粉用	輸出用	酒造用	稲発酵粗飼料稲	青刈り等専用稲	その他
作付面積 (ha)	125,454	79,766	4,245	1,547	1,387	38,226	272	11
計画生産量 (ト)	459,596	421,077	22,925	8,482	7,096			15

資料：農林水産省「新規需要米の取組計画認定状況」。

注1：需給調整カウントとなる新規需要米の取組として認定を受けた平成27年9月15日現在の値。

注2：「酒造用」は「需要に応じた米生産の推進に関する要領」に基づき生産数量目標の枠外で生産された玄米を指す。

2 加工用米及び新規需要米の取組状況概要

- 日本酒、米菓、米穀粉などの原料として使用される米穀の年間使用量は近年95万トン程度（推計）で推移。
- 種類別には、うるち米が約77万トン、もち米が約19万トン。制度別には、主食用米、加工用米及び特定米穀などの国産米が約7割。残りの約3割はMA米及び輸入米粉調製品の外国産米。
- 用途別の使用量は、日本酒用が最も多く、次いであられ、せんべいの米菓用、和菓子等の原料となる米穀粉用となっている。

平成26米穀年度（平成25年11月～26年10月）における加工原材料用米穀の使用状況（推計）

〈うるち米〉

（単位：万トン）

制度 用途	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	うるち米計
日本酒用	11 (8)	9		4			24 (8)
米菓用	1	1		5	3	2	12
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	5	5					10
味噌用		1		3	6		10
焼酎用 (泡盛含む)		1		6	3		9
米穀粉用		1	3	1	2	1	8
その他用	1			2	1		4
合計	18	18	3	21	14	3	77

〈もち米〉

（単位：万トン）

制度 用途	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	もち米計
包装もち用	3	2				2	7
米菓用	2	1			1	2	6
米穀粉用	1					1	3
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	1						1
その他用						2	2
合計	7	3		1	2	7	19

注1：日本酒用の（ ）書きは、酒造好適米で内数。

2：加工米飯用は、レトルト米飯用、冷凍米飯用などとして使用される原料米の使用量であり、無菌包装米飯用として使用される原料米約7万トンを含んでいない。

3：焼酎は単式蒸留しようちゅう（穀類又はいも類、これらの麴等及び水を原料として発酵させたアルコール含有物を単式蒸留機により蒸留したアルコール度数が45度以下のもの（酒税法第3条第10号））であり、泡盛用として使用される原料米を含んでいる。

4：その他用には、玄米茶用、みりん用、朝食シリアル用などがある。

5：特定米穀とは、水稻収穫量調査で使用するふるい目1.7mmと農家が出荷の際に使用する1.75～1.9mmの間の「ふるい下米」と、1.7mm未満の小さな粒の米（一般的に「くず米」と呼ばれているもの）の総称。

6：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

【推計根拠】

1 用途別の原料米使用量合計は、加工団体等からの聞き取りのほか、以下のデータにより推計。

日本酒用・・・「清酒の製造状況等について」（国税庁）

焼酎用・・・「課税移出数量」（国税庁）、米菓用、加工米飯用、味噌用、包装もち用

その他用・・・「食品産業動態調査」（農林水産省）による生産量等

2 制度別の使用状況は、加工団体等からの聞き取りのほか、以下のデータにより推計。

主食用米・・・全国出荷団体等からの聞き取り。なお、酒造好適米は「農産物検査結果」（農林水産省）

加工用米・・・「需要に応じた米生産の推進に関する要領」（農林水産省）に基づく報告

新規需要米（米粉用米）・・・「食品産業動態調査」（農林水産省）による生産量

MA米（SBS含む）・・・「販売実績」（農林水産省）

輸入米粉調製品・・・「貿易統計」（財務省）

特定米穀・・・1で推計した用途別原料米使用量から主食用米、加工用米、新規需要米（米粉用米）、MA米及び輸入米粉調製品を差し引いた数量

3 飼料用米の需要量

- 畜産側の平成28年産に係る飼料用米の需要量は、
全農グループ飼料会社：年間81.7万トン（使用可能数量：MA米・備蓄米含む）
（協）日本飼料工業会組合員工場：年間60.8万トン（MA米・備蓄米を含まない）
畜産農家の新規需要量：112件、2.6万トン（平成28年1月29日現在の報告分。
追加情報は随時更新）
- 上記の地域別内訳、問い合わせ先は別表のとおり。

全農グループ飼料会社の飼料用米の使用可能数量（平成27年12月現在）

地区	年間使用可能数量（千トン）	備考
北海道	88	ホクレンくみあい飼料
東北	217	JA全農北日本くみあい飼料
関東	146	JA東日本くみあい飼料・科学飼料研究所
北陸	30	JA東日本くみあい飼料
東海	46	〃
近畿・中国	46	JA西日本くみあい飼料
四国	32	〃
北九州	49	ジェイエイ北九州くみあい飼料
南九州	162	南日本くみあい飼料・科学飼料研究所
合計	817	

※使用可能数量は、MA米、備蓄米を含み、製造工程・能力から試算した数量。

※実際の使用にあたっては、搬入方法等により制限される可能性がある。

※問い合わせ先：JA全農 営農販売企画部飼料用米対策課 TEL：03-6271-8279

日本飼料工業会組合員の工場の飼料用米需要量（平成27年11月調査）

地区	需要量（千トン・単年度）	（参考）中長期需要量注2（千トン・単年度）
北海道	36	147
東北	155	305
関東	109	405
中部	49	207
関西	82	277
九州	177	623
合計	608	1,964

注1）輸入トモロコシ価格以下であることが前提の需要量

注2）新たな設備投資等を含め、中長期的にみた日本飼料工業会組合員飼料メーカーの需要量。（平成26年3月調査）

注3）上記の需要量には、MA米、備蓄米は含まない。

注4）四捨五入の関係で計が一致しない場合がある。

※（協）日本飼料工業会は「飼料用米ダイヤル」を設置し、飼料用米を生産して売りたい産地の生産者や集荷業者、JA、飼料用米を使用したい傘下の全国の飼料メーカー（工場）との仲介を実施。

※問い合わせ先：「飼料用米ダイヤル」TEL:03-3583-8031 E-mail:Esamai@jafma.or.jp

畜産農家の28年産飼料用米の新規需要量（平成28年1月29日現在）

都道府県	新規需要量	
	件数	数量(トン)
北海道	3	1,002
宮城県	1	2,400
茨城県	3	132
群馬県	8	999
埼玉県	1	120
千葉県	3	210
山梨県	14	431
長野県	9	278
静岡県	6	905
愛知県	10	1,010
京都府	1	60
大阪府	1	5
兵庫県	10	1,851

※供給先が確保されていない新たな需要について、都道府県から報告のあった件数・数量を記載（現在とりまとめ中の都道府県もあり）

※追加の希望があれば随時更新

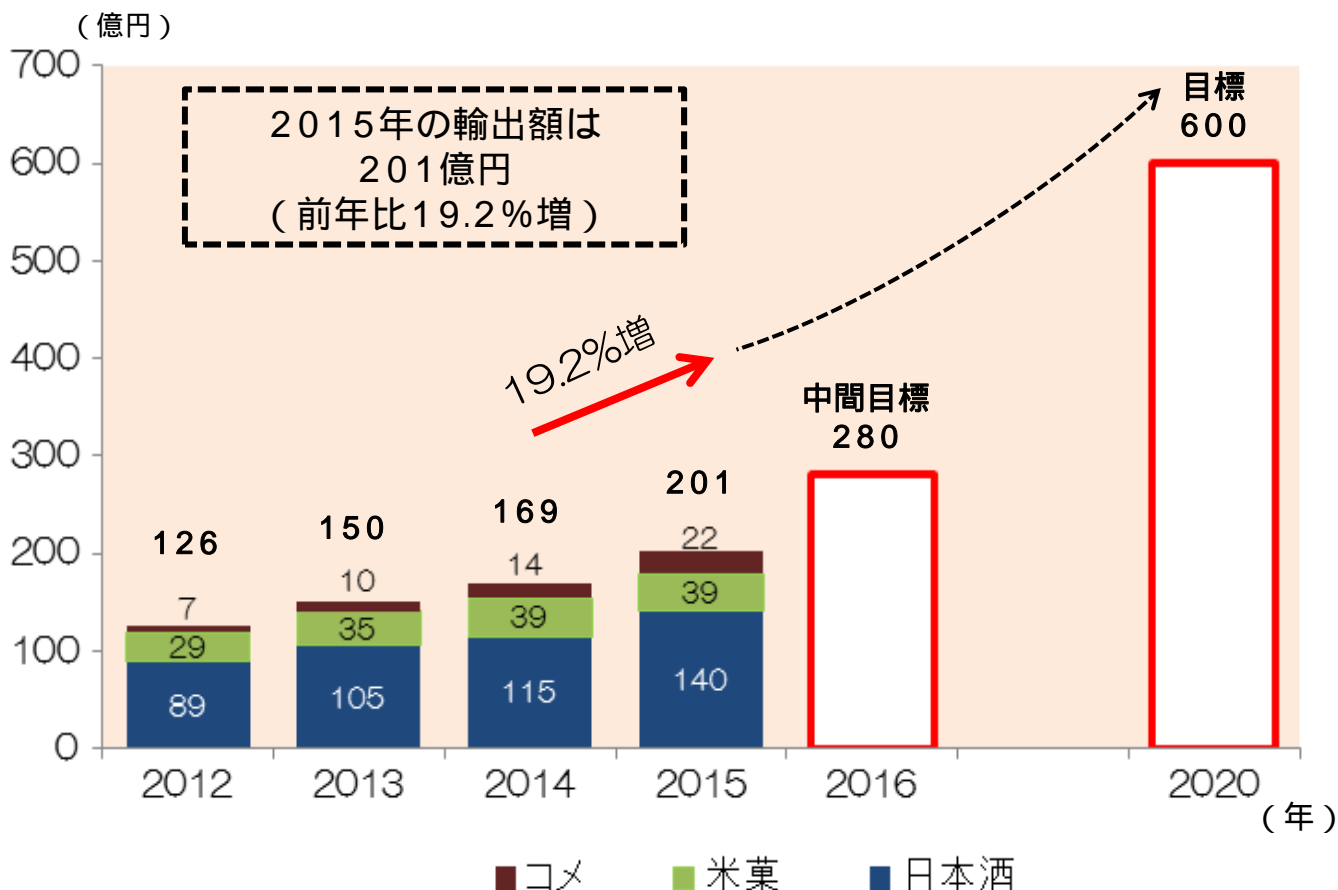
※問い合わせ先：生産局畜産部飼料課 TEL：03-3502-5993

都道府県	新規需要量	
	件数	数量(トン)
奈良県	5	1,531
和歌山県	2	52
島根県	1	400
広島県	2	9
徳島県	2	2,010
香川県	4	100
福岡県	2	1,390
佐賀県	5	3,010
長崎県	12	2,040
大分県	4	2,130
宮崎県	2	1,964
鹿児島県	1	1,800
合計	42	16,436

4 コメ・コメ加工品の輸出量及び輸出金額

- 「農林水産物・食品の国別・品目別輸出戦略」（平成25年8月決定）の中で、コメ・コメ加工品の輸出額を2020年（平成32年）までに600億円とすることとし、オールジャパンでの輸出拡大を推進。
- 2015年の輸出額は、201億円（前年比19.2%増）。

コメ・コメ加工品の輸出状況



コメ・コメ加工品の輸出量及び輸出金額

	日本酒		米菓		コメ	
	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
2012年	14,131	8,946	3,123	2,902	2,202	726
2013年	16,202	10,524	3,606	3,487	3,121	1,030
2014年	16,314	11,507	4,012	3,944	4,516	1,428
2015年	18,180	14,011	3,679	3,869	7,640	2,234

資料：財務省「貿易統計」（政府による食料援助を除く。）
注：数量1トン未満、金額20万円未満は計上されていない。

コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について

2020年に向けた輸出額目標

「農林水産物・食品の国別・品目別輸出戦略」（平成25年8月決定）の中で、コメ・コメ加工品の輸出額を、平成32年までに600億円とすることとしている。

輸出拡大に向けた対応方向

コメ・コメ関連食品の輸出拡大のため、精米だけでなく、包装米飯・日本酒・米菓も含めたコメ加工品の輸出に力を入れることとしている。

【コメ（包装米飯含む）】

現地での精米の取組や炊飯ロボットと合わせた外食への販売など、日本米のプレゼンスを高める取組を推進。

重点国

新興市場：台湾、豪州、EU、ロシア等

安定市場：香港、シンガポール



【米菓】

相手国のニーズに合った商品の開発、手軽なスナックとしてのプロモーション強化。

重点国

新興市場：中東、中国、EU

安定市場：台湾、香港、シンガポール、米国



【日本酒】

発信力の高い都市や重点市場でのイベント・事業を実施するほか、セミナー等を通じて、日本酒の良さについて普及。日本酒の生産増に対応した酒造好適米の増産が可能となるよう措置。

重点国

新興市場：EU、台湾、中国、ブラジル、ロシア、韓国

安定市場：米国、香港



輸出拡大に向けた取組

コメ・コメ関連食品の輸出拡大のため、他の品目に先がけて、オールジャパンでコメ・コメ関連食品の輸出を促進する全国団体（全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会）を平成26年11月27日に立ち上げ、統一ロゴマークの開発・発表、海外でのPRイベント等を開催。

日本産米輸出の統一ロゴマーク



THIS IS
JAPAN QUALITY
日本のおいしい米。



（注）QRコードから、日本産米のPR映像が流れるHPへリンク

支援事業等

(1) 水田活用の直接支払交付金

- 水田で麦、大豆、飼料用米、米粉用米等の作物を生産する農業者に対して交付金を直接交付することにより、水田のフル活用を推進し、食料自給率・自給力を向上。

水田活用の直接支払交付金(1)

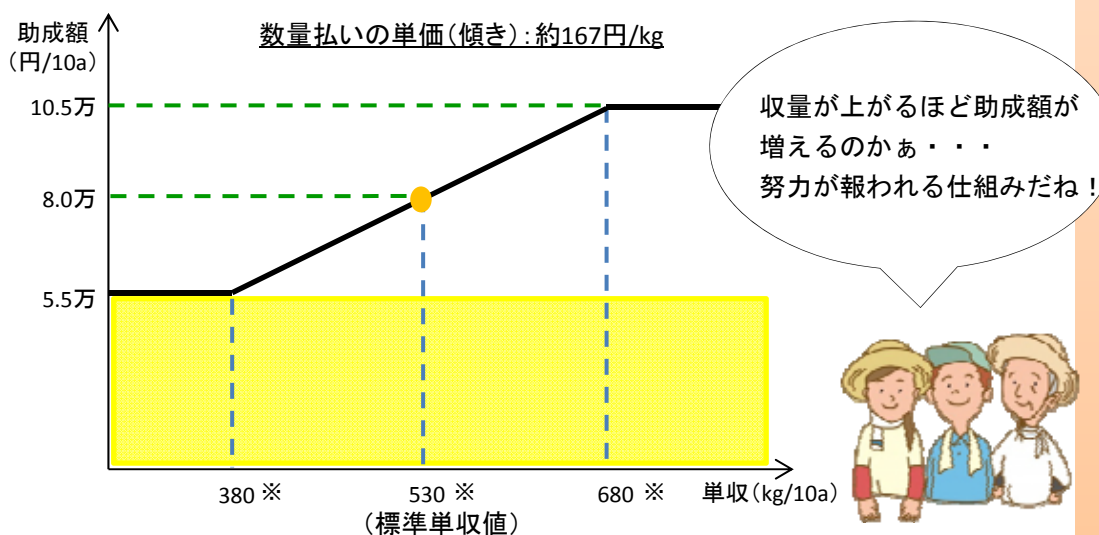
【平成28年度予算概算決定額:3,078(2,770)億円(所要額)】

(1) 支援内容

① 戦略作物助成

対象作物	交付単価
麦、大豆、飼料作物	35,000円/10a
WCS用稲	80,000円/10a
加工用米	20,000円/10a
飼料用米、米粉用米	収量に応じ、 55,000円～105,000円/10a

<飼料用米、米粉用米の交付単価のイメージ>



- 数量払いによる助成については、農産物検査機関による数量の確認を受けていることを条件とします。
- ※は全国平均の平年単収(標準単収値)に基づく数値であり、各地域への適用に当たっては、市町村等が当該地域に応じて定めている単収(配分単収)を適用します。

水田活用の直接支払交付金(2)

② 二毛作助成

- 水田における主食用米と戦略作物助成の対象作物、又は戦略作物助成の対象作物同士の組み合わせによる二毛作を支援します。

15,000円/10a

作付パターン(例)	交付金額(10a当たり)
主食用米 + 麦	(米の直接支払) + <u>1.5万円</u>
麦 + 大豆	3.5万円 + <u>1.5万円</u>
飼料用米 + 麦	5.5~10.5万円 + <u>1.5万円</u>
米粉用米 + 飼料用米	5.5~10.5万円 + <u>1.5万円</u>



③ 耕畜連携助成

- 耕畜連携の取組(飼料用米のわら利用、水田放牧、資源循環)を支援します。

13,000円/10a

④ 産地交付金

- 地域で作成する「水田フル活用ビジョン」に基づく、①水田における麦、大豆等の生産性向上等の取組、②地域振興作物や備蓄米の生産の取組等を支援します。
- 国から配分する資金枠の範囲内で、都道府県や地域農業再生協議会が助成内容(交付対象作物・取組・単価等)を設定できます。
- また、地域の取組に応じた追加配分(下表参照)を行います。

対象作物	取組内容	追加配分単価
飼料用米 米粉用米	多収品種への取組	12,000円/10a
加工用米	複数年契約(3年間)の取組	12,000円/10a
備蓄米	平成28年産政府備蓄米の買入入札における落札 ※ 平成23年度に県別優先枠として配分した6万トンについては対象外。	7,500円/10a
そば なたね	作付の取組	20,000円/10a(基幹作) 15,000円/10a(二毛作)

なお、主食用米作付面積が生産数量目標の面積換算値を下回ることとなる都道府県に対して追加配分(5,000円/10a)します。

(2) 米・畑作物の収入減少影響緩和対策(ナラシ対策)

米・畑作物の収入減少影響緩和対策(ナラシ対策)

【平成28年度予算概算決定額:754(802)億円(所要額)】

米・畑作物の収入減少影響緩和対策(ナラシ対策)は、農家抛出を伴う経営に着目したセーフティーネットであり、米及び畑作物の農業収入全体の減少による影響を緩和するための保険的制度です。

(1) 交付対象者

支援の対象となる農業者は、認定農業者、集落営農、認定新規就農者です(いずれも規模要件はありません)。

※ 集落営農の要件は、2要件(組織の規約の作成、対象作物の共同販売経理の実施)に緩和し、「農業経営の法人化」及び「地域における農地利用の集積」については、市町村が確実に行われると判断するものとします。

(2) 対象農産物

米、麦、大豆、てん菜、でん粉原料用ばれいしょです。

- ※1 ビール麦、黒大豆、種子用として生産されるものなどは対象となりません。
- ※2 てん菜、でん粉原料用ばれいしょは、北海道で生産されるものが対象です。

【10a当たり標準的収入額とは】

通常年に想定される収入額として、前年産以前5カ年の収入額のうち、最高年と最低年を除いた3カ年の平均収入額で、品目ごと、地域ごとに計算しています。各年産の収入額は、米であれば、地域の産地品種銘柄のうち、数量の多い上位3銘柄平均販売価格に、地域の実単収を乗じて算出します。

【10a当たり当年産収入額とは】

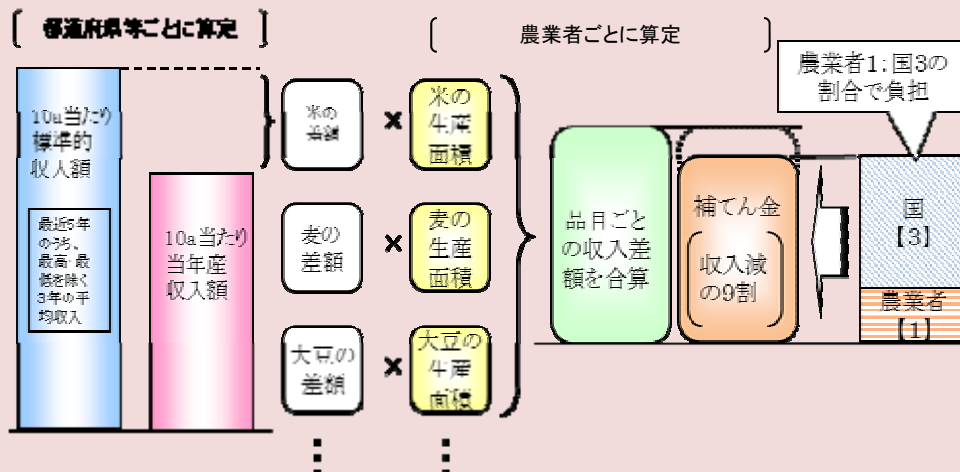
当年産の収入額として、品目ごと、地域ごとに計算しています。当年産の収入額は、米であれば、当年産の地域の産地品種銘柄のうち、数量の多い上位3銘柄平均販売価格に、当年産の地域の実単収を乗じて算出します。

(3) ナラシ対策の仕組み

- 農業者の米、麦、大豆等の当年産の販売収入の合計(当年産収入額)が、標準的収入額を下回った場合に、その差額の9割を補てんします。

$$\text{補てん額} = (\text{標準的収入額} - \text{当年産収入額}) \times 0.9$$

- 補てんの財源は、農業者と国が1対3の割合で負担します。
- このため、補てんを受けるには、農業者からの積立金の抛出が必要となります。
- 補てん後の積立金の残額は、翌年産へ繰り越されるため、掛け捨てとはなりません。



(参考) 平成26年産ナラシ対策の支払い実績 (平成27年7月31日現在)

全 国 都 道 府 県	加入件数 (件)	支払件数 (件)	補てん総額 (億円)	(参考1) ※ 米の10a当たり 補てん単価	(参考2) ※ 米加入面積10haの 場合の補てん額の推計	
				(円/10a)	(万円)	
全 国	69,741	58,375	516.42	22,157	221	
北 海 道	18,830	11,495	84.93	10,836	108	
東 北	青 森 県	2,060	1,984	21.16	22,652	226
	岩 手 県	2,003	1,945	23.36	20,533	205
	宮 城 県	2,689	2,407	24.37	20,376	203
	秋 田 県	6,177	6,044	60.49	23,535	235
	山 形 県	5,177	5,098	37.24	19,159	191
	福 島 県	2,041	1,999	18.73	22,179	221
関 東	茨 城 県	1,509	1,402	11.24	21,708	217
	栃 木 県	2,956	2,882	27.10	22,355	223
	群 馬 県	478	465	5.45	19,126	191
	埼 玉 県	377	335	3.18	19,852	198
	千 葉 県	175	164	2.04	21,645	216
	東 京 都	—	—	—	17,297	172
	神 奈 川 県	67	67	0.13	20,910	209
	山 梨 県	47	42	0.21	19,188	191
	長 野 県	605	568	10.89	25,819	258
	静 岡 県	151	149	2.40	19,932	199
北 陸	新 潟 県	9,028	8,662	54.23	14,538	145
	富 山 県	1,280	1,126	25.74	23,420	234
	石 川 県	1,145	1,068	14.35	22,075	220
	福 井 県	882	762	10.53	21,854	218
東 海	岐 阜 県	468	395	6.75	20,271	202
	愛 知 県	360	158	1.61	18,436	184
	三 重 県	585	409	4.19	20,921	209
近 畿	滋 賀 県	1,357	1,149	13.05	21,685	216
	京 都 府	178	164	1.09	20,279	202
	大 阪 府	6	5	0.01	20,836	208
	兵 庫 県	682	676	1.89	19,599	195
	奈 良 県	11	10	0.02	21,447	214
	和 歌 山 県	4	4	0.00	20,694	206
中 国 ・ 四 国	鳥 取 県	156	134	1.92	20,744	207
	島 根 県	441	436	5.26	21,315	213
	岡 山 県	304	289	2.87	20,591	205
	広 島 県	311	303	4.46	21,021	210
	山 口 県	657	529	3.87	20,097	200
	徳 島 県	32	30	0.22	19,249	192
	香 川 県	319	278	3.75	20,176	201
	愛 媛 県	290	263	1.46	19,818	198
	高 知 県	70	65	0.38	19,686	196
	九 州	福 岡 県	1,069	488	2.51	15,853
佐 賀 県		1,092	872	11.98	21,176	211
長 崎 県		173	106	0.57	17,114	171
熊 本 県		861	718	3.26	20,128	201
大 分 県		919	670	2.40	19,842	198
宮 崎 県		1,290	1,154	2.59	21,657	216
鹿 児 島 県	411	388	2.50	20,390	203	
沖 縄 県	18	18	0.05	11,807	118	

(注1) 加入件数は、平成26年7月31日時点の積立金納付者の件数である。

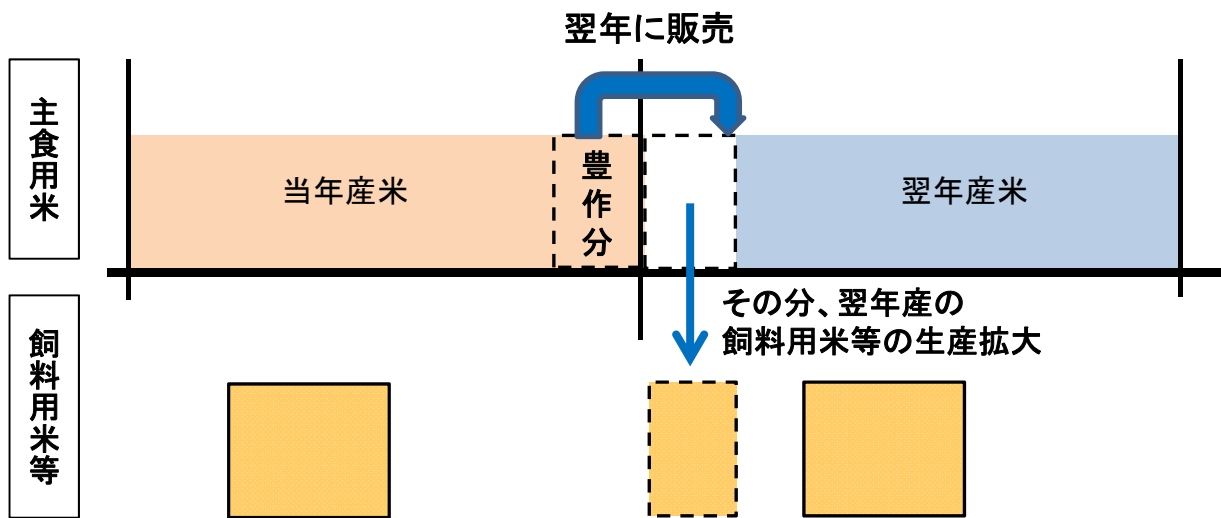
(注2) ラウンドの関係で合計数値は一致しない場合がある。

※ 米の10a当たり補てん単価及び米加入面積10haの場合の補てん額の推計は、20%コースの場合。米のみで試算したものであり、実際の支払では、麦・大豆等との合算相殺がある。また、(参考2)の米加入面積10haの場合の補てん額の推計は、表記上、1万円未満は切り捨てている。

(3) 主食用米の需給安定の考え方、米穀周年供給・需要拡大支援事業

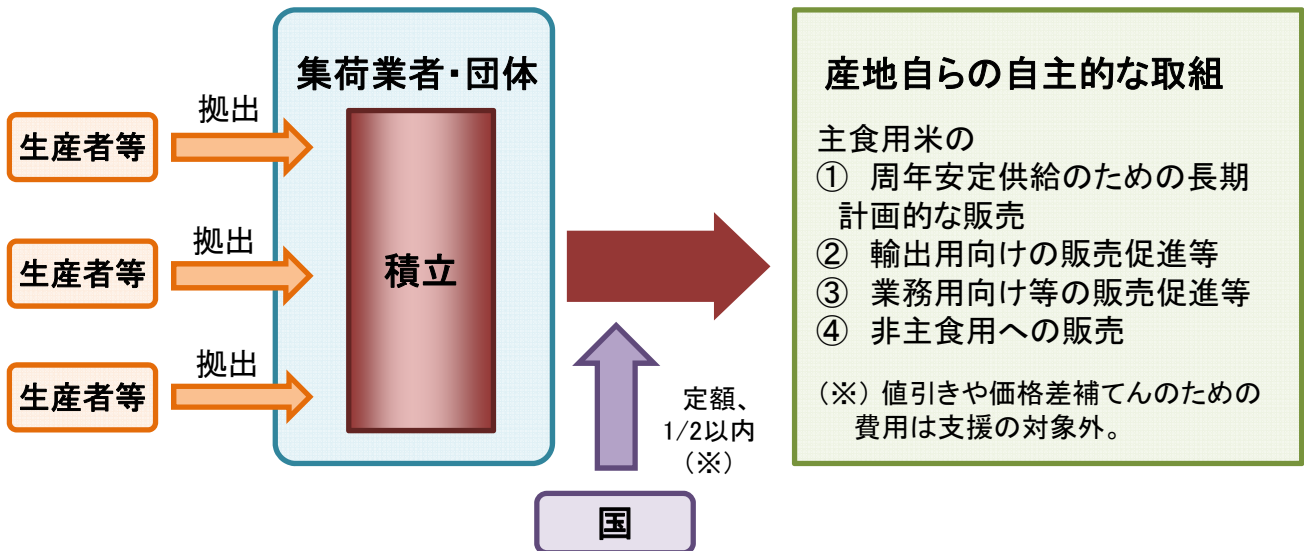
主食用米の需給安定の考え方

- 「需要に応じた生産を行ってもなお、気象の影響等により、必要な場合」に主食用米を長期計画的に販売する取組や、輸出用など他用途への販売を行う取組等を自主的に実施するための支援措置として、「米穀周年供給・需要拡大支援事業」を実施。（米穀周年供給・需要拡大支援事業：平成28概算決定 50億円（対前年同額））
- 平成30年産に向けては、必要がある場合に、この支援措置を活用して、豊作分を翌年に回し、その分、水田活用の直接支払交付金を活用して、翌年産の飼料用米等の生産を拡大して、主食用米の供給を絞るといった取組を定着させ、主食用米の需給の安定を図っていくことが重要。（水田活用の直接支払交付金：28概算決定 3,078億円（対前年+307億円））



米穀周年供給・需要拡大支援事業のスキーム

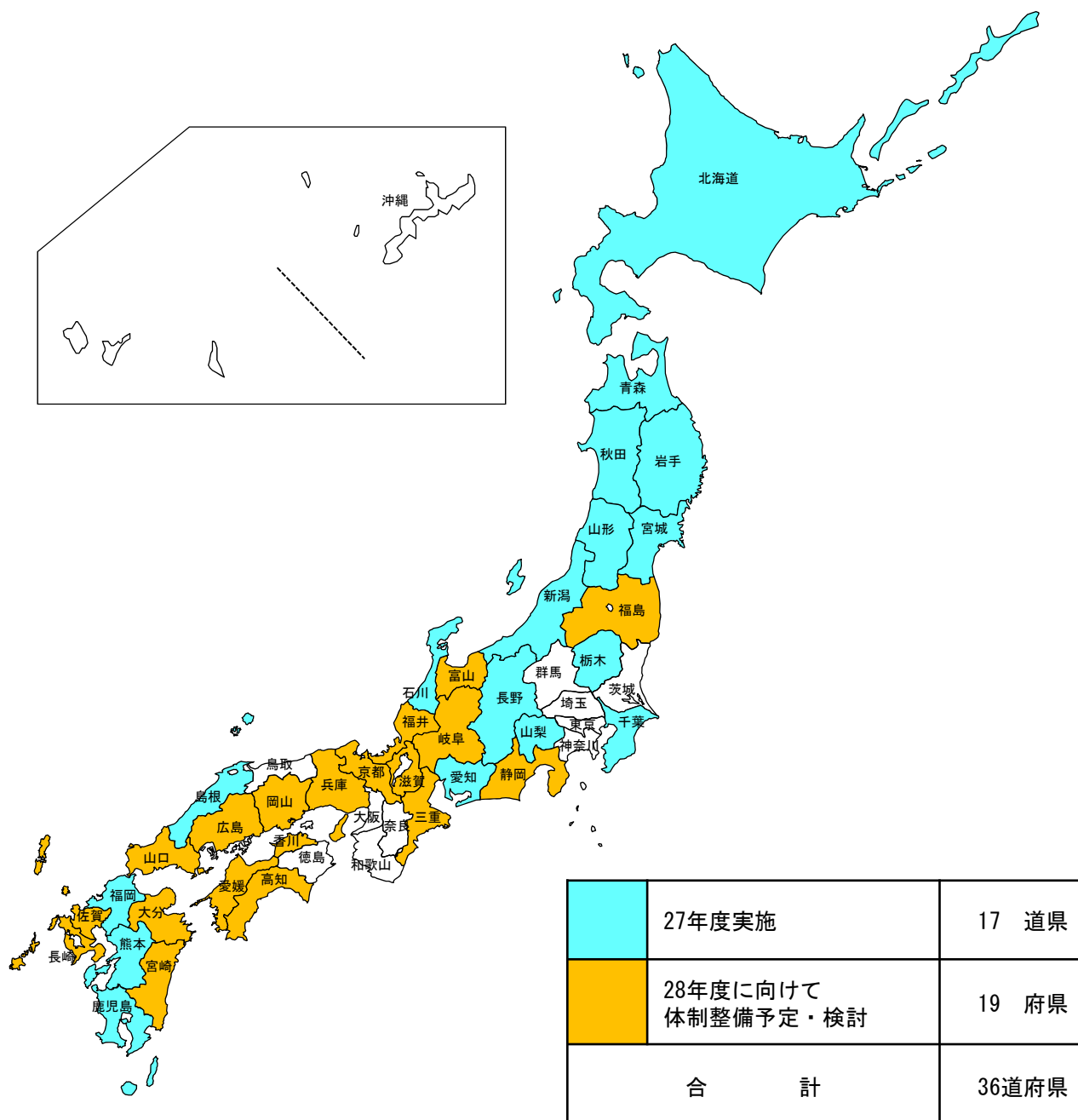
- 「米穀周年供給・需要拡大支援事業」は、産地の判断により、あらかじめ生産者等が資金を積立てる体制を構築して、以下の4つの取組を実施する場合に、国が一定の支援。



米穀周年供給・需要拡大支援事業活用意向（平成28年2月末時点）

米穀周年供給・需要拡大支援事業の活用状況は、

- 平成27年度では、17道県、18事業者が活用。
- 平成28年度では、新たに19府県で検討が進められ、36道府県が活用見込み。



注) 28年度に向けて体制整備予定・検討については、
経済連・県本部等の事務担当者からのヒアリング
結果である。

消費動向

(1) 米の消費動向（米穀機構による調査）

〔○ 本調査は、調査実施機関（株）マクロミルのモニターの中から、本調査への協力の意向を示した消費世帯を対象としている（インターネット調査）。〕

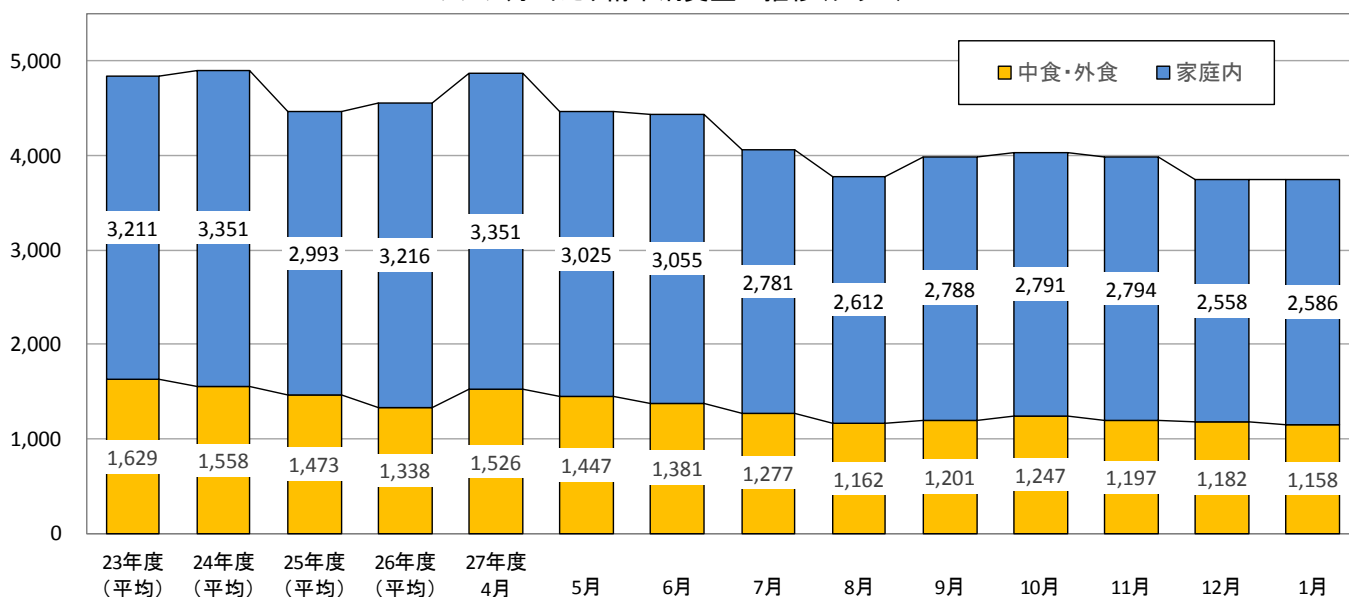
- 米穀機構が公表している「米の消費動向」(平成28年1月)によると、1人1ヵ月当たりの精米消費量は、前年同月との比較で 14.5%。
- このうち、家庭内での消費量は前年同月との比較で 17.3%、中・外食は同 7.5%。

① 1人1ヵ月当たり精米消費量の推移

	精米消費量						内訳(比率)						前年同月比(比率)				
	合計	家庭内		中・外食			合計	家庭内		中・外食			合計	家庭内		中・外食	
		中食	外食	中食	外食			中食	外食	中食	外食						
23年度	4,841	3,211	1,629	-	-	100.0	66.3	33.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24年度	4,909	3,351	1,558	-	-	100.0	68.3	31.7	-	-	1.4	4.4	▲ 4.4	-	-	-	-
25年度	4,466	2,993	1,473	-	-	100.0	67.0	33.0	-	-	▲ 9.0	▲ 10.7	▲ 5.5	-	-	-	-
26年度	4,554	3,216	1,338	-	-	100.0	70.6	29.4	-	-	2.0	7.5	▲ 9.2	-	-	-	-
27年度	4月	4,877	3,351	1,526	908	618	100.0	68.7	31.3	18.6	12.7	▲ 2.2	▲ 5.0	4.7	5.0	4.4	
	5月	4,472	3,025	1,447	864	583	100.0	67.6	32.4	19.3	13.0	▲ 7.5	▲ 10.3	▲ 0.9	2.7	▲ 5.8	
	6月	4,436	3,055	1,381	839	541	100.0	68.9	31.1	18.9	12.2	▲ 4.5	▲ 5.5	▲ 2.1	3.6	▲ 10.0	
	7月	4,058	2,781	1,277	742	536	100.0	68.5	31.5	18.3	13.2	▲ 9.8	▲ 12.1	▲ 4.5	▲ 3.0	▲ 6.3	
	8月	3,774	2,612	1,162	644	518	100.0	69.2	30.8	17.1	13.7	▲ 14.0	▲ 14.4	▲ 12.9	▲ 13.0	▲ 12.8	
	9月	3,989	2,788	1,201	669	531	100.0	69.9	30.1	16.8	13.3	▲ 11.3	▲ 12.4	▲ 8.5	▲ 12.1	▲ 3.6	
	10月	4,038	2,791	1,247	726	521	100.0	69.1	30.9	18.0	12.9	▲ 12.7	▲ 15.2	▲ 6.5	▲ 5.1	▲ 8.4	
	11月	3,991	2,794	1,197	645	552	100.0	70.0	30.0	16.2	13.8	▲ 13.8	▲ 14.9	▲ 11.1	▲ 13.9	▲ 7.5	
	12月	3,740	2,558	1,182	674	508	100.0	68.4	31.6	18.0	13.6	▲ 13.0	▲ 15.2	▲ 8.0	▲ 5.2	▲ 11.5	
	1月	3,744	2,586	1,158	639	519	100.0	69.1	30.9	17.1	13.9	▲ 14.5	▲ 17.3	▲ 7.5	▲ 9.1	▲ 5.5	

(精米g/人)

1人1ヵ月当たり精米消費量の推移(グラフ)



出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」

注：1 28年1月分の有効調査世帯数は1,703世帯。

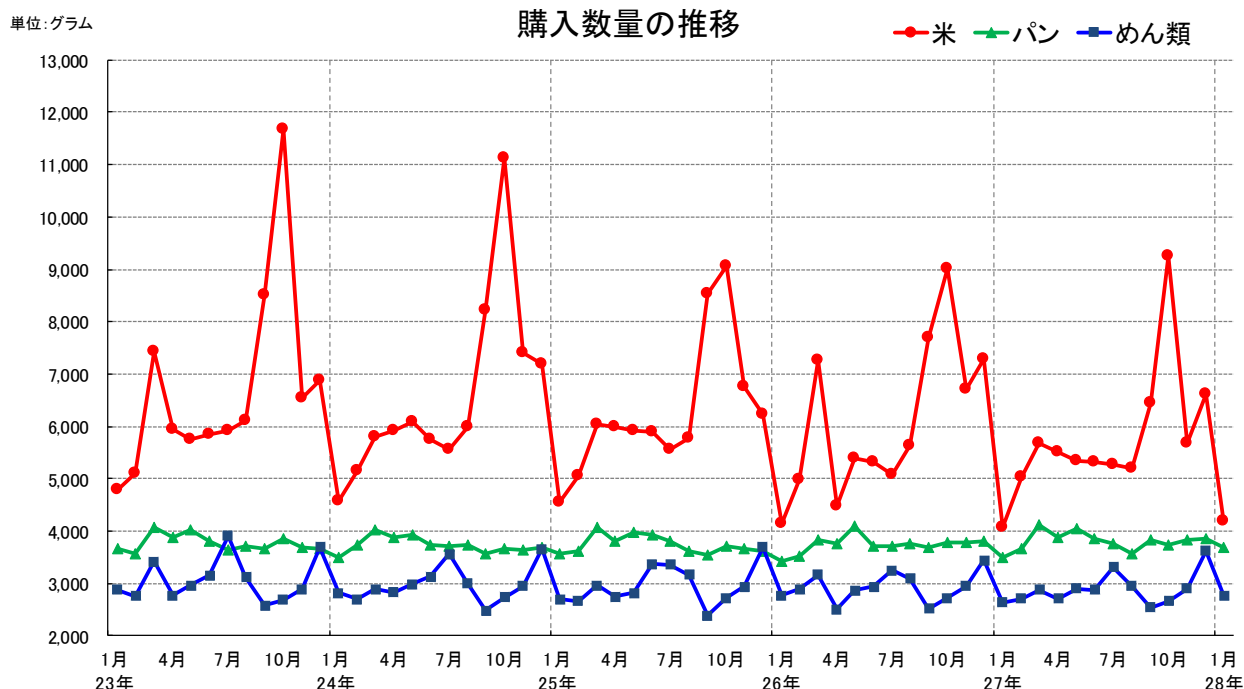
2 家庭内消費量については、調査当月の月初と月末の精米在庫量及び精米購入数量から把握、中食・外食の消費量については、調査当月の家庭炊飯以外で食べた米飯の数量から推計。

3 集計に際しては、地域毎に世帯人員構成比が平成22年国勢調査「世帯人員構成比」に沿うよう調整した上で推計。

4 四捨五入の関係で合計と内訳が合わない場合がある。

(2) 購入数量の推移(家計調査)

- 総務省が公表している家計調査によると、平成28年1月の米の購入数量は、前年同月との比較で+3%の4.2kg、パンについては+6%の3.7kg、めん類については+5%の2.8kg。



(表) 購入数量の推移

(単位:グラム)

	米		パン		めん類	
	購入数量	対前年 (同月)比	購入数量	対前年 (同月)比	購入数量	対前年 (同月)比
平成20年	88,550	103.8%	44,445	98.2%	35,899	101.2%
平成21年	85,110	96.1%	45,599	102.6%	36,615	102.0%
平成22年	83,010	97.5%	45,443	99.7%	37,000	101.1%
平成23年	80,580	97.1%	45,255	99.6%	36,931	99.8%
平成24年	78,780	97.8%	44,808	99.0%	35,819	97.0%
平成25年	75,170	95.4%	44,927	100.3%	35,560	99.3%
平成26年	73,050	97.2%	44,926	100.0%	35,176	98.9%
平成27年1月	4,060	97.8%	3,493	101.9%	2,640	95.4%
2月	5,030	101.0%	3,668	103.9%	2,710	93.8%
3月	5,690	78.4%	4,121	107.7%	2,879	90.9%
4月	5,500	123.0%	3,882	102.9%	2,714	108.4%
5月	5,350	99.4%	4,038	98.3%	2,905	101.4%
6月	5,320	99.8%	3,848	103.8%	2,873	97.9%
7月	5,260	103.5%	3,763	101.5%	3,313	101.9%
8月	5,200	92.4%	3,564	94.5%	2,950	95.4%
9月	6,440	83.7%	3,834	103.9%	2,545	101.2%
10月	9,250	102.7%	3,735	98.7%	2,662	97.8%
11月	5,690	84.9%	3,839	101.3%	2,902	98.3%
12月	6,610	90.8%	3,859	101.0%	3,621	105.2%
平成28年1月	4,180	103.0%	3,693	105.7%	2,771	105.0%

資料：総務省「家計調査」

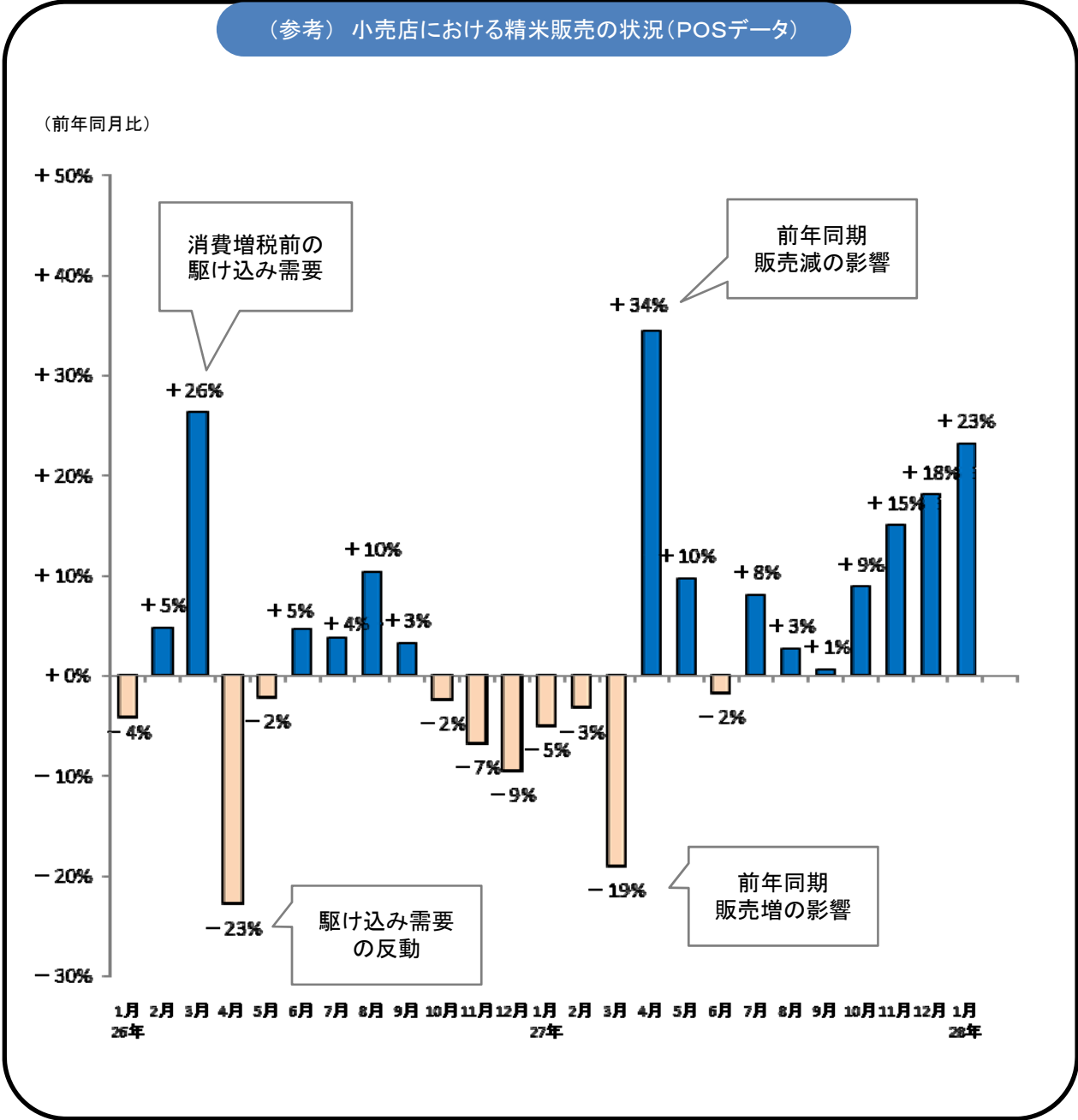
注：1 二人以上の世帯の数値である。

2 平成20年から平成26年については、年間の購入数量を示す。

3 米は精米ベースである。

(3) 小売店における精米販売

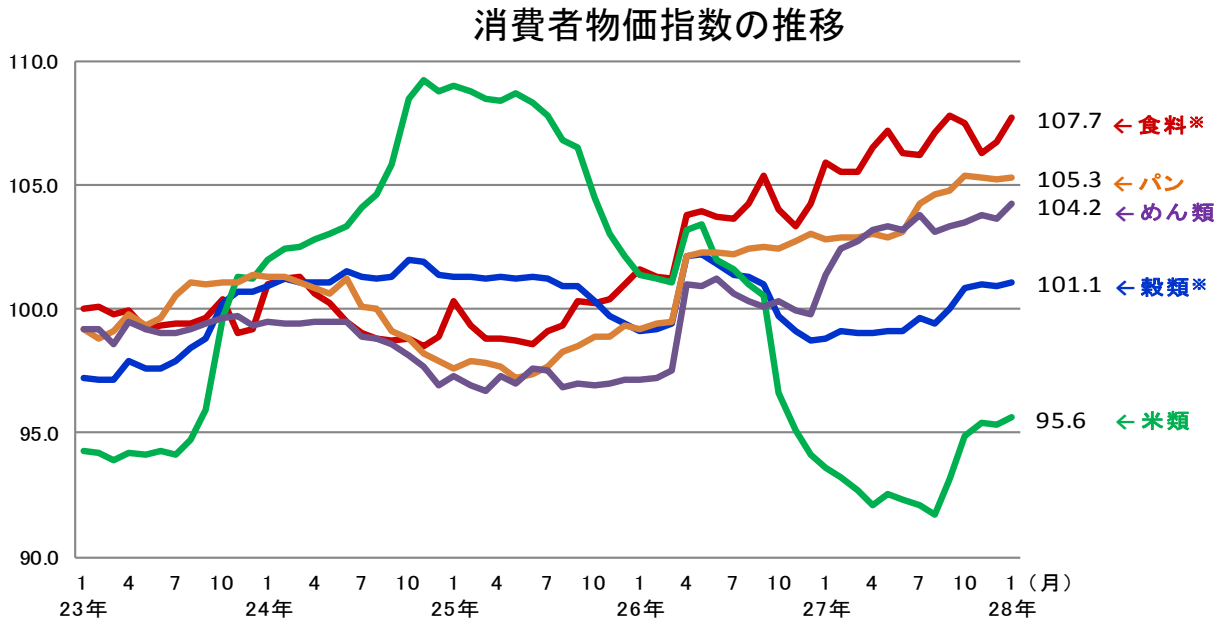
● 平成28年1月の小売店における精米販売量（POSデータ）は、前年同月に比べ+23%。



資料： (株) KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成
 注：1 (株) KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約980店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。
 2 POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。
 3 POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。
 4 POSデータで把握できる全ての精米の販売数量を基に前年比を算定している。

(4) 消費者物価指数の推移

- ・ 総務省が公表している消費者物価指数によると、平成28年1月の米類の指数は、先月より+0.3ポイントの95.6ポイント。
- ・ なお、前年同月との比較では+2.1ポイント。



- 注：1 図中の実線は、平成22年の平均価格を100とした数値となる。
 2 図中の数値は、平成28年1月の消費者物価指数となる。
 3 図中の食料とは穀類、魚介類、肉類等を、穀類とは米類、パン、めん類、他の穀類をいう。

(表) 消費者物価指数の推移 (対前年同月比)

	食料		穀類		米類		うるち米		パン		めん類	
	対前年 (同月)比		対前年 (同月)比		対前年 (同月)比		対前年 (同月)比		対前年 (同月)比		対前年 (同月)比	
平成17年	96.8	▲0.9%	98.5	▲6.6%	109.8	▲13.3%	109.8	▲12.9%	91.6	▲1.1%	91.2	▲0.9%
平成18年	97.3	0.5%	96.8	▲1.7%	106.4	▲3.1%	106.5	▲3.0%	91.5	▲0.1%	90.1	▲1.2%
平成19年	97.6	0.3%	96.4	▲0.4%	104.5	▲1.8%	104.7	▲1.7%	92.1	0.7%	89.7	▲0.4%
平成20年	100.1	2.6%	102.6	6.4%	103.2	▲1.2%	103.4	▲1.2%	103.8	12.7%	100.2	11.7%
平成21年	100.3	0.2%	103.3	0.7%	103.6	0.4%	103.6	0.2%	104.0	0.2%	101.9	1.7%
平成22年	100.0	▲0.3%	100.0	▲3.2%	100.0	▲3.5%	100.0	▲3.5%	100.0	▲3.8%	100.0	▲1.9%
平成23年	99.6	▲0.4%	98.4	▲1.6%	96.0	▲4.0%	95.9	▲4.1%	100.2	0.2%	99.2	▲0.8%
平成24年	99.7	0.1%	101.3	2.9%	104.8	9.2%	105.1	9.6%	100.0	▲0.2%	98.8	▲0.4%
平成25年	99.6	▲0.1%	100.8	▲0.5%	106.9	2.0%	107.3	2.1%	98.1	▲1.9%	97.1	▲1.7%
平成26年	103.4	3.8%	100.4	▲0.4%	100.1	▲6.4%	100.1	▲6.7%	101.7	3.7%	99.7	2.7%
平成27年1月	105.9	4.2%	98.8	▲0.3%	93.6	▲7.7%	93.3	▲8.3%	102.8	3.6%	101.4	4.4%
2月	105.5	4.1%	99.1	▲0.1%	93.2	▲7.9%	92.8	▲8.4%	102.9	3.5%	102.4	5.3%
3月	105.5	4.2%	99.0	▲0.4%	92.7	▲8.3%	92.3	▲8.9%	102.9	3.4%	102.7	5.3%
4月	106.5	2.6%	99.0	▲3.0%	92.1	▲10.8%	91.6	▲11.3%	103.0	0.9%	103.2	2.2%
5月	107.2	3.2%	99.1	▲3.0%	92.5	▲10.5%	92.1	▲11.0%	102.9	0.6%	103.3	2.4%
6月	106.3	2.5%	99.1	▲2.7%	92.3	▲9.5%	91.8	▲10.0%	103.1	0.8%	103.2	2.0%
7月	106.2	2.5%	99.6	▲1.8%	92.1	▲9.4%	91.6	▲9.9%	104.2	2.0%	103.8	3.2%
8月	107.1	2.8%	99.4	▲1.9%	91.7	▲9.2%	91.2	▲9.8%	104.6	2.1%	103.1	2.8%
9月	107.8	2.3%	100.0	▲1.0%	93.1	▲7.4%	92.6	▲7.9%	104.8	2.2%	103.3	3.2%
10月	107.5	3.4%	100.8	1.1%	94.9	▲1.8%	94.5	▲1.9%	105.4	2.9%	103.5	3.2%
11月	106.3	2.9%	101.0	1.9%	95.4	0.3%	95.0	0.2%	105.3	2.5%	103.8	3.9%
12月	106.7	2.4%	100.9	2.2%	95.3	1.3%	95.1	1.4%	105.2	2.1%	103.6	3.8%
平成28年1月	107.7	1.7%	101.1	2.3%	95.6	2.1%	95.4	2.3%	105.3	2.4%	104.2	2.8%

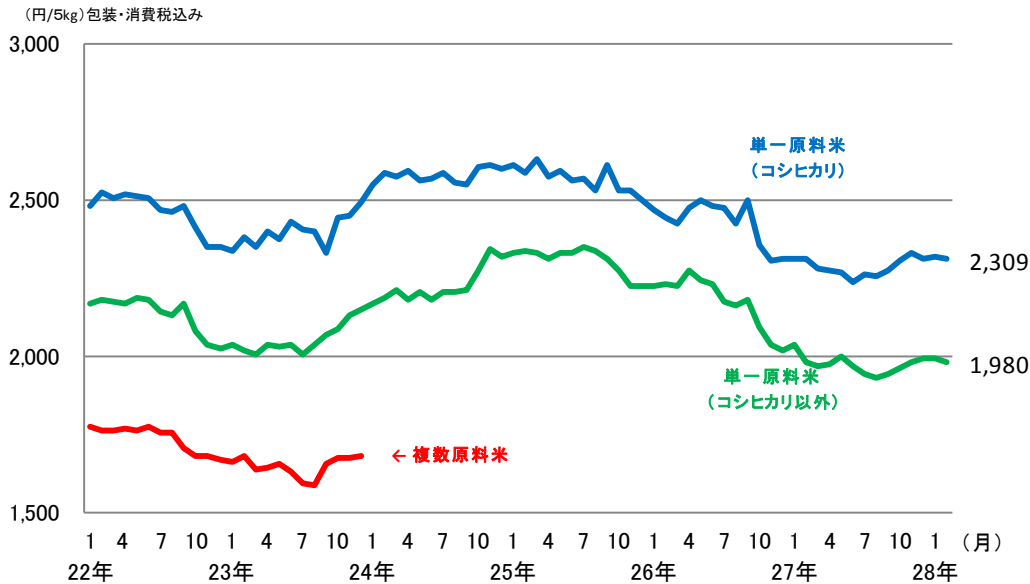
資料： 総務省「消費者物価指数」(平成22年基準)

- 注：1 表中の数値は、平成22年の平均価格を100として指数化したものである。
 2 食料は、穀類以外にも、魚介類、肉類等を含んでいる。
 3 穀類は、米類(うるち米、もち米)、パン、めん類、他の穀類からなる。
 4 平成17年から平成26年のデータは年平均、平成27年1月以降は月次データを用いている。

(5) 小売物価統計の推移

- ・ 総務省が公表している小売物価統計によると、平成28年2月のうるち米の小売価格（5kg当たり）は、単一原料米（コシヒカリ）で、前月より 0.4%、前年同月より 0.2%の2,309円。
- ・ 単一原料米（コシヒカリ以外）は、前月より 0.5%、前年同月より 0.1%の1,980円。

(図) 小売物価統計の推移



(表) 小売物価統計の推移

(単位：円/5kg 包装・消費税込み)

	うるち米				
	単一原料米 (コシヒカリ)	対前年 (同月)比	単一原料米 (コシヒカリ以外)	対前年 (同月)比	複数原料米
平成17年	2,804	-	2,375	-	2,040
平成18年	2,744	▲2.1%	2,341	▲1.4%	1,996
平成19年	2,670	▲2.7%	2,288	▲2.3%	1,950
平成20年	2,610	▲2.2%	2,270	▲0.8%	1,832
平成21年	2,531	▲3.0%	2,201	▲3.0%	1,812
平成22年	2,462	▲2.7%	2,136	▲3.0%	1,739
平成23年	2,399	▲2.5%	2,053	▲3.9%	1,649
平成24年	2,577	7.4%	2,223	8.3%	-
平成25年	2,567	▲0.4%	2,307	3.8%	-
平成26年	2,428	▲5.4%	2,173	▲5.8%	-
平成27年1月	2,311	▲6.3%	2,035	▲8.5%	-
2月	2,314	▲5.2%	1,981	▲11.1%	-
3月	2,279	▲5.9%	1,969	▲11.3%	-
4月	2,271	▲8.2%	1,972	▲13.4%	-
5月	2,265	▲9.3%	2,002	▲10.7%	-
6月	2,239	▲9.8%	1,970	▲11.7%	-
7月	2,263	▲8.5%	1,946	▲10.6%	-
8月	2,253	▲6.9%	1,931	▲10.6%	-
9月	2,275	▲8.9%	1,942	▲10.8%	-
10月	2,307	▲2.1%	1,961	▲6.3%	-
11月	2,331	1.2%	1,983	▲2.6%	-
12月	2,312	0.2%	1,990	▲1.4%	-
平成28年1月	2,318	0.3%	1,990	▲2.2%	-
2月	2,309	▲0.2%	1,980	▲0.1%	-

資料：総務省「小売物価統計」

注1：東京都区部の数値である。

2：特売を除いた価格である。

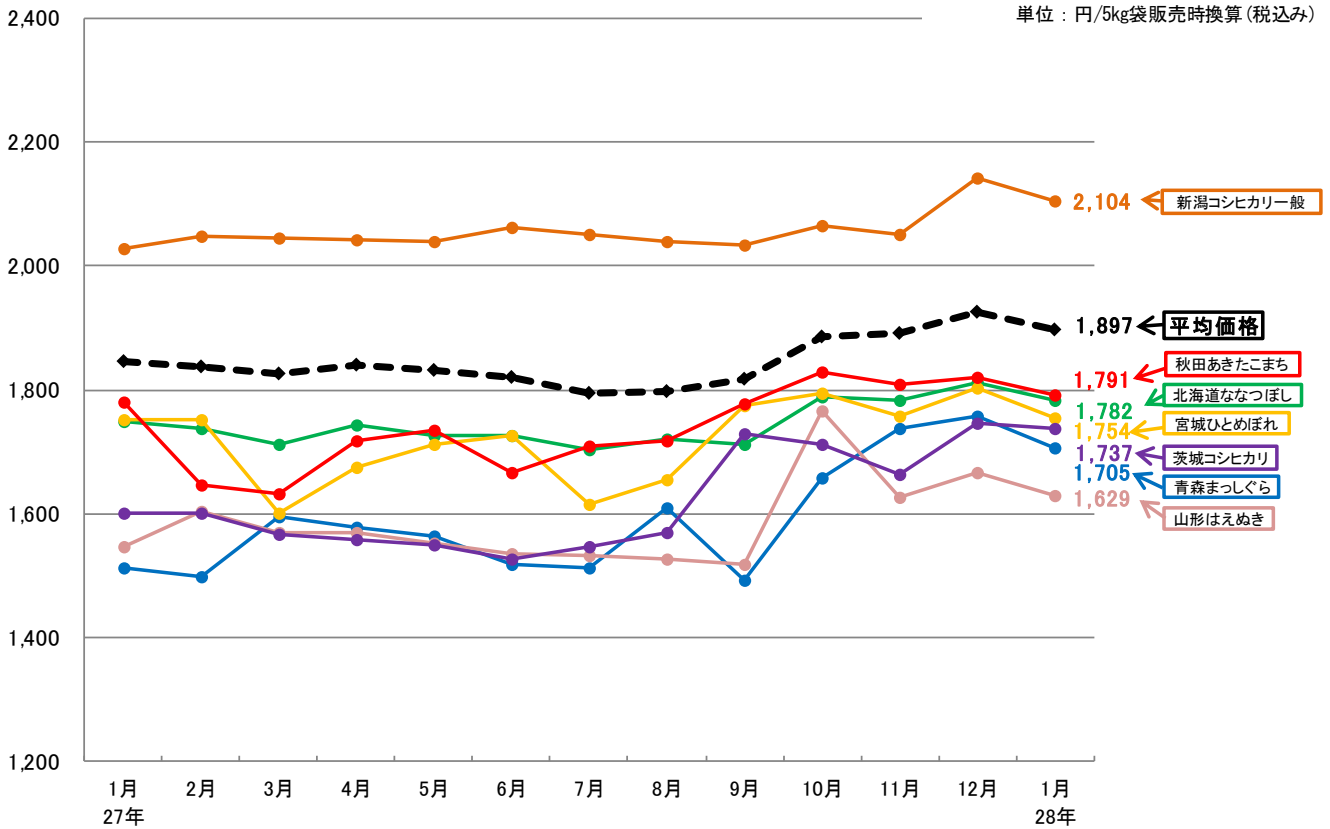
3：精米ベースである。

4：複数原料米については、平成23年12月をもって調査が終了した。

(6) 小売価格の推移 (POSデータ)

平成28年1月の小売価格(POSデータ)の平均価格(5kg当たり)は、前月より 29円 (1.5%)、前年同月より + 51円(+ 2.8%)の1,897円。

(図)小売価格の推移



(表)小売価格の推移

単位：円/5kg袋販売時換算(消費税込み)

	品種銘柄							全POS取引 平均価格
	北海道 ななつぼし	青森 まっしぐら	宮城 ひとめぼれ	秋田 あきたこまち	山形 はえぬき	茨城 コシヒカリ	新潟 コシヒカリ一般	
27年1月	1,750	1,511	1,753	1,780	1,547	1,601	2,027	1,846
2月	1,738	1,498	1,753	1,646	1,605	1,601	2,047	1,838
3月	1,712	1,596	1,601	1,632	1,570	1,568	2,046	1,824
4月	1,743	1,578	1,674	1,718	1,571	1,557	2,043	1,839
5月	1,725	1,564	1,713	1,735	1,553	1,551	2,038	1,831
6月	1,725	1,517	1,726	1,665	1,535	1,528	2,061	1,819
7月	1,703	1,513	1,614	1,709	1,533	1,547	2,052	1,795
8月	1,722	1,608	1,655	1,716	1,526	1,570	2,038	1,798
9月	1,713	1,493	1,775	1,776	1,519	1,729	2,034	1,818
10月	1,789	1,658	1,794	1,829	1,765	1,713	2,064	1,887
11月	1,784	1,738	1,759	1,808	1,626	1,662	2,050	1,891
12月	1,811	1,758	1,803	1,820	1,667	1,747	2,142	1,926
28年1月	1,782	1,705	1,754	1,791	1,629	1,737	2,104	1,897
対前月比	▲ 1.6%	▲ 3.0%	▲ 2.7%	▲ 1.6%	▲ 2.2%	▲ 0.6%	▲ 1.7%	▲ 1.5%
対前年同月比	1.8%	12.8%	0.0%	0.6%	5.3%	8.5%	3.8%	2.8%

資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

注：1 (株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約980店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。

2 POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

3 POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

4 平均価格は、POSデータで把握できる全ての精米の販売について5kg袋販売時に換算した上で加重平均を行った価格である。

5 価格に含む消費税は8%である。

MA米（一般・SBS）の動向

(1) MA米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別）

（単位：万玄米トン）

	米 国	タ イ	中 国	オースト ラリア	その他	合 計	うち	
							一般輸入	SBS輸入※
平成7年度	19	11	3	9	1	43	42	1
平成8年度	23	14	4	9	1	51	49	2
平成9年度	29	15	5	9	1	60	54	6
平成10年度	31	15	8	11	3	68	55	12
平成11年度	34	16	9	12	2	72	59	12
平成12年度	36	17	10	12	2	77	63	12
平成13年度	36	15	14	11	1	77	66	10
平成14年度	36	15	11	10	4	77	71	5
平成15年度	36	15	11	9	5	76	65	10
平成16年度	36	19	10	2	10	77	66	9
平成17年度	36	19	8	2	12	77	66	10
平成18年度	36	18	8	5	10	77	65	10
平成19年度	36	24	8	-	1	70	59	10
平成20年度	43	26	7	-	1	77	66	10
平成21年度	36	33	7	-	1	77	66	10
平成22年度	36	35	2	4	1	77	73	4
平成23年度	36	24	6	7	4	77	66	10
平成24年度	36	28	5	6	1	77	66	10
平成25年度	36	35	0	4	2	77	70	6
平成26年度	36	33	6	1	1	77	75	1
平成27年度 (平成28年2月末現在)	30	28	6	0	0	64	62	2

資料： 農林水産省「米をめぐる関係資料」

※SBS輸入数量の単位は万実トン。

注：1 各年度の輸入契約数量の推移。

2 ラウンドの関係で合計が一致しないことがある。

3 実トンと玄米トンのため合計は一致しないことがある。

(参考) MA米以外で、枠外税率を支払って輸入されるコメの数量は、毎年0.1~0.2千トン程度

(2) 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合わせ結果(平成27年度)

(単位:トン)

販売期間	うるち	販売期間	もち
平成27年4~6月分	13,301	平成27年4~7月分	2,882
4月分	522	平成27年8~11月分	2,968
5月分	368	/	
6月分	979		
7~9月分	17,214		
7月分	488		
8月分	571		
9月分	943		
10~12月分	17,250		
10月分	498		
11月分	273		
12月分	703		
小計	53,110	小計	5,850
合計	58,960		

資料:農林水産省「加工原材料用に係る政府所有ミニマム・アクセス米の見積合わせ結果の概要について」

(3) SBS輸入米の見積合わせ結果(平成27年度)

(単位:実トン)

		アメリカ		タイ		中国		その他		合計
		うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	
第1回 (平成27年9月16日)	一般米	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	砕精米	220	100	200	108	0	0	0	0	628
第2回 (平成27年10月21日)	一般米	36	434	36	0	0	0	108	0	614
	砕精米	300	100	100	144	200	0	0	0	844
第3回 (平成27年11月18日)	一般米	236	736	1,216	0	40	0	350	0	2,578
	砕精米	408	200	500	0	0	0	150	0	1,258
第4回 (平成27年12月9日)	一般米	846	670	858	72	0	0	471	0	2,917
	砕精米	608	100	660	500	200	0	0	0	2,068
第5回 (平成28年1月13日)	一般米	860	528	224	0	0	0	372	0	1,984
	砕精米	1,300	200	560	0	260	0	0	0	2,320
第6回 (平成28年1月29日)	一般米	0	430	220	0	36	0	585	0	1,271
	砕精米	800	120	400	162	0	0	0	0	1,482
第7回 (平成28年2月16日)	一般米	1,297	460	208	0	0	0	288	0	2,253
	砕精米	2,000	100	0	0	0	0	0	0	2,100
第8回 (平成28年3月2日)	一般米	976	200	0	0	0	0	70	0	1,246
	砕精米	5,304	340	0	108	0	0	0	0	5,752
合計	一般米	4,251	3,458	2,762	72	76	0	2,244	0	12,863
	砕精米	10,940	1,260	2,420	1,022	660	0	150	0	16,452
平成22年度計 (参考)	一般米	2,904	2,228	1,880	120	2,936	0	538	0	10,606
	砕精米	16,438	640	9,010	0	532	0	0	0	26,620
平成23年度計 (参考)	一般米	7,490	5,324	2,038	80	50,463	0	17,155	0	82,550
	砕精米	10,124	990	2,320	3,384	632	0	0	0	17,450
平成24年度計 (参考)	一般米	34,076	2,290	1,536	72	27,640	0	24,386	0	90,000
	砕精米	4,032	576	2,898	364	524	0	1,606	0	10,000
平成25年度計 (参考)	一般米	14,686	4,396	3,346	144	174	0	17,993	0	40,739
	砕精米	576	388	7,375	308	540	0	10,913	0	20,100
平成26年度計 (参考)	一般米	662	2,418	2,732	72	80	0	1,326	0	7,290
	砕精米	0	724	2,540	252	700	0	100	0	4,316

資料:農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」の平成22~27年度

その他

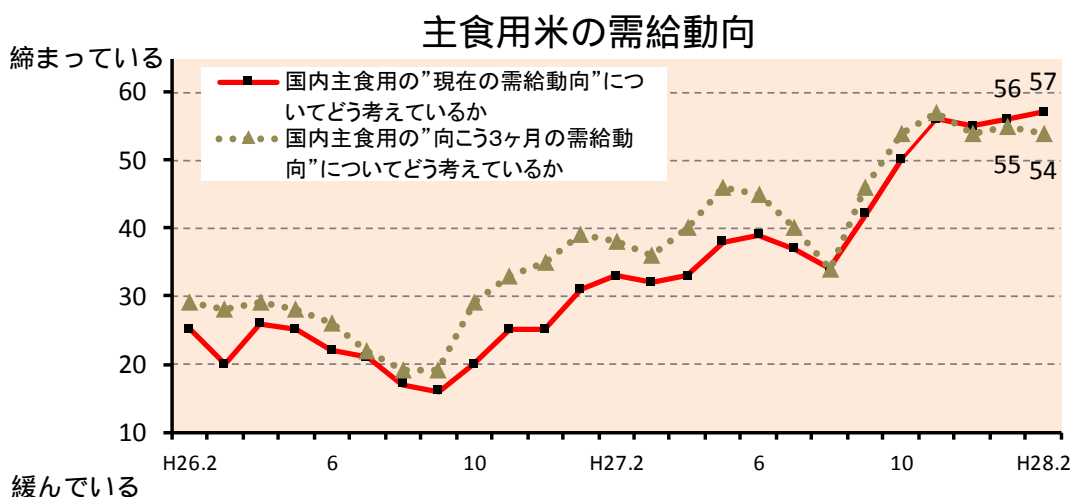
(1) 米取引関係者の判断(米穀機構による調査、平成28年2月分)

- 米穀機構が公表している米取引関係者の判断に関する調査(平成28年2月分)によると、主食用米の需給動向は、前月に比べ現状判断は+1ポイント、見通し(向こう3ヶ月)判断は1ポイント。いずれも判断基準の50を超えており「締まっている、締まる」との見方が継続。
- 米価水準は、現状判断は+3ポイント、見通し(向こう3ヶ月)判断は±0ポイント。見通し判断は、判断基準の50を超えており「米価水準が高くなる」との見方が継続。

国内の主食用米の需給及び価格動向に関する判断(全体)

主食用米の需給動向

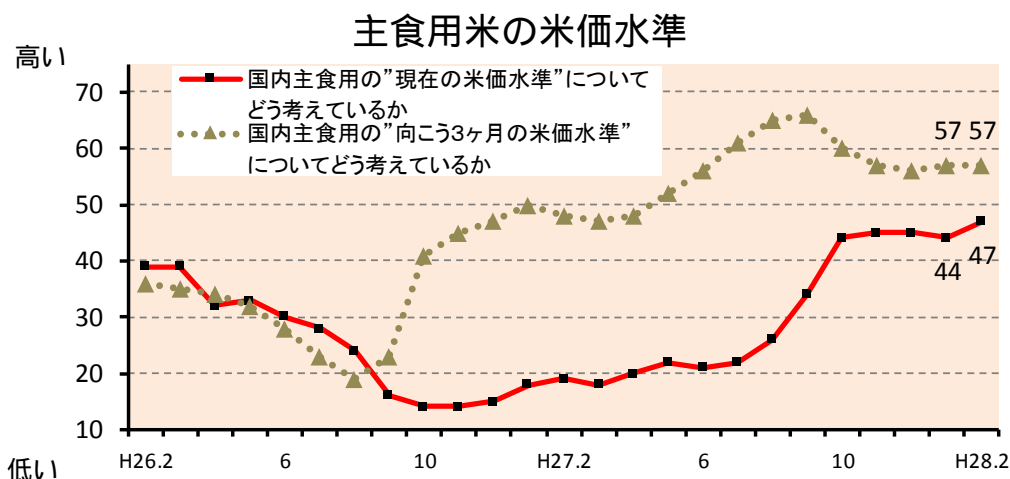
(ア) 現状判断DI	前月からの増減	+1 (今月の数値 57)
(イ) 見通し判断DI (向こう3ヶ月)	前月からの増減	-1 (今月の数値 54)



当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「締まっている」/「(将来)締まる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「緩んでいる」/「(将来)緩む」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

主食用米の米価水準

(ア) 現状判断DI	前月からの増減	+3 (今月の数値 47)
(イ) 見通し判断DI (向こう3ヶ月)	前月からの増減	±0 (今月の数値 57)



当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「米価水準が高い」/「米価水準が高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「米価水準が低い」/「米価水準が低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

以上の他、「自社の取引状況に関する判断(業態ごと)」など
詳細な情報は、米穀機構ホームページ(米ネット)を参照ください。

【<http://www.komenet.jp/>】

また、マンスリーレポート(資料編)にも掲載しております。

《アンケート方法等》

- 調査期間:毎月1日から25日までの取引状況を踏まえて回答
- 調査方法:電子メールを利用したアンケート調査
- 調査対象者:全国の生産者、集出荷業者、卸・小売業者等の145客体
- 有効回答数:115客体

生産者…………… 9
集出荷業者/団体……………27
卸売業者(主に主食用米)………26
小売業者/中食・外食業者………35
その他……………18

※「その他」は以下の業者です。

- ・米穀の販売の事業を行う者のうち、主に加工原材料の卸売の事業を行う者
- ・加工原材料米穀を使用し、加工食品(酒類を含む)を製造・販売する者

《利用上の注意》

- 表示単位未満の端数は四捨五入したため、合計と内訳が一致しないことがあります。

《DIの算出方法》

米の需給動向・価格水準などに関する現状、または先行きに対する5段階の判断(評価)にそれぞれ点数(評価点)を与え、これらを各回答区分の構成比(%)に乗じてDIを算出します。

ただし、DIの推移は、変化の方向性を示すものであり、その変化の大きさ(量感)を表すものではありません。例えば、大幅であろうが小幅であろうが、上昇するといった見方をする者の構成比が同じであれば、同じDIが観測されることに注意が必要です。

(DIの算出例)

問:国内の主食用米の“向こう3ヶ月の米価水準”について、“現時点と比較”してどうなると考えていますか。

	高くなる	やや高くなる	同程度	やや低くなる	低くなる
評価点(A)	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0
構成比(B)	17.8	20.0	20.0	22.2	20.0
各DI(C=A×B)	17.8	15	10	5.6	0
DI(合計)	48.4				

(2) 水稻うるち玄米の農産物検査結果

- 平成27年産水稻うるち玄米の平成28年1月31日現在の検査数量は、前年産の同月と比べ 7%の425万トン。
- 1等米比率については、前年産より1ポイント高い83%。

① 検査数量の推移(累計)

年産別	当年						翌年			
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10月
23	11	167	1,488	3,490	3,928	4,082	4,186	4,302	4,413	4,753
24	13	223	1,732	3,750	4,156	4,313	4,411	4,532	4,657	5,041
25	23	265	1,869	3,806	4,248	4,433	4,537	4,661	4,793	5,206
26	12	229	1,789	3,785	4,276	4,470	4,595	4,720	4,880	5,275
参考:前年比	52%	86%	96%	99%	101%	101%	101%	101%	102%	101%
27	11	220	1,537	3,506	3,964	4,149	4,252			
参考:前年比	93%	96%	86%	93%	93%	93%	93%			

注:1 各月末時点の検査数量である。

2 生産年の7月から翌年3月までは速報値、翌年10月は確定値である。

② 検査数量及び等級比率(年産別)

(単位:トン、%)

年産別	検査数量	等級別数量				等級比率			
		1等	2等	3等	規格外	1等	2等	3等	規格外
17	5,047,547	3,788,571	1,000,515	168,455	90,006	75.1	19.8	3.3	1.8
18	4,776,481	3,746,166	822,163	112,475	95,677	78.4	17.2	2.4	2.0
19	4,805,870	3,826,432	795,452	95,082	88,903	79.6	16.6	2.0	1.8
20	5,093,440	4,073,571	849,087	76,542	94,240	80.0	16.7	1.5	1.9
21	4,818,603	4,102,807	582,137	48,396	85,263	85.1	12.1	1.0	1.8
22	4,859,642	3,013,076	1,570,194	152,813	123,559	62.0	32.3	3.1	2.5
23	4,753,193	3,840,127	759,339	60,000	93,727	80.8	16.0	1.3	2.0
24	5,041,489	3,953,978	910,522	82,760	94,229	78.4	18.1	1.6	1.9
25	5,205,717	4,112,147	905,866	96,289	91,415	79.0	17.4	1.8	1.8
26	5,274,634	4,291,267	806,063	70,348	106,956	81.4	15.3	1.3	2.0
27(注2)	4,251,928	3,508,549	620,081	72,663	50,636	82.5	14.6	1.7	1.2

資料: 農林水産省とりまとめ

注:1 等級比率は、1等であれば農産物検査法に基づく検査の結果、1等に格付けされた割合である。

2 27年産米については、平成28年1月31日現在(速報値)。

(3) 平成27年産水稻の作付面積及び収穫量

全 国 都 道 府 県	作付面積 (子実用) ①	10a 当たり 収 量 ②	(参考) 農家等が使用している ふるい目幅で選別			収 穫 量 (子実用) ⑥=①×②	参 考	
			10a 当たり 取 量 ③	10a 当たり 平年収量 ④	作 況 指 数 ⑤=③/④		主食用 作付面積 ⑦	収 穫 量 (主食用) ⑧=⑦×②
全 国	1,505,000	531	515	517	100	7,986,000	1,406,000	7,442,000
北 海 道	107,800	559	543	522	104	602,600	100,100	559,600
青 森	43,500	616	597	566	105	268,000	37,300	229,800
岩 手	51,400	560	545	518	105	287,800	48,100	269,400
宮 城	66,700	547	531	516	103	364,800	63,700	348,400
秋 田	88,700	589	572	553	103	522,400	71,200	419,400
山 形	65,300	614	594	578	103	400,900	57,700	354,300
福 島	65,600	557	531	526	101	365,400	61,500	342,600
茨 城	70,300	505	496	515	96	355,000	68,400	345,400
栃 木	58,300	531	518	528	98	309,600	54,100	287,300
群 馬	15,800	489	468	479	98	77,300	14,400	70,400
埼 玉	32,200	480	461	476	97	154,600	31,700	152,200
千 葉	57,000	539	529	525	101	307,200	55,200	297,500
東 京	156	405	392	402	98	632	156	632
神 奈 川	3,130	485	457	478	96	15,200	3,130	15,200
新 潟	117,500	527	509	523	97	619,200	102,400	539,600
富 山	38,600	559	542	524	103	215,800	34,200	191,200
石 川	26,100	522	509	504	101	136,200	23,600	123,200
福 井	25,600	518	495	500	99	132,600	23,900	123,800
山 梨	5,030	539	522	533	98	27,100	4,980	26,800
長 野	33,200	604	590	609	97	200,500	32,200	194,500
岐 阜	22,500	481	471	478	99	108,200	22,100	106,300
静 岡	16,300	503	493	513	96	82,000	16,100	81,000
愛 知	28,100	503	495	499	99	141,300	27,200	136,800
三 重	28,300	490	479	488	98	138,700	27,700	135,700
滋 賀	32,200	518	504	506	100	166,800	30,600	158,500
京 都	15,000	510	500	501	100	76,500	14,400	73,400
大 阪	5,440	495	477	479	100	26,900	5,440	26,900
兵 庫	37,300	501	488	491	99	186,900	35,700	178,900
奈 良	8,870	515	501	499	100	45,700	8,850	45,600
和 歌 山	6,900	499	488	484	101	34,400	6,900	34,400
鳥 取	12,900	512	501	504	99	66,000	12,400	63,500
島 根	17,900	503	492	500	98	90,000	17,500	88,000
岡 山	31,000	505	493	515	96	156,600	29,600	149,500
広 島	24,700	507	495	513	96	125,200	24,000	121,700
山 口	21,600	491	478	493	97	106,100	20,500	100,700
徳 島	11,900	457	453	469	97	54,400	11,700	53,500
早期栽培	4,580	450	447	459	97	20,600
普通栽培	7,340	461	456	475	96	33,800
香 川	13,600	470	465	493	94	63,900	13,500	63,500
愛 媛	14,600	488	482	493	98	71,200	14,600	71,200
高 知	12,000	444	440	456	96	53,300	11,900	52,800
早期栽培	6,750	462	459	478	96	31,200
普通栽培	5,290	420	415	426	97	22,200
福 岡	36,500	480	459	481	95	175,200	35,900	172,300
佐 賀	25,300	513	496	502	99	129,800	25,000	128,300
長 崎	12,500	479	460	462	100	59,900	12,500	59,900
熊 本	35,600	500	484	499	97	178,000	34,300	171,500
大 分	21,900	478	457	481	95	104,700	21,700	103,700
宮 崎	17,300	464	448	484	93	80,300	16,100	74,700
早期栽培	7,090	411	399	471	85	29,100
普通栽培	10,200	501	482	493	98	51,100
鹿 児 島	21,600	458	445	470	95	98,900	20,900	95,700
早期栽培	4,910	396	383	435	88	19,400
普通栽培	16,700	476	463	481	96	79,500
沖 縄	788	288	286	305	94	2,270	788	2,270
第一期稲	556	342	341	369	92	1,900
第二期稲	232	160	153	172	89	371

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
2 主食用作付面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、生産数量目標の外数として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積を除いた面積である。
3 全国の収穫量（子実用）及び収穫量（主食用）については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
4 (参考)の農家等が使用しているふるい目幅で選別された③10a 当たり収量、④10a 当たり平年収量及び⑤⑤作況指数については、全国農業地域の農家等が使用しているふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでのふるい目幅（北海道、東北及び北陸は1.85mm、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80mm、四国及び沖縄は1.75mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。
5 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作期別の主食用作付見込面積は、備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。

これまで、本資料に掲載していた以下の情報については、別冊「資料編」に掲載いたしました。

(別冊)「資料編」の目次

I	在庫情報	
	25・26年産の産地別民間在庫の推移 (うるち米、平成26年7月末から27年6月末) (速報)	1
II	米の価格情報	
	業者間取引の状況	10
	① 日本コメ市場 (随時取引の結果)	
	② 日本コメ市場・クリスタルライス (取引会の結果)	
	③ (株) 加工用米取引センターの取引結果	
	④ (株) 日本農産情報の取引結果	
	⑤ 米の現物市場の状況	
III	主食用以外 (輸出を含む)	
	(1) 加工用米及び新規需要米の取組状況等	13
	① 加工用米の生産量	
	② 新規需要米の用途別認定状況	
	③ 加工用米・新規需要米等の取組状況 (平成27年産、都道府県別)	
	(2) 飼料用米のマッチングの取組状況、配合飼料メーカーへの飼料用の供給等	15
	(3) 政府備蓄米の運営	16
	備蓄米の買入入札の結果 (落札実績) (平成23~27年産)	
	(4) 商業用の米の輸出货量及び金額の推移	17
	(5) 主な増加要因 (輸出業者等からのヒアリング結果による)	18
	(6) 米菓の輸出货量及び金額の推移	19
	(7) 日本酒 (清酒) の輸出货量及び金額の推移	20
IV	消費動向	
	(1) 米の消費動向 (米穀機構による調査)	21
	(2) 小売価格の推移 (POSデータ、主な銘柄)	24
V	その他	
	(1) 米取引関係者の判断 (米穀機構による調査、平成28年2月分)	25
	(2) 平成27年産水陸稲の収穫量	30
	(3) 水稲作付面積及び収穫量等の年次別推移 (全国)	34
	(4) 水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況、 10a 当たり収量及び収穫量 (子実用) の年次別推移	34
	(5) 麦・大豆の需要情報	36
	① 28年産麦の産地別銘柄別入札結果	
	② 27年産大豆の産地別銘柄別入札結果	
	(6) 野菜等の需給情報	41
	(7) 米の安定取引研究会報告書の概要	43

米に関するマンスリーレポート (本編・資料編) は、農林水産省のホームページからご覧いただけます。

(URL) <http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mr.html>

マンスリーレポートに関する問い合わせ先一覧

【農林水産省】

問い合わせ先	連絡先
政策統括官付農産企画課 ・企画班（加藤） ・米穀需給班（佐々木・石田・川口）	03-6738-8973

【地方農政局等】

問い合わせ先	連絡先
北海道農政事務所 生産経営産業部 生産支援課	011-330-8807
東北農政局 生産部 生産振興課	022-221-6169
関東農政局 生産部 生産振興課	048-740-0100
北陸農政局 生産部 生産振興課	076-232-4302
東海農政局 生産部 生産振興課	052-223-4623
近畿農政局 生産部 生産振興課	075-414-9020
中国四国農政局 生産部 生産振興課	086-224-9411
九州農政局 生産部 生産振興課	(代表) 096-211-9111 (内線4426)
内閣府沖縄総合事務局 農林水産部 生産振興課	098-866-1653

【米に関する情報の公表をメールマガジンでお知らせしています！】

農林水産省では、米に関する各種情報を皆さまにお伝えできるよう「米に関するメールマガジン」を発刊しております。

当該メールマガジンにご登録いただくことにより、農林水産省が毎月公表している「相対取引価格・数量」「契約・販売状況」「民間在庫の推移」などの情報に加え、米に係る各種資料について、公表後、直ちにメールでお知らせいたします。

メールマガジンの配信につきましては、農林水産省ホームページからご登録ください。

【メールマガジン配信登録】

農林水産省ホーム > 報道広報 > メールマガジン

(URL) <http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>